318.0
Ko648t

地方官會議傍聽錄

315.05
K648x

國立國會圖書館
41.6.10

地方官會議傍聽錄

第壹號

明治十三年二月

東京神田區神田五軒町十八番地
弘令社發兌

法律資料第一課
27.7.6.
國立法考查局

J1521

696282

317.21 0249七

例言

一地方官會議ノ顚末ハ既ニ各社新聞紙ニ掲載シ世ノ人亦既ニ其詳細ヲ知了セリ然リト雖新聞紙ノ連日ニ散出スルハ特リ一時通覧ノ便ヲ欠クノミナラス或ハ他日散逸ノ患アリ隨テ又掌中提携ノ便ナシ是此册ノ編輯アル所以

一此書ハ明治十三年二月五日會議開場ノ日ニ起リ三日毎ニ一册ヲ刊行シ閉會ニ至ル迄全部十册ヲ以テ完結スベシ

一書中重複ヲ厭ハス會議日誌ヲ併輯スルハ參考ノ爲メナリ

一此書ノ冒頭ニ會議ニ係ル諸布達及伺指令ヲ登錄スルモ亦參考ノ爲メナリ

地方官會議傍聽錄第壹號

前加

○太政官番外御達　明治十三年一月九日　府縣

本年地方官會議院府下實田町二番地（舊太政官分局）ニ被開候條此旨相達候事

○太政官第三號御達　明治十三年一月廿一日　府縣

明治十三年（一月）第九號達中議事規則別冊ノ通改定候條此旨相達候事

地方官會議規則

議場整理

第一條　出席ノ議員全員ノ過半數ニ至ラサレハ議事ヲ開クヘカラス

第二條　議事ノ終始ハ議長ノ指揮ニ依ルヘシ

第三條　議員ノ席次ハ圖取ヲ以テ豫メ之ヲ定ムヘシ

第四條　議事中ハ議員ノ姓名ヲ稱ヘスシテ席次ノ番號ヲ用フヘシ

第五條　議長ハ議員ノ發言ヲ止メ又ハ議事ヲ中止スルヲ得

第六條　議題ノ外議事中ニ起リタル總テノ事件ハ議長之ヲ決シ或ハ會議ノ決ヲ取ルヘシ

第七條　議事ハ傍聽ヲ許ス　但事宜ニ依リ之ヲ制限シ或ハ之ヲ禁止ス

議案幷修正案

第八條　議案ハ內閣ヨリ之ヲ發ス

第九條　議案又ハ報告書ハ豫メ之ヲ議員ニ頒布スヘシ

第十條　修正說ハ第二次會及第三次會ニ於テ之ヲ提出スルヲ得

但第二次會ニ於テ贊成者ナキモノ及第三次會ニ於テ五名以上ノ贊成者ナキモノハ之ヲ議題ト爲スヲ得ス

第十一條　修正說ヲ提出セント欲スル者ハ錄シテ文案トナシ之ヲ議長ニ出シ又ハ議席ニ於テ陳述スルヲ得

第十二條　修正說ノ否決セル者ハ其同次會ニ於テ再ヒ之ヲ提出スルヲ得ス

議事

第十三條　議事ハ議案又ハ報告書頒付ノ日ヨリ少クモ一日ヲ隔テ之ヲ開クヘシ

但至急ヲ要スル件ハ此限ニ非ス

第十四條　議事ヲ開ク件ハ議長書記官ナシテ議案ヲ朗讀セシムヘシ

第十五條　議事ハ第一次第二次第三次ノ三會ニ區別ス

第十六條　第一次會ニ於テハ議題ノ大意ヲ議シ其議題ヲ消滅セル者トシ可決スルヤ否ヤヲ決スヘシ否決スル件ハ其議案ヲ消滅セルモノトシ可決スル件ハ議長其期日ヲ定ム

第十七條　第二次會ニ於テハ議案ヲ逐條討論議決シ其議案ノ爲メ第三次會ヲ開クヘキヤ否ヤヲ決スヘシ否決スル件ハ其議案ヲ消滅セルモノトシ可決スル件ハ議長其期日ヲ定ム

但議決セル條節ノ整理ヲ要スル件ハ之ヲ委員ニ付シ其報告ヲ待テ第三次會ヲ開クヘキヤ否ヤヲ決スヘシ

第十八條　第三次會ニ於テハ全案ニ就テ議決スヘシ

第十九條　第三次會ハ第二次會後少クモ一日ヲ隔テ之ヲ開クヘシ

但至急ヲ要スル件ハ此限ニ非ス

發言

第二十條　發言セント欲スルモノハ起立シテ議長ト呼ヒ其許可ヲ受ク可シ

第二十一條　議長ニ於テ無用ノ論說ヲ爲ス者アリト認ムル件ハ之ヲ制止スルヲ得

第二十二條　議員ニ於テ無用ノ論說ヲ爲ス者アリト認ムル件ハ無用ト呼ヒ議長ノ許可ヲ得ヲ其理由ヲ一回說明スルヲ得然ル後議長之ヲ決シ或ハ會議ノ決ヲ取ルヘシ但無用ト呼ハレタル者ハ其發言ヲ中止スヘシ

第二十三條　議員ニ於テ本則ヲ犯ス者アリト認ムル件ハ他ノ議員發言中ト雖モ犯則ト呼ヒ議長ノ許可ヲ得テ其理由ヲ一回說明スルヲ得若シ犯則ト呼ハレタル者犯則ニアラストスルトキハ議長ノ許可ヲ得テ其理由ヲ一回說明スルヲ得然ル後議長之ヲ決シ或ハ會議ノ決ヲ取ルヘシ

但議員ノ發言中犯則者アルヲ認ムルモ其發言ヲ妨ゲザル件ハ發言ノ終ルヲ待テ其犯則ヲ告クヘシ

第二十四條　第三次會ニ於テハ一議題ニ付キ發言二回ニ越フルヲ得ス

決議

第二十五條　可否ハ出席議員ノ過半數ニ依テ之ヲ決ス

第二十六條　出席ノ議員ハ可否ノ數ニ入ラサルヲ得ス

第二十七條　可否ヲ決スルノ法ハ起立、記名投票、匿名投票ノ三種トシ議長便宜ニ之ヲ用フヘシ

第二十八條　議題ノ順序ニ論アル件ハ議事ニ先チテ議長之ヲ決シ或ハ會議ノ決ヲ取ルヘシ

第二十九條　修正案ハ原案ニ先チテ可否ヲ決スヘシ其數多ナル件ハ最モ原案ニ異ナルモノヲ先ニス其先後ニ論アル件ハ總テノ修正案決定ニ先チテ議長之ヲ決シ或ハ會議ノ決ヲ取ルヘシ

第三十條　議長ノ意見若クハ議員二名以上ノ請求ニ因リ議題ヲ分合シ又ハ條項ノ順序ニ拘ハラスシテ議決セント スル件ハ議長之ヲ決シ或ハ會議ノ決ヲ取ルヘシ

第三十一條　辨論未タ終ラスト雖モ議長ニ於テ論旨既ニ盡キタリト認ムルトキハ之ヲ會議ニ問テ其議題ノ決ヲ取ルコトヲ得

第三十二條　可否ノ數ハ書記官之ヲ檢査シ其決定ハ議長之ヲ陳告ス

小會議

第三十三條　小會議ハ議案若クハ委員ノ報告書ニ付キ質問ヲ要スルトキ又ハ政府ノ垂問ニ答フル爲メ內議ヲ要スルトキ之ヲ開クヘシ

第三十四條　小會議ハ傍聽ヲ許サズ

第三十五條　小會議ニ於テハ第四十二條第四十三條及ヒ第四十四條ヲ除クノ外本則ニ從フコトヲ要セズ

委員

第三十六條　議長ノ意見若クハ議員二名以上ノ請求ニ因リ委員ヲ選ミ議案若クハ修正案ヲ查理セシメントスルトキハ會議ノ決ヲ取ルヘシ

第三十七條　委員ハ議員中ニ於テ議長之ヲ命シ又ハ議員ヲシテ之ヲ選擧セシムヘシ

但奇數ヲ以テ之ヲ定ム

第三十八條　委員ハ其付托セラレタル全案ヲ取捨シ或ハ之ヲ改竄スルコトヲ得其意見ハ過半數ニ依テ之ヲ決シ過半數ヲ得サルトキハ最多數ニ依テ之ヲ決シ其理由ヲ錄シテ之ヲ議長ニ報告スヘシ

但第十七條但書ノ場合ニ於テハ條節ヲ轉置シ字句ヲ修飾シ欠條ヲ補足スルコトヲ得ト雖モ其議決セル條節ノ意義ヲ變更スルコトヲ得ス

第三十九條　修正說ヲ提出シタル者ハ委員會ニ列シ其主旨ヲ辨明スルコトヲ得

但可否ノ數ニ入ラス

內閣委員

第四十條　內閣ハ其發スル所ノ議案ヲ辨明セシムル爲メニ委員ヲ出シ會議小會議及委員會ニ列セシムヘシ

但該委員ハ本則ニ遵フヘシ然レトモ可否ノ數ニ入ラス

議院取締

第四十一條　議長ハ院內取締ノ爲メ時宜ニ依リ議院諸ノ警察官ヲ指揮スルコトヲ得

第四十二條　議席ニ於テハ總テ人身上ノ毀譽褒貶ニ渉ルコトヲ許サス

第四十三條　議事中ハ議員相私語シ及ヒ總テ議事ヲ妨クルノ擧動アルコトヲ許サス

第四十四條　議事中ハ議員漫ニ議席ヲ退クコトヲ許サス

第四十五條　退參ノ議員ハ議長ノ許可ヲ得サル者ハ議席ニ入ルコトヲ許サス

第四十六條　議事中議長ノ許可ヲ得サル者ハ之ヲ退場セシムヘシ

第四十七條　議場ニ於テ規則ヲ犯シ議長ノ命ニ順ハサル者ハ之ヲ退場セシムヘシ

附則

第四十八條　議長ノ意見ヲ以テ議員ヲ數組ニ分チ每組幹事一名ヲ撰定セシメ傳達等ノ事ヲ掌ラシムヘシ

第四十九條　議員欠席スルトキハ其事由ヲ議長ニ屆出ツヘシ

○太政官御達　明治十二年十二月廿六日　府縣

地方官會議事務ニ關スル同屆等ハ總テ議長ヘ宛可差出此旨相達候事

但該事務局ハ當分府下祝田町元老院內ニ開設候事

○地方官會議院錄事　明治十二年十二月廿九日　府縣

地方官會議事務局ハ更ニ寶田町三番地ニ定ム

右會議ノ節府縣會議員ハ一府縣ニ付每日五人マテノ傍聽ヲ許ス

右相達候事

○千葉縣ヨリ地方官會議出席交代ノ件

今般地方官會議被相開候ニ付來ル二月一日迄ニ若可致旨被相達右參會ニ際シ事務上差支又ハ病氣等ニテ上京難致節ハ書記官ヲシテ代理セシムル儀ニ候得共當縣ノ儀ハ京地ヘ僅二日程ニシテ往復スルヲ得ヘキ近方ニモ候間全快スルトキハ半途ニテ代理ヲ止メ出席スル事幷ニ當初ヨリ參會致シ居候テ事故アリ中間代理ヲ出席セシメ候等不苦儀トハ存候得共議事規則中別ニ明示無之ニ付如何心得可然哉至急御指示被下度此段相伺候也

〔指令〕伺ノ趣難聞屆候事

○地方官會議院錄事　熊本縣ヨリ內務省ヘ伺幷指令（電報）

郡區長會議傍聽ノ事

郡區長ノ內自費ニテ地方官會議ヲ傍聽ノ爲メ出京聞屆不苦哉

〔指令〕郡區長傍聽ノ儀ハ伺ノ通但每日二三名ヲ限リ許ス

○地方官會議院錄事　山形縣ヨリ內務省ヘ伺幷指令（電報）

郡吏員及縣會議員傍聽ノ爲メ出京旅費ノ事

地方官會議傍聽旅費ノ儀郡吏員其他縣會議員ハ自費ヲ以テ出京ス又ハ地方稅ヨリ仕拂不苦ヤ至急御指揮奏乞フ

〔指令〕郡吏員縣會議員ノ旅費ハ自費タルヘシ

○太政官布告第十三號　明治十三年二月三日

來ル五日地方官會議開院被仰出候條此旨相達候事

○地方官會議院錄事　明治十三年二月三日

明後日開院式被爲行候ニ付議員隨行ノ屬官並郡區吏府縣會議員及新聞記者各社一名拜

觀ヲ許ス

○地方官會議院御達　明治十三年一月廿九日　各議員

本年議事ノ儀ニ付左ノ通伺定候條爲心得此旨相達候事

本年下付ノ議案ヲ議スルニ當リ明治十一年第十七號第十八號第十九號及ヒ第三十九號布告中何レノ部ヲ論セス意義若クハ權衡ノ關係アル條項ヲ修正セント欲シ貳名以上ノ贊成ヲ得タルモノハ議長之ヲ會議ニ問フヲ議題ト爲スヲ得

○

各府縣知事令ヘ下附セラレタル議案ハ左ノ如シ

第壹號議案明治十一年第十七號布告第七條增加案

第七條　凡ソ島嶼ハ府知事縣令ヨリ內務卿ニ具狀シ政府ノ裁可ヲ得テ其ノ制ヲ殊ニスルヲ得

第貳號議案郡區町村區域名稱變更ノ儀布告案（沖繩縣ヲ除ク）

第一條　郡區町村ノ區域名稱地方ノ便益ニ因リ已ムヲ得ズ變更ヲ要スルモノハ府知事縣令ヨリ內務卿ニ稟請スルヲ得

第二條　郡區ノ區域名稱ヲ變更スルハ府知事縣令ノ稟請スル所ヲ以テ內務卿ヨリ具狀シ太政大臣之ヲ布告ス

第三條　町村ノ區域名稱ヲ變更スルハ人民ノ請願スル所ヲ以テ府知事縣令ヨリ具狀シ內務卿ノ裁定ヲ得テ之ヲ其管內ニ布達ス

第三號議案明治十一年第十八號布告第五條改正案

第五條　第一條ニ揭ケタル府縣會ノ議決ハ府知事縣令認可ノ上之ヲ施行スヘキ者トスト雖モ若シ府知事縣令ハ其議決ヲ認可スヘカラストト思慮スル時ハ其事由ヲ內務卿ニ具狀シ

テ指揮ヲ請フヘシ

第四號議案明治十一年第十八號布告第六條改正案

第六條　府縣會ハ毎年通常會議ノ初メニ於テ地方稅ニ係ル前年度ノ出納決算ノ報告書ヲ受ケ其異見アル者ハ議長ノ名ヲ以テ直ヲニ內務大臣卿ニ上申スルヲ得

第五號議案明治十一年第十八號布告第七條改正案

第七條　通常會期中議員ノ內二人以上ノ發議ヲ以テ其府縣內ノ利害ニ關スル事件ニ付政府ニ建議セントスル者アレハ先ツ議長ノ許可ヲ得テ之ヲ會議ニ付シ過半數ノ同議ヲ得タルトキハ其會ノ所見トシ議長ノ名ヲ以テ之ヲ內務卿ニ建議スルヲ得

第六號議案明治十一年第十八號布告第九條第二項增加案

府縣會ハ議員ノ告暇ヲ允許スルヲ得及ヒ議員ノ招集ニ應セザル者ヲ審査シ其退職者タルヲ決スルヲ得

第七號議案明治十一年第十八號布告第十一條第一項改正案

第十一條　議長副議長ハ議員中ヨリ公選シ之ヲ府知事縣令ニ報告シ府知事縣令ハ之ヲ內務卿ニ報告スヘシ

第八號議案明治十一年第十八號布告第十三條第五款增加幷第十四條但書改正案

第五款　府縣會ニ於テ退職者トセラレタル後四年ヲ經サル者但前條ノ第一款第二款第三款第五款ニ觸ルヽ者ハ選舉人自己ノ住所姓名年齡及被選舉人ノ姓名ヲ記シ豫定ノ日之ヲ郡區長ニ出スヘシ投票ハ多數ノ者ヲ以テ當選人トシ同數ノ者ハ年長ヲ取リ同年ノ者ハ鬮ヲ以テ之ヲ定ム但

第九號議案明治十一年第十八號布告第十七條改正案

第十七條　投票ハ豫メ郡區長ヨリ付與シタル用紙ニ選舉人自己ノ住所姓名年齡及被選舉人ノ姓名ヲ記シ豫定ノ日之ヲ郡區長ニ出スヘシ投票ハ多數ノ者ヲ以テ當選人トシ同數ノ者ハ年長ヲ取リ同年ノ者ハ鬮ヲ以テ之ヲ定ム但

第十號議案明治十一年第十八號布告第廿四條改正案

第廿四條　議員中第十三條ニ揭ケル諸款ノ場合ニ遭遇スルカ其府縣外ニ轉住スルカ其他總テ欠員アルトキハ更ニ之ニ代ル者ヲ選舉ス

第十一號議案明治十一年第十八號布告第廿五條改正案

第廿五條　內務卿ヨリ解散ヲ命シタルトキハ其解散ヲ命シタル日ヨリ三月以內ニ更ニ議員ヲ改選スヘシ

第十二號議案明治十一年第十九號布告第三條中增加案

第三條　地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ハ府縣會ノ議決ヲ經テ左ノ件目ヲ設ケ之ヲ支辨スヘシ

警察、河港、道路堤防橋梁、郡區廳、府縣立教育費、浦役場、管內限、勸業、戶長以下給料　以上豫算外ニ生シタル費用ニ充ツヘキ者ヲ云

臨時費

第十三號議案明治十一年第十九號布告第四條改正案

第四條　其年七月ヨリ翌年六月迄ヲ一周年度トナシ府知事縣令ハ其年二月迄ニ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算並地方稅徵收ノ豫算ヲ立テ翌年度ノ定額トナシ其ノ府縣會ノ議決ヲ取リ其ノ年五月ヲ以テ內務卿及ヒ大藏卿ニ報告スヘシ其未タ府縣會ヲ設置セサル地方ハ直ニ內務卿及大藏卿ニ報告スヘシ

第十四號議案明治十一年第十九號布告第五條改正案

第五條　非常ノ費用ハ（豫算ニ立ツルヲ得サルモノヲ云）別ニ賦課スルヲ得ルト雖モ其府縣會ノ議決ヲ取リ內務卿及大藏卿ニ報

告スルハ第四條ノ順序ニ從フヘシ其急施ヲ要スル事項ハ施行シテ後報告スルヲ得此場合ニ於テハ之ヲ其後開ク所ノ府縣會ニ報告スヘシ

第十五號議案明治十一年第十九號布告第八條增加案

第八條　府縣會若シ豫算ノ議案ヲ議定セサルカ又ハ議案ヲ議定スルニ及ハスメ內務卿ヨリ閉會若クハ解散ヲ命シタルトキハ府知事縣令ノ具申ニ依リ內務卿ハ前年度ノ豫算額ニ據テ徵收セシムルヲ得

第十六號議案明治十一年第十九號布告第九條增加案

第九條　凡ソ島嶼本屬府縣一般ノ地方稅ト徵收支出ノ分別ヲ要スルトキハ府縣會ノ決議ヲ經テ府知事縣令ヨリ具狀シ內務卿ノ裁定ヲ得テ其管內ニ布達ス

第十七號議案郡區吏員給料等ノ儀布告案（沖繩縣ヲ除ク）

郡區吏員ノ給料旅費及ヒ戶長以下ノ給料ハ明治十三年ヨリ始メ每四年別段ノ議案ヲ以テ府知事縣令ヨリ府縣會ニ付シテ之ヲ定メ其ノ議決ハ向四年間之ヲ據エ置クヘシ

但郡區長ノ給料ハ十一年第三十二號達ノ制限ニ依ルヘシ

第十八號議案明治十一年第三十九號布告第一條改正案

第一條　營業稅分ツテ二類トス其稅額第一類ハ金十五圓以內トシ第二類ハ金五圓以內トス其ノ目左ノ如シ　但國稅アルモノヲ除ク

第一類　諸會社及ヒ諸卸賣仲買商

第二類　諸小賣

第十九號議案明治十一年第三十九號布告第二條中改正增加案

第二條　雜種稅　一ケ年金十五圓以內

製造人職工　諸遊技場　船　諸市場　料理屋　質屋兩換屋（爲替店共）　陸運又ハ迴漕ヲ以テ業トスル者

一ケ年金十五圓以內　古着　湯屋　諸間　遊藝師匠　俳優　貸座敷　水車　乘馬　屠畜一頭ニ付金五十錢以內

第廿號議案明治十一年第三十九號布告第三條改正案

第三條　漁業稅採藻稅ハ各地從來ノ慣例ニ依リ之ヲ徵收スヘシ若シ其例規ヲ改正シ又ハ新法ヲ創設セントスルモノハ府縣會ノ決議ヲ經テ府知事縣令ヨリ內務大藏兩卿ニ具狀シ太政大臣之ヲ布告ス

第二十一號議案明治十一年第三十九號布告第六條削除

第二十二號議案明治十一年第三十九號布告第七條增加案

第七條　凡ソ上リ高ヲ以テ稅額ヲ定ムルモノハ各地ノ便宜ニ依リ上リ高見積リヲ以テ日稅月稅トシテ之ヲ徵收スルコトヲ得

第廿三號議案明治十一年第卅九號布告第九條增加案

第九條　第一條第二條第三條稅目ノ外地方特別ノ事宜ニ依リ課稅ヲ要スルモノハ府縣會ノ決議ヲ經テ府知事縣令ヨリ內務大藏兩卿ニ具狀シ太政大臣之ヲ布告ス

第廿四號議案區町村會法布告案（沖繩縣ヲ除ク）

第一條　區町村會ハ寄合相談ノ如キ從來ノ慣行ニ從フトモ又ハ新タニ其規則ヲ設クルトモ其區町村ノ便宜ニ任ス其規則ヲ設クルニハ府知事縣令之ヲ裁定ス

第二條　數區町村聯合會ヲ要シ之ヲ開クトキハ從來ノ慣行ニ從フトモ又ハ新タニ其規則ヲ設クルトモ其地方ノ便宜ニ任ス其規則ヲ設クルモノハ府知事縣令之ヲ裁定ス

第三條　區會ノ評決ハ戶長之ヲ施行シ町村會ノ評決ハ戶長之ヲ施行ス若シ其評決ヲ不適當ナリトスルトキハ其施行ヲ止テ府知事縣令ニ伺ヒ（戶長ハ郡區長ヲ經テ）其指揮ヲ

乞フヲ得ス

第四條　數區聯合會ノ評決ハ區長之ヲ施行シ數町村聯合會ノ評決ハ地方ノ便宜ニヨリ戶長又ハ郡區長之ヲ施行ス若シ其評決ヲ不適當ナリトスルトキハ總テ第三條ノ手續ニ從フヘシ

第五條　郡區長ニ於テ町村會若シ法ニ背ク事アリトスルトキハ之ヲ中止シ其評決ヲ不適當ナリトスルトキハ其施行ヲ止メテ府知事縣令ノ指揮ヲ乞フヲ得

第六條　府知事縣令ハ戶長及ヒ聯合會若シ法ニ背クコトアリトスルトキハ之ヲ中止スルコトヲ得又ハ之ヲ解散シテ改撰セシムルコトヲ得

第七條　水利土功ノ爲メニ其關係アル人民若クハ町村ノ集會ヲ要スルトキハ總代寄合ノ如キ從來ノ慣行ニ從フヲモ又ハ新タニ規則ヲ設クルヲモ其人民若クハ町村ノ便宜ニ任セ其現則ヲ設クルヲモ府知事縣令之ヲ裁定ス

第八條　第七條ニ揭ケタル集會評決ノ施行及ヒ其取締ハ第四條及ヒ第六條ニ依ルヘシ

第九條　水利土功ニ關係アル人民若クハ町村中議員ヲ置クヘキ場合ニ於テハ其集會ニ應セサルトキハ府知事縣令之ヲ府縣會ニ付シ其決スル所ニ依リ之ヲ定ムヘシ

但府縣會ノ閉會ニ當リ其開會ヲ待ツ可ラサルトキハ府知事縣令之ヲ決定スルコトヲ得

地方官會議日誌第壹號

明治十二年三月五日開院式ヲ行ハセラルヽニ付議長河野敏謙幷ニ議員及ヒ會議掛官員各其禮服着用午前第九時會議院ニ參着ス

但四番議員白根多助八番議員原保太郎病勞ニヨリ不參

一勅語奉答委員左ノ通

議官吉井友實　議官渡邊洪基

參議山田顯義　元老院幹事柳原前光　議官秋月種樹

議官河瀨眞孝

內務少輔林友幸　文部少輔神田孝平　工部大輔山尾庸三

等各大禮服着用ヲ以テ着ス

官省院使並府縣ノ屬官郡區吏員及府縣會議員等モ亦拜觀トシテ來集ス

一午前第十時　臨幸ノ報道ヲ得ラレ議長議員及ヒ會議掛官員ハ先着ノ親王大臣參議以下ノ諸官員ト共ニ臨幸門ノ內ノ庭上ニ整列ス（東面南上）奉迎ス

一通御ノ節儀仗兵敬禮ヲ行ヒ樂隊樂ヲ奏ス

但シ儀仗兵ハ臨幸門ノ正面ニ樂隊ハ臨幸門外西ノ方ニ供奉ノ騎兵ハ臨幸門外東ノ方ニ整列ス

一二品伏見貞愛親王三品北白川智成親王並太政大臣三條實美參議伊藤博文宮內卿德大寺實則宮內大輔杉孫七郎以下供奉ス

一便殿ニ着御ノ後式部寮官員ハ豫定ノ開院式圖ニ從ヒ議長議員以下ノ議員ヲシテ議事堂ニ列セシム

一午前第十時二十分議事堂ニ出御式部頭掌典先導ス諸官員ヨナ敬禮ヲ行フ

但親王大臣ハ左右ニ扈從シ宮內省官員ハ御後ニ列ス

一此時議長中央ニ進ムノ乃チ詔シテ曰ク

朕今汝等ヲ徵集シ諮詢スル所アリ親ラ臨テ開院ノ式ヲ行フ汝等朕カ意ヲ體シ見ル所ヲ悉セ

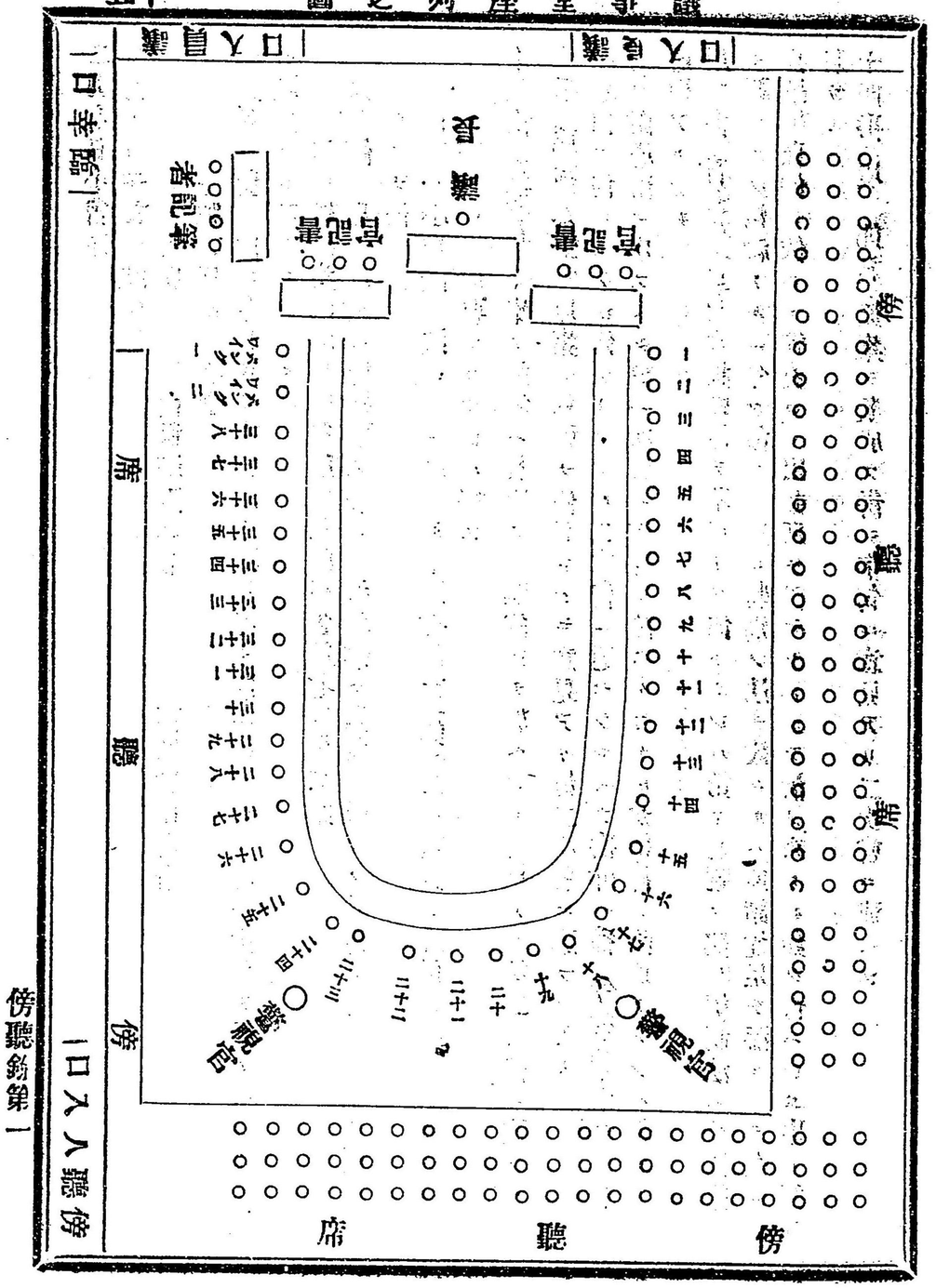
一勅語畢ル議長乃チ復席ス

一午前第十時三十五分　還御奉送ノ式ハ奉迎ノ時ノ如シ　一諸官員等退散ス

議員番号表

（一番）岩手縣令島惟精
（二番）熊本縣令富岡敬明
（三番）堺縣大書記官吉田豊文
（四番）埼玉縣令白根多助
（五番）宮城縣令松平正直
（六番）石川縣大書記官熊野九郎
（七番）栃木縣大書記官藤川爲親
（八番）兵庫縣少書記官原保太郎
（九番）山形縣令三島通庸
（十番）山梨縣令藤村紫朗
（十一番）和歌山縣大書記官河野通
（十二番）京都府知事槇村正直
（十三番）新潟縣令永山盛輝
（十四番）島根縣令境二郎
（十五番）愛媛縣令岩村高俊
（十六番）靜岡縣令大迫貞清
（十七番）青森縣令山田秀典
（十八番）福岡縣少書記官森醇
（十九番）東京府知事（幹事長）松田道之
（二十番）岡山縣令高崎五六
（廿一番）大分縣令西村亮吉
（廿二番）福島縣令山吉盛典
（廿三番）鹿兒島縣大書記官渡邊千秋
（廿四番）三重縣大書記官下山尙
（廿五番）群馬縣令楫取素彥
（廿六番）神奈川縣令野村靖
（廿七番）高知縣令北垣國道
（廿八番）廣島縣少書記官平山靖彥
（廿九番）山口縣令關口隆吉
（三十番）長野縣令楢崎寬直
（卅一番）愛知縣令安場保和
（卅二番）秋田縣令石田英吉
（卅三番）茨城縣令野村維章
（卅四番）滋賀縣令籠手田安定
（卅五番）千葉縣大書記官岩佐爲幸
（卅六番）長崎縣大書記官高橋新吉
（卅七番）岐阜縣大書記官斯波有造
（卅八番）大坂府大書記官宍戸昌

猶ホ左ノ圖ニ就テ詳シク其ノ位置ヲ知ルヘシ



二月七日小會議
二月十日午前十時開議

欠席　白根埼玉縣令
　　高崎岡山縣令

第一號議案第一次會

議長各議員ニ向ヒ今日ヨリ本會議ヲ開キ即チ第一號議案ヲ朗讀セシメラルベシ

第一號議案明治十一年第十七號布告第七條增加案

第七條　凡ソ島嶼ハ府知事縣令ヨリ內務卿ニ具狀シ政府ノ裁可ヲ得テ其制ヲ異ニスルコトヲ得

此間ダ小會議ニ洩シタル由ニテ十四番（境二郎君）ハ議長ノ許可ヲ受テ番外ニ質問アリタレド緊要ナラザレバ略ス

十八番（森醇君）原案ノ總体ハ贊成スト雖修正ヲ加ヘタキ意見アリ第二次會ニ述ブベシ

六番（熊野九郎君）原案ノ精神ヲ修正シタキ意見アリ第二次會ニ述ベラルベシ番外一番（今村和郎君）六番ニ議長曰ク何ニモアレ修正トナラバ二次會ニ述ベラルベシ番外一番（今村和郎君）六番ニ對シ御心得ニ申スベシ第一次會ハ總体ヲ議スルコトナルガ精神ノ修正トアラバ總体ト御心得アリタシ

卅二番（石田英吉君）本案總体ヲ不可トス何トナレバ第十七號ノ郡區編制法ハ全國畫一ヲ要スルノ精神ナルニ今マ故ラニ斯ル特別ノ法ヲ設クルハ所謂蛇足ヲ添ルコトニテ矢張リ島嶼ハ舊例ニ依リテ管廳ヨリ出張所ヲ置キナドシテ治メ來リシ如ク行ハレヌ事ハ無キ理ナリ

十四番（境二郎君）原案ヲ贊成ス併シ字句ニ遺見アリ二次會ニ述ベン

九番（平島廉雋君）原案ヲ可トス本員ヲ削除シタル番外（今村君）既ニ原案ヲ贊成者ヲ多クシ强チニ多辨ヲ要スベキニアラズト卅二番ノ說ヲ對シ如キ駁ヲベカラズ御モ法律ヲ全國ニ獲ニ實際尚ホ行ヒ難キ時ハ適宜ノ便法ヲ設ケ得ベキ島嶼ノ如キ風土人情各々同シカラズ往々行政ニ若シ事アラン然ルニ第十七號ニ明文ナシトテ其行ハルヽト否ヲ問ハズ强イテ之ヲ施行セバ適應セル法ヲ設ケテ人民ニ法律ヲ破ラシムルモノナリ去リトテ自儘ニ法律外ニテ行政スルハ惡ルシ故ニ此條ヲ增加スルノ案ヲ發セシナリ

議長曰ク三十二番ノ動議アリト雖モ贊成ナシ依テ可否ヲ起立ニ問ハン

總起立ニテ本案ニ可決ス

議長又曰ク規則ニ從ヒ本案ノ第二次會ヲ開クベキヤ否ヤヲ起立ニ問ハン

起立　三十四人　即チ第二次會ヲ開クニ決ス

議長曰ク引續キテ第二號議案ノ第一次會ヲ開クベシト書記ニ朗讀ス

第二號議案郡區町村區域名稱變更ノ儀布告案（沖繩縣ヲ除ク）

第一條　郡區町村ノ區域名稱地方ノ便益ニ因リ已ムヲ得ズシテ變更ヲ要スル者ハ府知事縣令ヨリ內務卿ニ稟請スルヲ得

第二條　郡區ノ區域名稱ヲ變更スルハ府知事縣令ノ稟請スル所ヲ以テ內務卿ヨリ具狀シ太政大臣之ヲ布告ス

第三條　町村ノ區域名稱ヲ變更スルハ人民ノ請願スル所ヲ以テ府知事縣令ヨリ具狀シ內務卿ノ裁定ヲ得テ之ヲ其管內ニ布達ス

廿八番（平山靖彥君）本案モ法律ノ融通ヲ付クルノ便法ニテ畫一主義者ハ知ラズ本員ハ專一ニ之ヲ贊成ス

十六番（大迫貞清君）總体ニ意見ナシ修正ノ歳ハ二次會ニ述ヘン
議長曰ク別ニ異説ナシト認ム決ヲ起立ニ問フベシ
起立　三十四人　多數ニ付キ之ニ決ス
議長曰ク是ヨリ第一號議案ノ第二次會ヲ開クベシ
廿三番（渡邊千秋君）本案ハ實ニ行政ノ都合ヲ洞察セラレシ至極ノ良法ト申スベシ本員ハ今一歩ヲ進メテ猶モ此良法ノ範圍ヲ擴充シテ完全無缺ノ法タラシメント望ム其故ハ假令ヒ内地ト雖ドモ其風土人情ノ格別ニ異ナル所ハ此島嶼ニ特制ヲ許スガ如クナサハ其便益測ルベカラズ試ニ我ガ鹿兒島縣下ニ就キテ一例ヲ擧ンニ高千穗近傍ノ如キハ所謂天孫降臨ノ聖跡ト稱シ數百年以前ヨリ團結セシ部落アリ其他米良椎葉ノ居民ナドハ曾テ他方ノ人物ニ交接セズ舊慣ヲ株守シテ解ケズ夫ノミナラズ山間ノ僻地ナレハ郡役所マデ六十四里モ隔タリタル所モアリ險艱尋常ナラザレハ旅費モ一日七里詰トナスレド頑乎トシテ聞入ズ實ニ施政上ノ最大辛苦ト云フベシ故ニ本員ハ凡ソ土地ノ景情止ムヲ得ザル者アルトキハ府知事縣令ヨリ云々ト修正スルカ或ハ但書ヲ加ヘテ陸地ト雖モ已ムヲ得ザル者アルトキハ猶本條ニ從フベシトスルカ或ハ爲ニ委員ヲ設ケテ修正ノ文字ヲ定メタシ
廿七番（北垣國道君）原案ヲ贊成ス
三番（吉田豐文君）廿三番ノ説明ノ如キ吉野ニモサル部落アリテ施行ノ際頗ル苦ム所アリ田地ノ爲ニ此制ヲ設ケタシ併シ修正ノ字句ハ少シク違ヘリ
廿七番（山田秀典君）廿三番ノ修正説ヲ議題トスルヲ得トアリテ贊成ノ趣意ナルカ議長ニ同ジ元ヨリ本條ニ云ヘル精神同一ニシテ修正文字ニ論アリアリ陸地ニテ不便〳〵ト云ヒテ制ヲ殊ニスレハ費用ニモ差響キテ宜カラズ原案ノ儘ニテ可ナリ
二番（富岡敬明君）ハ村落廣濶ナルモノモ已ヲ得ザルモノハ内務卿ニ具狀シテ制ヲ殊ニスルノ意ヲ但書ニ加ヘタシトノ趣意ヲ述ブ
十七番（山田秀典君）廿三番ノ修正説ヲ議題トスルヲ得トアリテ贊成ノ趣意ナルカ議長ニ同ジ元ヨリ本條ニ云ヘル精神同一ニシテ修正文字ニ論アリアリ陸地ニテ不便〳〵ト云ヒテ制ヲ殊ニスレハ費用ニモ差響キテ宜カラズ原案ノ儘ニテ可ナリ
廿三番（渡邊君）十七番ハ陸地ヲ入ルレハ際限ナシト云ヘド第二號ノ區域名稱變更ノ條ニ掲ゲラレシ如ク不得已ノ三字ニ着眼スレハ了解セラルベシ區域ノ變更モ已ムヲ得ザレハコソ行フナレ之ヲ際限ナシト云フハ杞憂ト云フベシ維新以後各府縣官ニテ町村ノ離合モ種々着手シタル中ニハ適應セヌ事モアレド三新法ノ舊ニ仍ルノ明文ニテ先ヅ泣ク〳〵今日迄濟ミタルヲ此法ガ陸地ニ及ビシトテ不得已ノ三字ヲ熟考セズ急ニ不便々々ト際限ナク持出サハ朝令暮改ノ樣ニモ聞エテサル府知事縣令ハ有ルマジト覺ユレハ際限ナカラン歟ト憂フルニハ及ハズ故ニ只一ニ不得已ノ三字ニ着眼セラレヨ内地ニ殊制ヲ許ス法ノ立ナハ如何ハカリカ行政上ノ好都合アラント感觸スルノ人蓋シ此議場ニモ多カルベシト存ズ
卅四番（籠手田安定君）原案ヲ可トス廿三番ハ内地ニモ不便アリト云ヘド島嶼ト陸地ハ素ヨリ同一ナラズ陸地ニハ制ヲ殊ニセズトモ處分上ニ夫々ノ便法アリテ存シ其當ヲ得ル
ニ難カラズ何トテ脩正ヲ要スベキヤ

レハ二人以上請求シテ委員ヲ選ミ査理セシムル自由ヲ與ヘラレタリ此區別ヲ出ルトオ
心得アリタシ
卅一番（安場保和君）廿三番ヲ贊成ス我愛知縣下ニモ此良法ヲ設ケバ大ニ便宜ヲ得ル所少ナカラズ
二番（富岡敬明君）ハ村落廣濶ナルモノモ已ヲ得ザルモノハ内務卿ニ具狀シテ制ヲ殊ニスルノ意ヲ但書ニ加ヘタシトノ趣意ヲ述ブ
十七番（山田秀典君）廿三番ノ修正説ヲ議題トスルヲ得トアリテ贊成ノ趣意ナルカ議長ニ同ジ元ヨリ本條ニ云ヘル精神同一ニシテ修正文字ニ論アリアリ陸地ニテ不便〳〵ト云ヒテ制ヲ殊ニスレハ費用ニモ差響キテ宜カラズ原案ノ儘ニテ可ナリ
廿三番（渡邊君）十七番ハ陸地ヲ入ルレハ際限ナシト云ヘド第二號ノ區域名稱變更ノ條ニ掲ゲラレシ如ク不得已ノ三字ニ着眼スレハ了解セラルベシ區域ノ變更モ已ムヲ得ザレハコソ行フナレ之ヲ際限ナシト云フハ杞憂ト云フベシ維新以後各府縣官ニテ町村ノ離合モ種々着手シタル中ニハ適應セヌ事モアレド三新法ノ舊ニ仍ルノ明文ニテ先ヅ泣ク〳〵今日迄濟ミタルヲ此法ガ陸地ニ及ビシトテ不得已ノ三字ヲ熟考セズ急ニ不便々々ト際限ナク持出サハ朝令暮改ノ樣ニモ聞エテサル府知事縣令ハ有ルマジト覺ユレハ際限ナカラン歟ト憂フルニハ及ハズ故ニ只一ニ不得已ノ三字ニ着眼セラレヨ内地ニ殊制ヲ許ス法ノ立ナハ如何ハカリカ行政上ノ好都合アラント感觸スルノ人蓋シ此議場ニモ多カルベシト存ズ
卅四番（籠手田安定君）原案ヲ可トス廿三番ハ内地ニモ不便アリト云ヘド島嶼ト陸地ハ素ヨリ同一ナラズ陸地ニハ制ヲ殊ニセズトモ處分上ニ夫々ノ便法アリテ存シ其當ヲ得ル
ニ難カラズ何トテ脩正ヲ要スベキヤ

十四番（境君）本案ノ其制ヲ殊ニスルヲ得トアルハ穏當ナラズ之ヲ便宜處分スルヲ得トモ修正シタシ

廿三番（渡邊君）卅四番ハ島嶼ノ狀況ヲ能ク悉セヌモノナリ我カ縣下ノ櫻島ノ如キハ鹿兒島ヨリ直經一里ニ足ラズ其行政上ニハ一ノ支障ナキモ却テ内地ノ高千穗推葉ノ如キハ支障一ニシテ足ラズ斯ル情實アルモ知ラデ只管ニ島嶼ニ偏シテ論ジ此良法ノ範圍ヲ狹少ニスルハ實ニ歎息スベシ

八番（原保太郎君）十七番ノ説ノ如ク費用ニ管スベシ卅四番ノ説ノ如ク内地ニハ處分ノ際相當ノ便法アリ原案ニテ可ナリ

三十一番（安場君）陸地ニ許セバ便宜ニ託シテ際限ナシ又タ費用ニモ管スト云ヘド府知事縣令ハ斯ル前後ヲ省ミサル事ハ爲サズ第二號ノ不得已ノ三字ニテ推察スヘシ郡制ノ如キモ我愛知縣下ニテハ規則ニ依リ一郡ヲ割キ二郡役所ヲ置キシモアリシ程ナレバ此便法ヲ内地ニ及スモ其權衡ヲ得タリト云フベシ

十七番（山田君）成ル程府知事縣令ヨリハ申立ヌガ人民ヨリ陸續ト不便ヲ申立ツベシ

廿二番（山吉盛典君）十七番ノ説ニ同ズ本案ハ獨リ島嶼ノ爲ニ設ケラレシモノニテ陸地ニモ不便アル即チ第二號ノ變更云々ノ條ニ包含セリ之ヲ斟酌セバ別ニ苦慮スルニ及ハズ

二十三番（渡邊君）ハ内地ニハ處分ノ際相當ノ便法アリ或ハ第二號ニ包含ストノ説アレドモ既ニ夫ダケノ便法アリト知ラバ法律ガ拱手シテ外ニ含蓄スルト云ヒテ拋擲スベキ理ナシ又ハ費用ニ管ストト云ヘトモ是モ費用ヲ審議スル府縣會アリ過慮モ亦甚シ且ツ第二號ニ包含スルト云ヘド是ハ名稱區域變更ノ一ニ限リタル條ニテ之ヲ斟量セヨトハ誤リ極リ極點トモ云フベキカ

廿八番（本山君）廿三番ハ大變ヲ説ヲ出シヲ法律ヲムチヤ〳〵ニシテ仕舞フ甚ダ不都合

ナリ其論中櫻島ノ如キハ陸地ニモ接近シ風俗人情モ異ナラヂバ假令ヒ特制ヲ上申スルモ内務卿ハ許可アルマジ畢竟遠隔ノ島嶼ハ土風ノ異ナルノミカ風浪ノ險アリテ公務上ニモ支障アレバコソ此原案ヲ設ケラレシナリ廿二番ノ説ノ如ク第二號ニテ大抵ハ處分ノ方便アルベシ已ヲ得ズ〳〵ト云ヘバ法律ノ立ツベキ理ナシ

十八番（森君）本員ハ原案ヲ修正シテ凡ソ島嶼ハ陸地ト其制ヲ殊ニスルヲ得ト爲シタシ其故ハ十七號ノ六條迄ハ悉ク府知事縣令ヨリ内務卿ヘ具狀シ政府ノ裁可ヲ經テ後ニ施行スルモノナルニ此七條ノミニ處分ノ手續ヲ示シテハ却テ疑惑ヲ招クベシ處分ノ便宜ニ種〳〵ノ説アレドモ此條ノ制ノ字ガ緊要ニテ素ト此制ハ即チ郡區町村編制法ナリ

廿三番（渡邊君）十七番ノ説ニ人民ヨリ陸續ト申立ツベシトアレド人民ガ不便ナリト申立テバ即チ其望ニ應シテ差支ナシ人民ノ便否ヲ捨置キ啻十七號ヲ墨守シテ陸地ハ殊制ハ成ラヌトノ之ヲ拒ムハ政事ノ宜キヲ得タルモノニ非ズ

五番（松平正直君）ハ廿八番ノ説ヲ可トシ本案ハ内地ノ爲ニ設ケシニ非ズ特ニ島嶼ノ爲ニ設ケシ是ヲ内地ニ及ボシテハ原案ノ精神ヲ失フベシトノ説ニ對シ

廿三番（渡邊君）ハ決シテコノ修正ニテ原案ノ精神ハ失ハズ第二號ノ精神タル變更ノ不得已ト同シク島嶼ノミナラズ内地ニモ不得已ノ憂アル故ニ此修正ヲ要スルナリト主張

九番（三島君）ハ政府ノ裁可ヲ得テノ八字ヲ削ルベシト述ブ

卅四番（籠手田君）ハ廿三番ノ駁説ニ對シ島嶼ヲ誤解セシニアラズ法制ハ均一ニスルノ精神ナレドモ不得已ヨリ此特制ヲ設ケ島トテモ均一ニ出來レバ均一ニスベシト辨ズ

十九番（松田道之君）十八番九番ハ稍似タル修正説ヲ出セリ少シ後レタレドモ十八番ノ修正説ヲ贊成スベシ且ツ同時ニ廿三番ニ質シタキ事アリ其上ニテ或ハ贊成モ爲スベシ

ト述ヘ議長ノ許可ヲ得テ曰ク廿三番ガ謂フ所ノ制ト云フハ其意義廣クシテ區域ナキ樣ニ認ムレドモ此制ハ郡區ノ分合ノ如キヲ云フカ抑モマタ郡制ノ外ノ制ナルカ

廿三番(渡邊君)第十七號ノ六條迄ハ郡區編制法ナレバ其編制法ニ就テ已ヲ得ザル場合ニ立ツルノ制ナリ

十九番(松田君)然レバ矢張リ郡區編制法ノ中ニ就キテノ考案ナルカ

廿三番(渡邊君)然リ

十九番(松田君)本員ハ陸地ニ制ヲ殊ニスルヲ得ルノ論ノ行ハルヽ上ハ大體タル第十七號布告ニ變更ヲ生ズル故ニ之ヲ贊成スルヲ得ズ廿三番ノ說ハ編制法中ニ就キテ云フ程ノ大事ナラデ即チ第二號議案ノ名稱變更位ノ事ニ類スルノ制ナルベシ然レバ編制法中ニ付テハ不適當ノ修正ニシテ本案ハ內地郡區外ナル島嶼ノ爲ニ設クルモノニテ內地ノ編成法トハスベカラズ假リニ別ニ殊制ノ一條ヲ設クルトセバ即チ第十七號布告ヲ破壞セザルヲ得ザルニ至ラン

一番(島惟精君)十八番ノ修正ヲ贊成ス

廿三番(渡邊君)十九番ノ駁說アレドモ本員ノ云フ制ヲ殊ニスルトハ譬ヘバ第十七號布告ニ總テ舊ニ仍ルトアル郡區町村ノ名稱區域サヘ第二號議案ニテ變更ノ便法ヲ立テ又是マデ每町村ニ戶長一人ヲ置クトアレドモ一村ヲ割キシモ有リタルナド既ニ施行シタル編制法ニモ殊ナル所アリ十九番ガ十七號ノ內外カト區域ヲ限リテノ問ハ甚ダ答辭ニ苦シムナリ此制ハ畢竟編制法ニ拘ハラズシテ廣潤ノ意義ヲ含ムモノトヨ見ルガ好シ第二號議案ノ趣意ハ殊制ナラデ單ニ名稱區域ヲ變更スルノ便法ニ止マルト前ニ陳述セシガ如シ

十九番(松田君)本員ノ考ニテモ此ノ制ノ字ノ區域狹ク編制法中ノ一二條ヲ殊ニスルノ

ミナレバ誠ニ十七號布告ノ融通ニ限リテ殊制トイフ程ノ大事ニアラズ故ニ一應尋問シタルナリ　此トキ既ニ正午十二時ヲ報ス仍テ議長ハ各議員ヲ退散セシメラル

十日午後一時五分開議(第一號議案第二次會)

議長曰ク引續キテ第一號議案ノ二次會ヲ開クベシ

廿七番(北垣君)本員ハ午前ニ於テ沈默ノ自由ヲ賜ハリ半日ヲ默過シ甚ダ心ニ安ンゼズ依テ廿三番ノ說ヲ駁擊セントスルニ既ニ此說ノ多數ヲ得ザルヲ知レバ簡單ニ陳述セントス

ニ廿三番ノ修正說ハ實際ヲ知ラズ又二號議案ヲ研究セザルモノナリ其故ハ十七號公布ニテ內地各地方ノ編制ハ先ヅ行屆キタレド島嶼ニ至テハ實際ノ不便云フベカラズ故ニ特ニ島嶼ノ爲ニ便法ヲ設ケザルベカラザルハ一昨年來內務省ノ書記官ニモ聞キタリ又タ會テ各地方ノ人ニ就テ町村ノ分合等ヲ融通ヲ付ケタル此二便法アリ議案アリテ融通ヲ付ケタル此二便法アリ等ニハ甚ダ苦情モアリシト聞ケリ然ルニ今此二號故ニ云フ實際ヲ知ラズ又タ二號議案ヲ研究セズトアリテ猶ホ喋々ネルハ所謂望蜀ノ慾念ナリト存ズ

卅一番(安場君)廿七番ハ廿三番ヲ駁シテ實際ヲ知ラズ又第二號議案ヲ研究セズト云ヘドモ本員ハ然カ思ハズ島嶼ノ不便ハ誰モ知レドモ內地ニモ不可言ノ不便アルハ知ル者寡シ故ニ此良法ヲ內地ニモ及ホサントスルハ尤モ良善ノ考ヘナリ二號議案モ廿三番ノ前ニ述シ說ニ據レバ十分ニ研究シタルヲ知ルニ足レリ

卅七番(斯波有造君)廿八番(平山君)ハ十八番ノ修正說ヲ贊成ス

廿三番(渡邊君)ハ廿七番ノ說ニ對シ廿七番ハ實際ニ不便ナルヲ內務省ノ書記官ニ聞シト誇顏ニ論ズレド其ハ內務省ノ內幕咄シニテ是デ實地ヲ詳悉セントハ事ヲカシ殊ニ本員ノ說ハ多數ヲ得ザルニ必セリナドハ公言スルガ衆議員ヲ喘着スル者也トノ意ヲ述ブ番外一番(今村君)廿三番ノ修正說ハ贊成ニ過タリ本案ハ內地ニ施行スル意ナラズ島嶼

ノ爲ニ設ケテ十七號布告ニ當テハメタルナリ太政大臣ヨリ布告スル法律ハ一般晝一ニ行ヒタキ趣旨ナレドモ島嶼ノ如キ不得已モノハ別ニ便法ヲ立テザルベカラズ若シ不便ヲ云ヅクニセバ譬ハ民法ヲ制定スルニ男女均一ヲ得ザレバ女ニハ特別ノ法ヲ設ケザルベカラス女ニ特別ノ法アリトテ男ニモ一體ニ一法律ヲ設ケザルベカラズ贊成ノ過ギタルヨリ斯ル說モ出ルナリ

前說ヲ主張ス

務卿ニ以下十五字ヲ削ルノ修正ニ贊成シタル趣意條ハ至重ノ事ヨテ今日マデ之ヲ處分スルニ一々內アリ終ニ元老院ノ議ヲ經テ後ニ裁可セラル、ナレドモ其條ヲトニ處分手續ヲ明示セズ然ルニ獨リ此七條ニノミ手續ヲ示シテハ疑惑ヲ來スモシト述ベ猶ホ十八番ノ修正ヲ贊成シテ十五字ヲ削リ更ヲ別ニ八條ヲ加ヘテ處分ノ手續ヲ明示セシコトヲ望ム一體十七號布告ノ六ケ條ニモ處分手續ヲ示サヌハ法律ノ不備ナリシ也ト述ベラル此時議長ハ十九番ニ向ヒ十八番ノ贊成ト八條追加ト混ヲテハ惡シ何レカ一ニセラレヨト依テ十九番（松田君）ハ獨立シテ七條中ノ十五字ヲ削リ更ニ八條ヲ加ヘルノ一說トスベシト答ヘラル

廿七番（北垣君）ハ又ヲ廿三番ニ對シ內務省ハ各地方ノ上申等ノ集會スル處ニテ之ニ就キテ實ヲ知ルハ尤モ確實ナリ內幕咄ニ非ズト辨ズ

十番（藤村君）ハ十九番（松田君）ノ修正說ハ質問セシ後ナラン贊成シ十二番（槇村正直君）五番（松平君）皆十九番ヲ贊成ス

卅四番（籠手田君）ハ十九番ニ反對シ法律ヲ處分手續ヲ明示セズトテ疑惑ヲ來スハ法律ノ不備ナリト云ヘドモ其不備ヲ見出セシハ行政ノ制ナリ若シ法律ニ明據ナキガ故ニ府縣官ガ內務卿ニ具申セズ勝手ニ編制法ヲ行ヒタリト云フモ咎ムベキ理ナキニ非ズ

廿八番（本山君）モ處分手續ヲ示スハ蛇足ナリ之ヲ別設ノ達ヨテモ又既ニ頒布ナリシ府

縣官職制中ノ條ヲ酌量シテ害ナキヲ要トス

十番（藤村君）ハ之ヲ駁シテ果シテ處分法ヲ示スハ蛇足トセバ本案ニ處分法アルモ蛇足トスルガ本案總体ヲ贊成シタルガ故ニ此說アルハ自說撞着ナリ

十九番（松田君）此等ノ駁說アルハ本員ノ處分手續ト云フハ行政上ノコトナラデ法律ヲ編制法ヲ行フ順序ナリ此處分順序ナキヲ十一年ニ氣ガ附ズ今年ニ至リテ其不備ヲ見出セシト云フモ可ナリ即チ不備ナラバ完全ナサシムルヲ至當トス又ヲ府縣官職制トアレドモ是ハ行政ノ制ナリ若シ法律ニ明據ナキガ故ニ府縣官ガ內務卿ニ具申セズ勝手ニ編制法ヲ行ヒタリト云フモ咎ムベキ理ナキニ非ズヤ故ニ加修ハ今日ニ已ムベカラザルナリ

卅一番（安場君）ハ再ビ廿三番ヲ贊成スル說ヲ敷演シ

廿三番（渡邊君）ハ十九番ノ加條ハ不可ナリ七條ニ處分手續アルハ不得已ノ特制タル故ニ之ヲ示セシナリト述ブ

番外一番（今村君）ハ十九番ノ說ヲ代ルノ〳〵駁スレドモ夫ニハ及バヌ事ナリ十九番ノ說ハ七條ヲ削リ更ニ八條ヲ加ヘルニテ議長ノ伺定メラレシ條ノ建議ノ性質ニ近シ未ダ議題トハ成ラズ之ヲ駁スルハ餘計ノ業ナリト述ブ

議長曰番外ノ說違ベリ十九番ノ說ハ即チ加條アルモ七條ヨリ續テノ修正ト見做スヲ得ベシ且ツ贊成アレバ議題トスベシ議長伺定ノ條云々ト云ハルレド議長ハ左樣ニ考ヘズ

一番（島君）十九番ヲ贊成ス

卅七番（斯波君）モ十八番ノ贊成ヲ取消シ十九番ノ說ヲ贊成ス

十八番（森君）ハ處分手續ハ別達ノ布達ヲ以テ定メ法律ナシテ煩ナラシメザルヲ可トスルヲ述ベ前ノ修正說ヲ主張ス

番外一番(今村君)ハ十九番ノ修正説ヲ不分明トシ八條ニテ手續ヲ加ヘルトハ島嶼ノミカ將タ六條ノ手續ヲ一々示スカト問フ

十九番(松田君)ハ答ヘテ即チ十七號布告一般ヲ總ベタル手續ヲ示スナリ

番外一番(今村君)八條ヲ加ヘルトハ奇妙ノ考ヘナリ六條ノ編制法ハ既ニ濟ンデ仕舞フ

咄ニテ今サラ手續モ糞モ入ラズ島嶼ノミハ實際不都合アリテ未ダ編制モ行屆カズ故ニ此案ヲ下シテ變即チ示シ其手續ヲ明載セルナルナリ

一番(島君)濟ンダ咄ヲトハ以ノ外ノ説ナリ何トテコノ六條ガ濟ンダト決スルカ今コモアレ外國ニ事アリテ其地ヲ略スルアラバ即チ此編制法ヲ施行スベキ時ニ遇ン本員ナドハ常ニ此事アルヲ希望ス身不肖ナガラ地方ニ在テ應分ノ力ヲ盡セリ濟ンデ仕舞フタトハ扨〳〵卑屈ノ説ナリ

十九番(松田君)番外ノ説コソ中々ニ奇々妙々トコソ存ズレ試ニ看ヨ内地ノ編制法ト雖堺縣ノ如キモ是ヨリ着手ノ運ビニ至ルベシ又タ從來ノ府縣タリトモ此先分合ナシト保スベカラズ番外ハ假令ヒ之アリトモ十七號ハ廢止セシモノトスルカ濟ンダ法律トスルカ番外一番(今村君)十九番ノ説ハ分ラズ何モ沖繩縣ヲ引出スニハ及ハズ十七號ハ區郡編制法ノ憲ヨリ出デタル法律ナレバ最早スミシモノナリ今サラ手續ヲ示ストハ却ヲ奇々妙々ナリ一番(島君)沖繩縣トテモ始終ハ一般ノ編制法ヲ行フヤラン之ヲ濟ミモノトハ云ヲ可ラズ

廿八番(平山君)十九番ノ贊成者アレドモ本員ハ贊成者ノ料見ガ分ラズ十九番ノ精神ハ處分手續ホカ府縣官ガ間違ベ勝ナラヌト云ハ府縣ノ混配ナレドモ是マデ一府一縣トシテ編制法ヲ施行スルニ失錯セシコトナシ折角完全ノ法律ニ加條ナシテ不立派ノ法律ト爲シ元老院デ打崩サレテハ御同前ノ恥辱ナリ篤ト勘辨アリタキナリ

一番(島君)ハ之ヲ駁シテ是迄失錯ナカリシハ路傍ニ井アリテ幸ニ陷ラザリシト同ジク是カラ落ル人ナシトモ云ヘズトノ讐論アリ

番外一番(今村君)ハ一番ニ對シ先刻ノ卑屈ト云ハ某ガ一身上ノ卑屈カ將タ説ノ卑屈カ乾度承知致シカネル旨語ル

一番(島君)ハ答ヘテ番外ニハ染々交接モセズ況ンヤ一身ノ卑屈ノ否ヤハ知ルベキ様ナシ即チ説ノ卑屈ナリト答フ

議長ニ此問答ヲ止ム

廿五番(楫取素彦君)ハ内地ト雖モ山河風雪ノ險難妨害等アリテ隨分島嶼ノ隔遠タルニ均シキ地アリト述ベ廿三番ノ但書ヲ加ユル説ヲ贊成ス

議長發言ノ盡キタルヲ見テ

第十二ノ二十三番(渡邊君)ノ修正説ニ起立ヲ表セシム起立五人 少數ニテ消滅ス

第二ノ十八番(森君)ノ修正説ニ起立 六人 少數ニテ同ク消滅ス

第三ノ十九番(松田君)ノ修正説ニハ 六人

第四ノ原案同意ニハ起立 十八人 過半數ニ依リ原案ニ可決ス

次ニ議長ハ第一號議案ノ爲ニ第三次會ヲ開クベキヤ否ヲ起立ニ問ヒシニ卅三人多數ニ依テ議長ヨリ報道スベキ由ヲ述ベラル

其期日ハ追テ議長ヨリ報道スベキ由ヲ述ベラル

第二號議案第二次會

議長先ヅ第一條ヲ朗讀セシム

十八番(森君)ハ本案ヲ修正シテ第一條ハ十七號布告ノ第二條ノ但書ニ加ヘ第二第三條ハ別段ニ布達シテ其手續ヲ示スコソ却テ簡單見易シト述ブ

議長ハ貴説ハ伺定ニ比較スルトキハ通常ノ修正ナレバ即チ權衡ニ管係アル修正ナレ

ハ二人以上ノ賛成者ヲ得テ議題トスルノ部ヲ心得ノ爲メニ申置ク

卅三番（野村維章君）廿一番（西村亮吉君）卅七番（斯波君）ハ原案ヲ賛成シ

廿三番（渡邊君）ハ布告案ノ下ノ沖繩縣ヲ除クノ字ヲ削リタルト述ベシニ番外一番（今村君）ハ是レハ議案ニ非ラズト答フ

卅二番（石田君）ハ本案第一條ハ下二條ノ總目ナリ之レヲ修正シテ府知事縣令ヨリ內務卿ニ具狀シ人民ハ府知事縣令ニ請願スルヲ得ルノ意ヲ加ヘタルト述ベラレシガ賛成者ヲ得ズ

議長ハ終ニ原案同意ヲ起立ニ問ヒシニ

起立　三十二人

多數ニ依リテ原案ニ可決ス

議長第二條ヲ朗讀セシハ

二十一番（西村君）第二條ヲ修正シ區域名稱ヲ變更スルハ府知事縣令ノ勝手ニ任セズ府縣會ニ諮問シテ後ヲ請願スルヲ可トシタルノ意ナリ

三十四番（籠手田君）ハ駁シテ府縣官ハサル勝手ハセズ會議ニ問ヒテハ行政上ニ不便ヲ生ズト云ヒ

十七番（山田君）ハ是式ノ事モ會議ニ問ハズ隨意ニ處分スルト云フ

二十一番（西村君）ハ答ヘテ行政上ヨリ不便ナリ府縣ノ分合モ國會アラバ政府ハ國會ニ問フベシト思フ郡區ノ變更モ是ヲ均シ

十番（藤村君）二十一番ヲ賛成ス

二十三番（渡邊君）番外ニ問フ沖繩縣ヲ除クノ字ヲ議案ニ非ズト云ヘド布告案ト明示セシ下ニアルハ如何

番外一番（今村君）那處ニアルヤ內閣ニアル議案ニ非ズト云ヘリ

議長ハ廿三番（渡邊君）ニ向ヒテ內閣ニ無イト云ヘバ果テ仕方ガ無イト於是

廿一番（西村君）ノ修正說ニ同意ヲ表セシ者

原案ニ同意ハ　廿九人

書記第三條ヲ朗讀ス

十六番（大迫貞清君）町村ノ區域名稱變更ハ從前ノ通リ內務卿ヨリ天下一般ニ布達セラルヽヲ可トスト修正說ニ廿八番（平山君）ノ大ニ人民ノ交際商買上ニモ關係アレバ內務卿ヨリ一般ニ達セラルヽヲ可トスト十六番ヲ賛成ス

卅八番（宍戸昌君）廿七番（北垣君）十七番（山田君）九番（三島君）一番（鳥君）十三番（永山盛輝君）ハ何レモ十六番ヲ賛成ス

卅四番（籠手田君）ハ內務卿ノ布達ニ及ハズト駁シ廿八番（平山君）ノ說ニ對シテ一二ノ問答アリ

議長ハ十六番（大迫君）ノ修正說ニ同意ヲ表セムルニ起立十四人過半數ニ上ラズ次ニ原案ノ可否ヲ起立ニ問フニ

起立　廿一人

過半數ニ依リテ原案ニ決ス

議長ハ明日ハ紀元節ニ付キ議事ヲ休ミ明後十二日午前十時ヨリ開議スベキ旨ヲ告ゲ各議員ニ退散ヲ命ズ特正ニ午後四時二十分ナリ

此日傍聽ニハ有栖川宮東伏見宮其他諸官省ノ勅奏任官府縣官郡區吏府縣會議員モ數多見受ケ遠國新聞社ヨリハ仙臺日々新聞熊本新聞筑紫新聞等ノ記者モ出京シテ傍聽ノ席ニアリ

明治十三年二月七日出版御届
同　二月十四日出版
出版人兼編輯　小笠原美治
東京神田五軒町十八番地弘令社
各地賣捌書肆
東京芝三島町　山中市兵衛
大坂心齋橋通備後町角　吉岡平助
京都寺町通四條上ル　田中治兵衛
其他各府縣官令全報文明同樂相談賣捌所ニ於テ賣捌致候
（定價金四錢）府外遞送稅壹錢

J1521

明治十三年二月

地方官會議傍聽錄

第貳號

東京神田區神田五軒町十八番地
弘令社發兌

例言

一地方官會議ノ顚末ハ既ニ各社新聞紙ニ揭載シ世ノ人亦既ニ其詳細ヲ知了セリ然リト雖新聞紙ノ連日ニ散出スルハ特リ一時通覽ノ便ヲ欠クノミナラス或ハ他日散逸ノ患アリ隨テ又掌中提携ノ便ナシ是此册ノ編輯アル所以

一此書ハ明治十三年二月五日會議開場ノ日ニ起リ三日毎ニ一册ヲ刊行シ閉會ニ至ル迄全部十册ヲ以テ完結スベシ

一書中重複ヲ厭ハス會議日誌ヲ併輯スルハ參考ノ爲メナリ

一此書ノ冒頭ニ會議ニ係ル諸布達及伺指令ヲ登錄スルモ亦參考ノ爲メナリ

地方官會議日誌第二號

本年內閣ヨリ下付ノ議案（傍聽錄壹號七葉ニ全文ヲ載ス）

二月六日同七日小會議ヲ開キ幹事長議長トナリ議案ヲ質問シ內閣委員之ニ答辨ス　存目

地方官會議日誌第三號

二月十日

午前第十時二十分開議

午前　議員三十五人　欠席議員三人　午後四時五分退散

午後　議員三十六人　欠席議員二人

○

第一號議案第一次會

審議ノ後議長ハ本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　四番　二十番　二十六番

三十四人　乃チ過半數ヲ以テ第二次會ヲ開クニ決ス

○

第二號議案第一次會

審議ノ後議長ハ本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　四番　二十番

三十四人　乃チ過半數ヲ以テ第二次會ヲ開クニ決ス

○

第一號議案第二次會

第一號議案

審議ノ後二十三番議員ノ本條ニ但書ヲ加ヘ「但陸地ト雖モ已ムヲ得サルモノアルトキハ仍ホ本條ニ依ルコトヲ得」ト云フ修正說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　五人　乃チ少數ヲ以テ消滅トス

又十九番議員ノ本條ハ「十八番ノ修正說ノ如クニシ別ニ一條ヲ增加シテ處分手續ヲ示スヘシ其文字ノ修正ハ委員ヲ設ケテ之ヲ調查セシムヘシ」ト云フ說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　九人　乃チ少數ヲ以テ消滅トス

又十八番議員ノ本條ノ府知事縣令云々「二十三字ヲ削リ「凡ソ島嶼ハ陸地ト其制ヲ殊ニスルコトヲ得」ト云フ修正說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　四人　乃チ少數ヲ以テ消滅トス

又原案ヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　十八人

乃チ半數ナルヲ以テ議長ニ於テ原案ヲ可決スル又議長ハ本案ノ爲メ第三次會ヲ開クニ決スルヲ起立セシム

起立者　三十三人

乃チ過半數ナルヲ以テ第三次會ヲ開クニ決ス

議長乃チ第三次會ノ期日ハ追テ報告スヘキ旨ヲ述フ

○第二號議案第二次會

第二號議案第一條

審議ノ後議長ハ原案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　三十三人　乃チ過半數ヲ以テ原案ニ可決ス

同第二條審議ノ後二十一番議員ノ「郡區ノ區域名稱ヲ變更スルハ府縣會ノ決議ヲ經テ府知事縣令ノ稟請スル所ヲ以テ內務卿ヨリ具狀シ太政大臣之ヲ布告ス」ト云フ修正說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　六人　乃チ少數ヲ以テ消滅トス

又原案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十九人　乃チ過半數ヲ以テ原案ニ可決ス

同第三條審議ノ後十六番議員ノ本條ヲ「町村ノ區域名稱ヲ變更スルハ府縣會ノ決議ヲ經テ府知事縣令ヨリ具狀シ內務卿之ヲ布達ス」ト云フ修正說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　十四人　乃チ少數ヲ以テ消滅トス

又原案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十一人　乃チ過半數ヲ以テ原案ニ可決ス

又議長ハ本案ノ爲メ第三次會ヲ開クニ決ス

起立者　全員　乃チ第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

議長乃チ第三次會ノ期日ハ追テ報告スヘキ旨ヲ述フ

地方官會議日誌第四號

二月十二日　午前第十時二十分開議　午後第四時五十分退散

議員三十六人　欠席議員二人　四番　二十九番

第三號議案第一次會

審議ノ後議長ハ本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　三十二人

乃チ過半數ナルヲ以テ第二次會ヲ開クコト決ス

○第三號議案第二次會

第三號議案　審議ノ後十五番議員ノ本條ニ意義ノ關係アル明治十一年第十八號布告第一條ヲ修正シテ「府縣會ハ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事件及其經費ノ豫算並其徵收方法ヲ議定ス」ト修正スル說ヲ議場ノ問題トナスニ同意者ヲ起立セシム

起立者　九人

乃チ少數ナルヲ以テ消滅トス

又第三十一番議員ノ「凡ソ地方稅ヲ以テ施行スヘキ事件ハ府縣會ニ付シテ之ヲ議セシムヘシ其議決ハ府知事縣令認可ノ上之ヲ施行スヘキ者トス若シ府知事縣令其議決ヲ認可スヘカラスト思慮スル時ハ其事由ヲ請會ニ示シ之ヲ內務卿ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ」トスル修正說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二人

乃チ少數ナルヲ以テ消滅トス

又二十三番議員ノ舊文ヲ復シ即チ「凡ソ地方稅ヲ以テ施行スヘキ事件ハ府縣ノ會議ニ付シ云々ナル修正說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　三人

乃チ少數ナルヲ以テ消滅トス

又原案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　卅一人

乃チ過半數ナルヲ以テ原案ニ可決ス

又議長ハ本案ノ爲メ第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　三十二人

乃チ過半數ナルヲ以テ第三次會ヲ開クニ決ス

議長乃チ第三次會ノ期日ヲ追テ報告スヘキ旨ヲ述フ

○第四號議案第一次會

審議ノ後議長ハ本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　三十四人

乃チ過半數ナルヲ以テ第二次會ヲ開クニ決ス

○第四號議案第二次會

第四號議案　○本會審議ノ央ニシテ十九番二十番二十六番二十七番ノ四員公務ニ依リ議長ノ許可ヲ得テ退場ス

審議ノ後十番議員ノ本條ノ其異見アル云々ヲ修正シテ「議會ノ異見トスルマテノ手續キヲ明揭シタル其文案ハ委員ヲ設ケテ之ヲ調査セシムヘシ」ト云フ說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　六人

乃チ少數ナルヲ以テ消滅トス

又原案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十四人

乃チ過半數ナルヲ以テ原案ニ可決ス

又議長ハ本案ノ爲メ第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

地方官會議傍聽錄第二號

二月十二日午前十時開議（第三號議案第一次會）

議長曰ク本日ハ第三號議案ノ第一次會ヲ開クヘシト書記ヲシテ朗讀セシム

第三號議案明治十一年第十八號布告第五條改正案

第五條　第一條ニ掲ケタル府縣會ノ議決ハ府知事縣令認可ノ上之ヲ施行スヘキ者トス若シ府知事縣令其議決ヲ認可スヘカラズト思慮スル時ハ其事由ヲ内務卿ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

欠席　白根培玉縣令

開口山口縣令

議長曰ク本日ハ第三號議案ノ第一次會ヲ開クヘシト書記ヲシテ朗讀セシム

第三號議案明治十一年第十八號布告第五條改正案

第五條　第一條ニ掲ケタル府縣會ノ議決ハ府知事縣令認可ノ上之ヲ施行スヘキ者トス若シ府知事縣令其議決ヲ認可スヘカラズト思慮スル時ハ其事由ヲ内務卿ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

六番（熊野君）始メ第五條ニ凡ソ地方税ヲ以テ施行スヘキ事件云〳〵トアルヲ削リテ本案ノ如ク改正セラレテハ大ニ府縣會ノ權限ヲ狹クスルモノナリ第一條ニハ府縣會ハ地方税ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算及ヒ其徴收方ヲ議スト雖モ第五條ニ事件ト明示セル故ニ是マデモ法制局ヘ伺ニ事業ノ存廢ヲ議セシムルモ可ナリトノ指令モアリ然ルニ如是改正アリテハ府縣會ハ豫算徴收ノミヲ議スルヲ得ス是レ分權ノ主義ニ反シマタ官民ノ協和ニモ差響アリテ改正ハ甚タ不可ナリ故ニ第五條ヲ如是改正セハ第一條ヲ修正セサル可ラス府縣會ハ地方税ヲ以テ施行スヘキ事件及ヒ經費ノ豫算若クハ大ニ府縣會ノ權限ノ伸縮ニ管ス折角十八番（平山君）右番ノ説ノ始メ此改正ニテハ大ニ府縣會ノ權限ノ伸縮ニ管ス折角十

一年ニ事件ヲ議セシムルノ明文ヲ掲ケタルヲ十三年ニ是ヲ削リ議權ヲ狹小ナラシムルハ尤モ本員ノ取ラサル所ナリ修正ノ趣意ハ六番ト異カリ第二次會ニ述フヘシ

廿三番（渡邊君）總体ヲ不可トスルニアラス改正ニアラスト雖モ折角ク地方官ノ我儘ヲ抑ユル爲メニ設ケシ府縣會ノ權ヲ狹クスルニテ甚タ謂レ無キ改正也仍テ第一條ヲ修正セサル可ラス

十九番（松田君）本案ノ改正ニテ毫モ差支ナシ第二次會ヲ待チテ反對論者ニ向ッテ大ニ辨論スヘシ

十五番（岩村君）第二次會ニ修正説ヲ述ル九番（三島君）八番（原君）廿番（高崎君）ハ原案ヲ贊成ス

議長曰ク最ハヤ總体ニハ異見モ無シト見受ル依テ本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヘキヤ否ノ決ヲ取ルヘシトテ

起立セシムルニ　卅人　多數ニ依リ引續テ第二次會ヲ開ク

十五番（岩村君）第五條ヲ改正スルニ付テハ矢張リ六番ノ如ク第一條ヲ修正セサル可ラス抑モ第五條ノ事件ノ二字ハ事業ナリ之レヲ削リテハ府縣會ハ單ニ費目ノ增減ノミナラス費目ヲ議シテ事業ノ存廢ニ議シ及フ能ハス其ノ權限ノ縮少スルノミナラス費目ヲ議セハ其ノ事業ヲモ議セサル可カラサルハ素ヨリ理ノ親易キモノタリ依テ一次會ニ六番ノ述ル如ク本條ヲ改正セハ第一條ヲ修正スヘシ

廿七番（北垣君）十五番ヲ贊成ス卅一番（安場君）モ費目事業ノ離ル可ラサルヲ論シ第一條ノ修正ハ十五番ニ同シクテ更ニ本條ノ若シ府知事縣令其議決ヲ認可スヘカラスト思慮スルニハ其理由ヲ議會ニ示シ〳〵ノ文字ヲ加ヘ廿八番（平山君）十五番ヲ贊成ス其故ハ凡ソ事業ヲ議セスシテ費目ヲ議スルノ理ナシ費目ハ獨歩セスモノナリ云〳〵ノ入費アリト議會ニ問ハヽ議會ハ其消費スルノ事業ノ如何ヲ問ハサルモノ有ラメヤ故ニ事件ノ字ヲ存シテ第一條ニ插入スヘシ

議長曰ク十五番ノ説ハ即チ議長ガ伺定ヲ關係アル條項ノ修正ナリ既ニ賛成者モアレハ會議ニ問ヲ議題ト爲スベシ（ハ）

廿六番（野村靖君）議長ニ伺ヒタキ事ハ十五番ノ修正説ノ如ハ本員ハ甚タ議題トナルヲ好マズ然ニコノ説ノ反對論者ガ其意見ヲ陳述セザル前ニ議題ヲスルカ否ヲ問ハルヽ時ハ大ニ反對論者ノ爲ニ起立ヲ失フノ患アランカ

議長曰ク素ヨリ十五番ノ如キ修正説ニ二名以上ノ賛成ヲ得レハ議題ト爲スノ手續ナレド議題トナルヲ好マヌトノコトナレハ一應述ベラレル可シ

十九番（松田君）ハ本員モ廿六番ト同シク一應述ベラルル感觸アリタルニ反對者ニ自由ヲ與ヘラレテ滿足セリト述ベラル

廿六番（野村君）此條ノ改正ヲ目シテ府縣會ノ權限ニ伸縮ヲ生ズルナドヽハ甚シキ誤見ナリ此事件ノ字ヲ削リテコソ實ニ法律ノ文ヲ放ツト存ズ是迄モ事件ト徴收トノ分別ニ苦ミテ法制局ヲ度々煩ハセシコトアレド素ト地方稅ニテ支辨スベキ金額ヲ議スル爲ニ立ダル法律ナレハ徴收ヲ先ニシテ事業ニ入ルノ順序ナルヲ事業ヲ第一ニスル時ハコノ法律ノ精神ヨリ組ミ替ヘヲハ成ラズ又タ事件ノ字ヲ削リシトテ費目ヲ議スレハ事件ニ及ブハ勿論ナリ即チ反對論者ノ廿八番モ費用ハ獨歩セスト云ヒタリ然レハ事件ノ字ガ無イカラトテ權限ノ伸縮ヲ心配スルニ及ハヌ畢竟議會權限ノ擴張ナドヽハ隨分如今ノ世界ニテハ齒向キモ能キ論ガ（ハ）レヽ（ハ）此場ニテハ愛想ガシニ異正ノ論コソ願ハシケレ（ハ）

議長曰ク只今十五番ヲ修正説ハ直ニ會議ヲ問ビ其議題ヲスレド廿六番ノ發言ハ此議題ノ成否ニ付テノ異論ナリヤ是ヲ許ルヽヤ其他ノ總体ニ就テノ發言ナレハ時間ヲ費ヤス恐アルヲ折角伺定ノ趣意ヲ無益ナラシメ總体ニ付テノ發議ハ差止ムベシ

各員ノ注意ノ爲ニ申置クナリ（ハ）

此時廿六番（熊野君）ハ廿六番ニ對シ異論辨セント欲セシ番（島君）ハ六番ト十五番ノ説ノ異同ヲ問ハント欲セシ云ヒ十五番（吾村君）ハ議題ノ成否ヲ答ヘントシタレド議長ハ之ヲ中止セリ（ハ）

又タ番外一番（今林君）ハ十五番ノ修正説ハ誤解ナレハ駁スルモ無用ナレド早ク議題トスベキノ否ヲ決シタシト述ブルヲ議長マタ之ヲ中止シ因テ曰ク十五番ノ修正説ハ即チ他ノ條項ニ權衡ヲ持ツモノ故議題トスベキカ否ヲ問フニヲ同意ヲ表セズ（ハ）

一番起立ス（ハ）少數ニヨリテ消滅ス（ハ）

廿三番（渡邊君）此改正ハ前ニモ述シ如ク甚タ不可ナリ

廿八番（平山君）前ニ十五番ヲ賛成シ番外一番（今村君）先刻ヨリ斯ル修正説ハ府縣會ハ地方稅ニ施行スベキ事件ニ限リ其他ノ金額ニアラス事件ハ議スル權ナキ者ト若シ又事件ヲ議スルノ一土木ヲ起スニモ材木ノ細大ニヨリ請負人ノ名ヲ議スルヲ成ラズ其權カ實ニ修正説ノ出ル意ヲ解スルニ苦シム（ハ）

廿三番（渡邊君）本員ハ飽クマデ議會ニテ不適當ノ決ヲ見ル行政上ニ差支アラン恐アリトセザルノ權ヲ與ヘン明文アリ番外二番（今村君）ハ飽クマデ事件ノ字ガ無クテハ狹イト云ヘドモ又ヤ事件ノ字ガ無クテハ府縣會ノ權限ヲ明カニ豫算ノ中ニ何ヲノ事業ニ幾千ノ金ヲ要スルト一應定メ示セヤ然ル時ハ此ノ五條ノ事件ヲハリテ金額ト事業ノ二ツアリテ

混雜スル故ニ斯ク改正セシナラン又ヲ飽タマデ議セラルルト云ヘド行政上ノ事ヲ一々議會ニ問フ遑アルベキヤ要スルニ行政ト議政トノ區域ハ明ラカニ立テ置カヌテハ其ノ弊不可言モノアラント辨シ更ニ其區域等ヲ詳說スルトキ廿七番(北垣君)ハ議長ニ向ヒ番外ニ說明ノ無用ナルヲ忠告シシカシト云フ議長ハ無用ニハアラズト答ヘシニ廿七番ハ更ニ議長ニ建言セント述ベ許可ヲ得テ曰ク番外ノ說明ハ信切ノ意ナルベケレド是ヲ無用ト云ハサルヲ得ズ行政議政ノ區域ノ知キ一々地方官等モ承知シタルニハアラズ小學教師ガ生徒ニ教諭スル如キ冗辨ハ甚ダ迷惑ニ存ズル

議長曰ク其建言ヘ採用シ難シ發言ノ自由ハ左樣ニ一人一己ノ爲ニ窮屈ニハ出來ズ二十七番ニハ無用ト認ムレド或ル場合ニヲ他ノ人ニハ無用ナラザルモアルベシ

廿三番(波多君)ハ第二條ノ議決ハ府縣會ノ議權ハ費用ノミニ止マレド第五條ニヲ事ノ是非得失ヲ議スルヲ得ルナリ然ルニ是モ削リ去ルハ之ヲ權限ヲ縮小セシムルト云ハスシテ何トカ云ヘント述ブ

番外一番(今村君)ハ又之ヲ駁シテ第一條ハ議會ノ權限ナリ第五條ハ認可スルトセザル ノ手續ナリトノ意ヲ陳述ス

此時正午十二時ヲ報ズ依テ議場ヲ退散セシム

午後一時開議

第二號議案第二次會ノ續キ

廿九番(松田君)第五條ハ如斯改正セラルレバ經費豫算ヲ議スル外ニ大眼目ヲ削去スルニ至ルベシ

內務卿ハ具申スル如ク專ラ揭ケサル決ヲ議權ヲ示セル條ニ非ズ故ニ此五條ヲ削除スルニ於テハ何等ノ事カ分ラズ條目ナリ府縣會ノ大眼目ハ此五條ニ在リ第二條ノ議決ヲ府知事縣令以テ施行スベキ事件トアリテハ何事トモ分ラズ地方

稅徵收ノ事ハ府知事縣令ニ於テ如何ノ手續ニヲ上申スルカ其明文ハナシト云フモ可ナリ十二年ニ如此キ文ヲ成セシハ是レ法律ノ欠典ナリシヲ見出サレシ故ニ此改正アリシナラン然ルニ廿三番ノ如ク之ヲ元ノマヽニ據ニ置ク時ハ法律ノ不都合ヲ遂ゲルモノト云フベシ又タ此字句ヲ改正セシトテ存在セシトテ府縣會ノ權限ハ第一條ニ明示シタレバ伸縮スベキ理ハ毫モ無シ若シ別ニ府縣會ノ議權ヲ廣クスルトノ事ナラバ建議シテ大体ノ法律ヲ改正セザルベカラス又タ事件ト云フハ素ト雜細ナルモノニテ之ヲ一々議セラルルニハ迚モ不可行ノ論ニテ譬ヘハ警察署ヲ立ルノ費用ヲ議會ニ問フニ議會ハ此場所ハ不可ナリ爰ニハ入ラヌ彼處ニハ入ルト事業上ノ可否ヲ云フヘキ者ナラス又タ云フヲ得ス何トナレハ其事業ニ施ス警察署ノ配置等ニ至テハ府知事縣令ガ托セラレタル持權者ニテ持權者ナラデハ其ノ事業上ノ見込ハ立ス又タ之ヲ行フ權ナキ議會ノ打崩セヌモノナリ去ルヲ事件〳〵ト云ヘハ警察權ヲモ議スル樣ニ成ルヘシ抑モ法律ハ行政官ガ事ヲ實施スルニ妨害ナキヲ主トセザレバ人民ノ便益トモ成ラス又タ橋梁堤防ヲ建築センニ竹木ノ性質マデ議シテハ手モ無ク議會ガ理事者ノ目論見人トナル道理ニテ雜細ノ者トナルヘシ要スルニ議會ハ地方稅ノ豫算ニ付キ其地方ノ景狀ニテ負擔スルヲ得ヘキカ否ヲ議定スルモノニテ事件ヲモ議スルトセハ其費用ニ堪ルト否トヲ問フ一概ニ其費ヲ客ンデ事業ヲ打崩スヲ成ルヘシ善良ノ議員アラハ斯ル馬鹿業ハスマジケレド理論ニテ立派ニ議場ニ行ハレ其實人民ノ大不都合ヲ生スルヿ僅少ナカラス旁々コノ改正ハ行政立法ノ區域ヲ明白ニスル爲ナレハ飽クマデ原案ヲ贊成スヘシ廿番(高崎君)十九番ヲ贊成ス

十八番(森君)本員ハ素ヨリ原案贊成者ノ一人タリ然レドモコノ第五條ノ改正案ヲ贊成シ且ツコノ法律ヲシテ完全無欠ナラシメルガ爲ニ大修正ヲ加ヘテ府縣會規則中第四條

第八條ノ事件ノ二字モ費用ト致シタク シ其字句ハ委員ヲ選ミテ調査スルモ可ナリ廿八番（平山君）ハ十九番ノ負擔スルカ否ヲ議スル云々ヲ駁シテ十七號法律ノ精神ヲ養スルモノトシ番外ノ說明モ府縣會ノ議權ハ第一條ニ明示シテ事件ヲ議セシメストノ辨明アリシヨリ十八番ノ如キ誤謬ノ修正說モ起リタリトノ意ヲ述ベテ廿三番ヲ贊成ス廿四番（籠手田君）ハ十九番ヲ贊成シ事件ヲ一々議會ニ問ハヾ年中議會ヲ開イテ置ヲハ成ラス寧ロ入費モ層スヘシトノ意ヲ陳シテ不可行ノ論ト爲ス

十七番（山田君）十八番ノ修正ニ同意ナレトモ文字ハ費用トセスシテ經費ト修正スヘシ三十一番（安場君）ハ前說ノ如ク修正スヘシトノ說ヲ主張シ府縣會ヲ開キシ後ヲ以テ開カザルノ前ニ比スレハ行政上ノ便益モ多キ故ニ倍々其權限ヲ縮小セシメザル方ナリ假令ヒ擴張シテ無法ノ議決ヲ爲ストモ府知事縣令ノ認不認アレハ掛念ニ足ラストノ趣意ヲ述ブ

廿二番（山吉君）ハ當今ノ處ハ原案ヲ贊成スト云ヒ九番（三島君）五番（松平君）一番（島君）卅番（楢崎君）共ニ原案ヲ贊成ス

十九番（松田君）ハ再ヒ前說ヲ敷演シテ原案修正者カ第一條修正說ノ消滅セシヲ遺恨ニ存シ其餘波ヲ移シテ第五條ヲ修正セントスルハ生クヘキ理ノナキ死人ノ蘇生ヲ願フカ如ク譬ヘハ日本風ノ家ヲ建ル者アリ其室中ヘ椅子高机ヲ据エントスルニ其不可ナルヲ人ニ諭サレ今度ハ其臺所ヘ椅子高机ヲ据エントセシニ同シク据ニ可ラサル所ニ据エントシ終ニ倍々牽強附會ニ陷ルニ同シト云ヒテ廿三番ノ贊成者ヲ駁ス廿六番（野村君）モマタ前說ヲ敷演シテ十九番ノ說ヲ補フ六番（熊野君）ハ卅一番ヲ贊成ス

廿七番（北垣君）本員ハ先ヲ十五番ヲ修正說ヲ贊成シ其說ノ消滅シタル後ハ局外ニ在リテ傍觀セシカ論場恰モ鬼龜天正ノ頃英雄國ヲ爭フ如ク甚タ靜謐ナラス有樣ト成レリ本員ハ卿ヲ局外ニ在リテ虛心ヲ諸說ヲ聽取シタレハ公平ノ論ヲ述ン（此時卅四番（籠手田君）ハ起テ廿七番ノ說ハ局外ニ在ツテ一々諸議員ノ說ヲ批判スルハ無用ト發言セシカ議長ハ可否決ノ時ニ局外ナリトテ何レニモ起立セスト云フテハ無ク今マテ虛心ニテ諸說ヲ聽キ居シトアレハ廿七番ノ陳述ハ無用ニ非ズト答ヘテ再ヒ廿七番ニ發議ヲ續カレム）ニ廿三番ノ改正案ヲ非トシテ冗ノマヽトスルハ本員ノ好ム所ナラズ依テ原案ヲ贊成ス

議長ハ論モ盡キタリト見テ決ヲ取ルヘシト述ベ

第一ニ卅一番ノ修正說ニ同意ヲ表セラルルニ　起立　二人

第二ニ廿三番ノ修正ニハ　起立　三人

第三ニ原案贊成ニハ　起立　卅二人

數多ニ依リ原案ニ決ス議長ハ續キテ本案第三次會ヲ開クヘキヤ否ト起立ニ問ヒシニ

依テ第三次會ヲ開クニ決シ期日ハ議長ニ於テ報告スヘシト述ラル

第四號議案第一次會

議長曰ク引續キカ第四號議案ノ一次會ヲ開クヘシ書記コレヲ朗讀ス

第六條　府縣會ハ每年定常會議ノ初メニ於テ地方稅ニ係ル前年度ノ出納決算ノ報告書ヲ受ケ其異見アル者ハ議長ノ名ヲ以テ直チニ內務大臣ニ上申スルヲ得

十四番（境君）原案ヲ贊成ス

卅七番（斯波君）ハ此決算報告書ヲ以テ議會ニ異見ヲ內藏兩卿ニ上申スルト成レハ審查モサセテ成ラス其間ニ多少ノ手數モ掛リ夫ヨリハ府知事縣令ノ功能モ無ルヘシ又タ府知事縣令ノ贊事タルヘシトノ意ヲ永々ト陳述アリテ法外ノ決算ヲ報告モスマシ畢竟煩冗ヲ招クノ

り（確トハ聞取レザリキ）

廿五番（椙取君）ハ異見ヂ内藏兩卿ニ上申スルハ間接ニテ夫ヨリハ親シク直接ニ府知事縣令ニ異見ヲ述ベ夫ニテモ腰骨ノ答辨サラバ直チニ内藏兩卿ニ上申スル事ニ修正シタキヲ是ヂハ所謂言辨曰ニテ官民ノ間ニチカシク隔氣ヲ持チ裁判法ノ上告ニ做ヒテ公平ヲ示サントノ意ナルベケレド爲ニ却テ意外ノ弊アルベキカト恐ルヽナリ修正ノ文字ハ第二次會ニ述ベン十三番（永山君）趣意ハ二十五番ノ如シ修正ハ違ヘリ

一番（島君）原案ヲ贊成ス

廿番（高崎君）ハ本條ハ變例ヲ示セシモノニテ府知事縣令ガ法外ノ決算報告書ヲ送リシ時ノコトナレバ原案ノマヽヲ可トスルトノ意ヲ述ブ

議長曰本案總体ニハ既ニ論モ盡キタリトテ第二次會ヲ開ク

起立　卅四人　直チニ第二次會ヲ開ク

第四號議案第二次會

十番（藤村君）ハ本條ヲ修正シテ異見アル時ニ内藏兩卿ヘ上申スル手續ヲ明示センコトヲ望ム字句ハ委員ニ選ムベシト述ブ

卅三番（野村維章君）ハ原案ヲ可トシ十番ハ手續ヲ示スハ入ラヌコトナリ併シ本條ノ異見アル者ハヲ時ト修正スベシトノ意ヲ述ブ

十番（藤村君）下ノ第四號議案ニ議員ノ内二人以上云々トアル故ニ此條其手續ヲ經テ上申スルコトナレド之ヲ明示スルカ誰ニモ分リテ好シ九番（三島君）十二番（槇村君）共ニ十番ヲ贊成ス

議長曰ク十番ノ修正説ニ依テ起立ノ各員ハ其修正説ト委員ヲ選ブマヅヲ併セテ同意ト御承知アルベシトテ十番ノ修正説ニ同意ヲ表セシムルニ

起立　六人

原案同意ハ　廿四人　過半數ニ依リ之ニ可決ス

次ニ議長ハ本案ノ三次會ヲ開クニ同意ノ者ヲ

起立セシムルニ　廿八人　依テ之ニ決ス

夫ヨリ議長ハ各員ニ向ヒ本日ハ是ニテ議事ヲ終ルベシ明日ハ第一號第二號議案ノ三次會ヲ開クベシトテ衆員ヲ退散セシメラル時正ニ午後四時五十一分

地方官會議日誌第五號

二月十三日　午前第十時十五分開議

午前　議員三十五人　欠席議員三人

午後　議員三十四人　欠席議員四人

第一號議案第三次會

第一號議案　審議ノ後十九番議員ノ本條中「府知事縣會云々二十二字ヲ刪リ別ニ一條ヲ增加シテ處分手續キヲ掲クヘシ其文字ノ修正ハ委員ヲ設ケテ之ヲ立案セシムヘシ」ト云ヲ説ニ同意者ヲ起立セシム　起立者　十五人　乃チ少數ナルヲ以テ消滅トス

又原案ニ同意者ヲ起立セシム　起立者　二十八　乃チ過半數ナルヲ以原案ニ可決ス

議長乃チ第壹號議案ハ三次ノ會議ヲ經テ決定シタルヲ以テ之ヲ上奏スヘキ旨ヲ述フ

第二號議案第三次會

議長ハ二十八番議員十五番議員ノ請求ニ因リ本案ヲ分割シテ第一條第二條ヲ以テ一議題トシ第三條ヲ以テ一議題トス旨ヲ述フ

第二號議案第壹條第二條

審議ノ後二十一番議員ノ第二條郡區ノ區域名稱ヲ變更スルハ府縣會ノ意見ヲ問ヒ府知

事縣令云々トスル修正說ニ同意者ヲ起立セシム　起立者六人　乃少數ナルヲ以テ消滅トス
又原案ニ同意者ヲ起立セシム　起立者　二十七人　乃チ過半數ナルヲ以テ原案ニ可決ス
同第三條　審議ノ後十六番議員ノ本條ノ末文ヲ「府知事縣令ヨリ具狀シ內務卿之ヲ布達ス」トアルノ修正說ニ同意者ヲ起立セシム
起立者　十四人　乃チ過半數ナルヲ以テ消滅トス
又原案ニ同意者ヲ起立セシム
起立者　二十一人　乃チ過半數ナルヲ以テ原案ニ可決ス
議長乃チ第二號議案ハ三次ノ會議ヲ經テ決定ヴタルヲ以テ之ヲ上奏スヘキ旨ヲ述フ
第五號議案第一次會　○審議ノ後議長ハ本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム
審議ノ後議長ハ本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム
起立者　三十八　乃チ過半數ナルヲ以テ第二次會ヲ開クニ決ス
第五號議案第二次會
第五號議案　審議ノ後二十一番議員ノ本案中「ノ內二人以上ノ發議ヲ以テ」ノ十二字ヲ削ルノ說ニ同意者ヲ起立セシム　起立者　三人　乃チ少數ナルヲ以テ消滅トス
又三十四番議員ノ本案中「二人以上ノ發議ヲ以テ」ノ字ヲ削リ舊文即「一人又ハ數人」トスル修正說ニ同意者ヲ起立セシム　起立者　七人　乃チ少數ナルヲ以テ消滅トス
又十九番議員ノ過半數ヲ得タルトキハヲ改メヲ可決スルトキハトスル修正說ニ同意者ヲ起立セシム　起立者　十七人　乃チ過半數ナルヲ以テ可決ス
又議長ハ本案ノ爲メニ第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム
起立者　三十五人　乃チ過半數ナルヲ以テ第三次會ノ期日ハ追テ報告スヘキ旨テ述フ
議長乃チ第三次會ノ期日ハ追テ報告スヘキ旨テ述フ

地方官會議傍聽錄第貳號

（第二號議案第二次會）

二月十三日午前十時開議

議長曰ク昨日報道セシ如ク是ヨリ第一號議案第三次會ヲ開ク　書記官ニ命シ朗讀セシム

欠席　白根埼玉縣會　石田秋田縣令　原兵庫縣少書記官

三番（吉田豐文君）ハ第二次會ニ主張セシ陸地ト雖モ已ヲ得ザレバ其制ヲ殊ニスルヲ得ルトノ但書ヲ加ヘタシト述フ

廿三番（渡邊君）廿五番（楫取君）卅一番（安場君）コレヲ贊成ス

十九番（松田君）本員モ第二次會ニ述シ如ク凡ソ島嶼ハ其制ヲ殊ニスルヲ得トシテ猶ホ八條ヲ增加シテ編制法六ケ條ニ渉リタル手續ヲ明示スベシトテ前說ヲ再演ス　十二番（槇村君）廿番（高崎君）十一番（河野君）一番（島君）卅五番（岩佐君）九番（三島君）十番（藤村君）共ニ十九番ヲ贊成ス

番外一番（今村君）十九番ノ八條增加トハ云フハ編制法六條以上ノ總テノ手續ヲ示ス事ナランガ現ニ編制法中ノ中ニハ內務卿ニ具申スル手續ノ入ラヌモアリ此等ヲ如何スルカ十九番（松田君）御尤ノ御尋ナリソノ手續ヲ要セヌ條アルハ素ヨリ承知ナリ其手續ヲ要スルモノニミヲ第八條ニ込メヲ示スナリ一体修正ノ字句ヲモ提出スベキナレド一字一句ノ相違ニテモ贊成ニ影響アル故ニ扱コソ委員ノ選ヲ望ミタルナリ

番外一番（今村君）ハ再ビ十九番ニ對シ此條ハ十八號法律ノ變則ニテ但書ト同ジ故ニ手續ヲ示スナリト辨セシニ一番（島君）ハ變則ト雖モ十七號法律ニ引續キヲ立派ニ八條ヲ增加シタル上ハ變則ノ但書トハ見エズトノ意ヲ述ベテ贊成說ヲ維持ス

卅三番（野村維章君）モ十九番ヲ贊成シ番外ハ特ニ本案ヲ變則ト云ヘド既ニ十七號布告ノ三條四條モ變則ヲ以テ番外ハ法律ヲ誤解セリト駁ス

卅四番（籠手田君）ハ凡ソ島嶼ハ其制ヲ殊ニスルヲ得トノミ修正シタシト雖モ十九番ノ

八條追加ハ不同意ナリ中々一ケ條ノ追加ニテ六條ノ處分手續ヲ示セシ故ニ紛々ノ論アリテ是ナラバ疑惑ヲ生ズル事ナシ

番外一番（今村君）ハ一番ノ說ニ對ノ猶ホ本案ノ變則タルヲ辨ジ卅三番ニ對シ十七號布告三四條ノ郡區ノ分劃合併等ハ確定セシ者ニテ變則ナラズト辨ジ又十九番ニ對シテ八條ヲ故ラニ追加メ手續ヲ示サズトモ府知事縣令カ處分ノ際ニ失錯ハアルマイト云フ至重ノ法律ヲ有ルマイニ諉シテ不備ナルヲ捨テ置クハ治外ノ議ナリ又タ太政大臣ノ心得達ニテ十分也ト云ヘド心得達ハ法律ナラズ編制法ヲ布クノ際地方官ノ手心ニ間違ナキ樣コト達セラレシ者ニテ法律ト云ニハ非ズ其違中ニ權限ガマシキ條ノ見ユルハ十七號布告ノ不備ナル爲ニ不得止ニ出タリ諸君ヨ自他ニ二行政官ナレニ今日コノ議場ニ臨ムハ即チ立法官也單ニ行政ノ一偏ノミニ着眼セズ法律精神ノ如何ヲ熟知ノ審議アレ日ヲ逐テ成文律ノ世ノ中ニ成ルニ及テ此法律ノ不備ヲ措テ問ハザルハ誠ニ諸君ガ千慮ノ一失ナランカ

議長曰ク各員ノ修正說アリタレド五名以上ノ贊成ヲ得タルハ獨リ十九番議員ノ修正說ナリ此說ハ建議ノ性質ヲ負ヒ同定ノ一部分タル委員ヲ選ムベキモノニ適ズレバ可決セハ尋デ委員ヲ選ムベシト述ベ十九番ノ說ニ起立十五人少數ニテ成立ズ次ニ原案同意ヲ問フニ起立廿人過半數ニテ之ニ可決ス議長曰ク確定ノ趣ハ拙者ヨリ上奏スベシ續イテ第二號議案第三次會ヲ開クベシト述ベ書記ヲシテ朗讀セシム

十六番（大迫君）ハ第二次會ニ述ベシ如ク第三條ノ府知事縣令ヨリ管內ニ布達スルヲ從

前ノ如ク內務卿ヨリ布達アル樣ニ修正シタシ

廿八番（平山君）ハ郡區町村ノ名稱區域ヲ變更スベキ事ヲヲヤト申セリト申スモノハ此變更ヲ否ヲ得ルヲ爲ニ第二條ハ廿一番カ二次會ニ述シ如ク府縣會ノ議決ヲ經ト修正シ第三條ハ十六番ノ如ク從前ノ如ク內務卿ヨリ布達スト修正シタシ

此トキ議長ハ廿一番ノ如ク十六番ノ如クスベシトノ說ニテハ不可ナリ則チ二條三條ノ修正ヲ合シテ一節ト爲スベシト述ベラレシニ付キ廿八番ハ之ヲ一己ノ修正說ト爲ス

廿九番（關口君）ハ廿一番（安場君）ハ廿八番ヲ贊成ス

時ニ正午十二時ヲ報スルニ依リ議長ハ衆議員ヲ退散セシム

十三日午後第一時五分開議（第二號議案ノ三次會ヲ開ク）

議長曰ク午前ニ續キテ二號議案ノ三次會ヲ開ク

廿八番（平山君）午前ニ本案二條三條ノ修正說ニ照シ之ヲ分チテ議題トセラレンコトヲ望ム

議長ハ其求メヲ採用ノ分テ二議題ト爲ス

第一議題トシ第三條ヲ分ツテ又タ一議題トスル譯カト問ハレシニ廿八番ハ然リト答フ於是議長ハ廿一番（西村君）ハ第二次會ニ述ベタル第二番（渡邊君）十五番（岩村君）十番（藤村君）ハ共ニ廿一番ヲ贊成ス

十九番（松田君）ハ廿八番ノ說ヲ駁シ此條ニ府縣會ノ議決云ノヽヲ挿入セントテ議會ノ權力ヲ與フルニモ非ラズ挿入セズニ行政官ニモ不都合ナシ若シ意見ノ問フベキアラバ縣會規則ノ第八條ニテ十分ナルヲ何ヲ苦ンデ斯ル修正說ヲ出セシ乎夫レ府知事縣令ハ行政官ニメ之ニ政府ヨリ相當ノ職權ヲ與ヘラレ其ノ職權ニ依テ事務ヲ行フ其職權內ニ

向ヒテ政府此法律ヲ發シ郡區名稱區域變更ニ付キテ上申ノ手續ヲ示セシナリ然ルニ議會ヲ經テ上申セヨトノ法律文ニヌルト第一ニモ當リ且ツ府知事縣令ヲ信用セヌヲ聞エ汝ノ腦髓ニテハ此ノ變更ハ採用セラレズ議會ニ問フベシト云フニ同シ又タ府縣會規則ノ第八條ヲ此ノ修正ノ引証トスル論アレド府知事縣令ガ事ヲ行フニ當リテ不安心トオモフ時ニ問フモノニテ自ラ行ハルヽト信ズル時ハ問ズメ可ナルノ精神ナレハ議會ノ權力ニハアラズ地方長官ガ己レ自ラ行フノ場合ニ至ツテ考案ノ爲ニ諮問スルナリ若シ此二ケ條ニ府縣會ノ議決云々ト挿入ノハ議會ノ權力ニ係リテ甚ダ不都合ノ修正ト云フベシ夫ノミナラズ名稱區域ノ變更ハ素ト大政府ノ裁定ニアリテ假令ヒ議會ニテ否決セシヲ政府ノ見込ニ可ト信スレハ變更スベシ故ニ議會ノ權力ヲ持ヌ事扨ニテ修正ノ無益ノ業ナリト知ベシ依テ本案ノ儘ニテ可ナリ廿番(高崎君)卅四番(籠手田君)十七番(山田君)共ニ原案ヲ贊成ス

十九番(松田君)ハ再ヒ前說ヲ敷演ス

廿六番(野村靖君)本員ハ斯ル修正說ガ議題ト成ルトハ努ニモ思ハザリキ之ヲ駁シ之ヲ贊成スルモ實ニ妙不思議ナリ是デ時間ヲ費シテハ實ニ溜ラヌ各員モ以來ハ注意アリテ斯ル修正ニハ止テ貰ヒタク存ズル原案ノ儘ニテ毫モ不可ナシ 議長發論ノ盡キタルヲ見テ先ヅ廿一番ノ修正說ニ同意ヲ表セシムルニ起立六人少數ニテ消滅ス 次ニ原案同意ヲ問フニ起立廿七人過半數ニ付原案ニ決ス

議長曰ク是ヨリ第二號議案第二條ノ三次會ヲ開クベシト書記例ニ依テ朗讀ス

十六番(大迫君)前會ノ內務卿ニテ布達アリタル府縣會規則ノ第八條ヲ此ノ修正ノ引證

卅一番（安場君）廿一番ヲ賛成ス
廿八番（平山君）通常會期中ノ五字ヲ削リタシ左スレバ臨時會ノ時ト雖モ建議ヲ議會ニ
持出スコトヲ得ヘシ
廿二番（山吉君）卅四番ヲ賛成ス　六番（熊野君）二人以上ノ賛成ヲ以テト修正スヘシ
十九番（松田君）幸ニ本員ノ修正説ハ議題ト成ルノ榮ヲ得タリ依テ其説ヲ維持スル爲ニ
再應辨明スヘシ先刻ヨリ他ノ修正説ノ紛々トシテ出ルハ皆是本員ガ修正ノ趣旨ヲ了解
セラレザルニ因ルナラン若シ其趣旨ヲ了解セラレバ皆同説ナラントト信ズ抑モ舊案ノ一
人云々トアルヲ二人以上ト改正セシハ如何ニト云フニ舊案トハ議長ノ許可トアリテ許
スモ許サヌモ議長ノ權内ナレバ一人ト數人トニ論ナク取捨ソノ自由ナルヘシ故ニ之ヲ
議會ト改正セラレ又タ一人又ハ數人トアリテハ一人ノ利益ニ付テ發議スル毎ニ一會議
ヲ開クノ譯ニテモシ三十人カ各自ニ發議セバ三十回ノ會議ヲ開カザルヲ得ス二人以上ノ
發議ナレバ次第ニ賛成モ增スハ必定ニテ一人一個ノ爲ニ開ク如キ無ルヘシ故ニ二人
以上云々ノ改正ハ尤モ然ルヘシト述ヘテ尚ホ前説ヲ主張ス
五番（松平君）十九番ヲ賛成ス　廿六番（野村君）廿三番（渡邊君）共ニ十九番ヲ賛成ス
議長ハ廿一番（西村君）ノ修正説ニ同意ノ起立ヲ問フニ　三人
少數ニ依テ消滅ス次ニ十九番（松田君）ノ修正説ニ同意ヲ表セシムルニ
起立　十七人　過半數ニ依リテ此修正ニ可決ス
議長ハ又本案ノ爲ニ第二次會ヲ開クヘキヤヲ問フニ卅二人ノ起立ニ付過半數ニテ之ニ決
シ其期日ハ別ニ議長ヨリ報道スヘシト述ヘ衆員ヲ退散セシメラル時ニ午後四時五分ナリ

明治十三年二月七日出版御届同二月十七日出版

【定價金二十錢】

小笠原美治　出版人兼編輯

東京神田五軒町十八番地　弘令社

明治十三年二月

地方官會議傍聽錄

第三號

東京神田區神田五軒町十八番地

弘令社發兌

例言

一地方官會議ノ顚末ハ既ニ各社新聞紙ニ掲載シ世ノ人亦既ニ其詳細ヲ知了セリト雖然リト雖新聞紙ノ連日ニ散出スルハ特リ一時通覧ノ便ヲ欠クノミナラス或ハ他日散逸ノ患アリ隨テ又掌中提携ノ便ナシ是此册ノ編輯アル所以

一此書ハ明治十三年二月五日會議開場ノ日ニ起リ三日毎ニ一册ヲ刊行シ閉會ニ至ル迄全部十册ヲ以テ完結スヘシ

一書中重複ヲ厭ハス會議日誌ヲ併輯スルハ參考ノ爲メナリ

一此書ノ冒頭ニ會議ニ係ル諸布達及伺指令ヲ登錄スルモ亦參考ノ爲メナリ

地方官會議傍聽錄第二號

明治十三年會議々案ノ說明錄ヲ得タレハ重複ヲ厭ハス左ニ全載シテ完備ヲ施スモノトス朱書ハ右傍ノ單柱ヲ塗抹ス字ナリ

會議議案說明

○第壹號議案　明治十一年第十七號布告第七條增加案

〔第七條　凡ソ島嶼ハ府知事縣令ヨリ內務卿ニ具狀シ政府ノ裁可ヲ得テ其制ヲ殊ニスルヲ得〕

（說明）嚮ニ區制ヲ改メ郡町村ノ舊制ニ復シタルハ全國ヲシテ一治ノ下ニ在ラシメントスルニ在リ然ルニ島嶼ハ海路不便又ハ地位星散ノ爲メ一般ノ郡制ヲ以テ之ヲ統治シ難キ等自ラ內地ト其制ヲ同クスヘカラサルモノアリ故ニ內務省ニ於テ嚮ニ鹿兒島縣同ニ屬シ大島郡ノ中德島鬼界島ニ郡書記ヲ派出シ郡長ノ職務ヲ代理セシメ其派出所ハ郡役所ノ名稱ヲ用スルヲ聽許シ又島根縣伺ニ由リ隱岐國二島中ノ一ニ郡役所出張所ヲ設クルヲ聽許セリ此等ノ情況ニ據ルモ島嶼ハ內地ト同視スヘカラサルヲ判然タリ因テ今本條ヲ追加シ以テ行政上不得止便宜ノ方法ヲ示サントス

○第二號議案說明　郡區町村區域名稱變更ノ儀布告案（沖繩縣ヲ除ク）

第一條　郡區町村ノ區域名稱地方ノ便益ニ因リ已ムヲ得スシテ變更ヲ要スルモノハ府知事縣令ヨリ內務卿ニ稟請スルヲ得

第二條　郡區ノ區域名稱ヲ變更スルハ府知事縣令ノ稟請スル處ヲ以內務卿ヨリ具狀シ太政大臣之ヲ布告ス

第三條　町村ノ區域名稱ヲ變更スルハ人民ノ請願スル處ヲ以テ府知事縣令ヨリ具狀シ內務卿ノ裁定ヲ得テ之ヲ其管內ニ布達ス

（説明）明治十一年第十七號布告郡區町村編制法第二條ニ郡町村ノ區域名稱ハ總テ舊ニ依ルトアリ此法律ノ明文ニ據ルニ拘ハラス概ノ舊ニ依ラサルヲ得ス」村落ノ區域タル或ハ既ニ數百年ヲ經地ノ冷熱相變スルモノ少ナシトセス嚮キニ寥々タル寒村モ今ハ市街新ニ開ケ漸ク繁華ノ都會トナルアリ或ハ一村ノ名アツテ一戸ノ家ナキモノアリ又一村中一畝ノ田園ナキモノアリ然ルモ猶區域名稱ヲ擧ケテ悉ク舊ニ依ラシメントスルカ如キハ事情ニ適セサルモノナシト云フヘカラス一村ノ區域廣濶ニ過クルモノヽ如キハ各其意向ヲ異ニシ協同ノ實ヲ失ヒ互ニ分離獨立ヲ欲スルモ右ノ明文ニ拘束セラレ各其所望ヲ達スルヲ得サルカ爲メニ其事ヲ以テ主務ノ省ニ直願スルモノアリ右第二條ノ義タル本ト地方官ヲシテ故ラクシテ擅ニ舊制ヲ變更スルヲ禁シメントスルニ出ツ然ルニ人民ノ便不便ヲ問ハサルカ如キハ亦立法ノ精神ニ非ラサルナリ今マ此ノ法ヲ設ケテ以テ其土地ノ實況ニ應シ已ムヲ得サルモノハ之レヲ變更シ得ルノ便宜ヲ與ヘタルモノナリ

○第三號議案説明　明治十一年第十八號布告第五條改正案

第五條　凡ソ地方税ヲ以テ施行スヘキ事件ハ府縣ノ會議ニ附シ〔第一條ニ掲ケタル府縣會ノ〕其議決ハ府知事縣令認可ノ上之ヲ施行スヘキモノトス若シ府知事縣令其議決ヲ認可スヘカラスト思慮スルトキハ其事由ヲ内務卿ニ具狀シテ指揮ヲ乞ヘシ

（説明）第一條ニ據レハ府縣會ハ地方税支辨ニ係ル經費ノ豫算及其徴収方法ヲ議スルノ權アルニ止リ其事業ノ起廢伸縮ニ至ツテハ之ヲ討論スルヲ得ルモ其議決ヲ取ルハ專ラ費目ヲ以テスレハ其事件ヲ以テスヘキモノニアラス然ルニ本條ニ就テ之ヲ見レハ事件ヲ議スル即チ府縣會ノ本分ナル者ノ如シ而ノ議決ヲ取ルモ亦其施行ノ事件ニ於テ

スヘキニ疑ハシ且新創舊設ノ事件ハ皆既ニ其經費豫算ニ依テ之ヲ議決セシムルヲ以テ更ニ其事件ヲ以テ議題トナシ重テ之ヲ議セシムルヲ要セサルヘシ之ヲ要スルニ本條ノ主眼ハ第一條ニ據テ議決スル所ノ豫算及徴収方法ヲ認可スルト否トニ就キ其處分ノ順序ヲ示スノ一點ニ在リ是本條字句ノ改正ヲ要スル所以ナリ

○第四號議案説明　明治十一年第十八號布告第六條改正案

第六條　府縣會ハ毎年通常會議ノ初メニ於テ地方税ニ係ル前年度ノ出納決算ノ報告書ヲ受ク〔ケ其異見アル者ハ議長ノ名ヲ以テ直ニ内務大藏兩卿ニ上申スルヲ得〕

（説明）府縣會既ニ地方費ノ豫算ヲ議定スルノ權アリ從テ其決算ヲ審按シ異見アレハ之ヲ開陳スルノ權ナカルヘカラス前ニ豫算ヲ議定シ後ニ決算ヲ審按シ二者相待テ始テ完結ヲ得然ルニ第六條ニ據ルニ府縣會出納決算ノ報告ヲ受ケト云フニ止リテ之ヲ審按シ並ニ異見ヲ開陳スルノ道ヲ明示セス其決算ノ報告ヲ受クルモ從テ何等ノ措置ヲ爲スヲ得ルカ其歸着スル處ヲ知ルニ由ナク八々種々ノ解説ヲ下シ終ニ議會ト地方官トノ間輙ク爭議ヲ開クニ至ラントスルモ亦料ルヘカラス今宜ク明ニ法ノ許ス所ヲ示シテ以テ爭端ヲ未萌ニ防クヘキナリ其府知事縣令ヲ問詰スルヲ許サスシテ直ニ之ヲ内務大藏兩卿ニ上申セシムルモノハ其取捨ヲシテ專ラ兩卿ノ裁ニアラシトメンスルナリ

○第五號議案説明　明治十一年第十八號布告第七條改正案

第七條　通常會期中議員ノ内一人又ハ數人〔二人以上ノ發議ヲ以テ〕其府縣内ノ利害ニ關スル事件ニ付政府ヘ建議セントスル者アレハ議長〔先ツ議會〕ノ許可ヲ得テ之ヲ會議ニ附シ過半數ノ同議ヲ得議スルヲ得

（説明）本條建議アルトキ之ヲ會議ニ附スヘキヤ否ヲ定ムルノ權ハ議長ニ在ラスシテ會議ニ在ヘシ例ヘハ其事國ノ大政ニ係ルカ如キハ議會ノ建議スヘキ限ニアラサルヲ以テ議長之ヲ會議ニ付セサルハ固ヨリナリト雖モ其果ノ大政ニ渉ヤ否ヤヲ判スルニ至テハ其分界往々明瞭ナラサル者アリ若シ一々之ヲ議長ノ許否ニ任スルトキハ恐クハ以テ衆心ヲ服スルニ足ラサルモノアラン故ニ今本文議長許可云々ノ一句ヲ改メ其議會ニ附スルノ許否ハ專ラ之ヲ議會ノ決ニ委セントス若シ其レ議長ニ於テ之ヲ議スヘキモノニ非ラスト思惟スルトキハ其席ヲ副議長ニ譲リ議員ノ席ニ付キ之ヲ論述スルヲ得ヘキナリ其一人又ハ數人ヲ改メテ二人以上ノ發議トナス者ハ輕易ノ發議以テ議事ヲ阻滯センコトヲ恐レテナリ

○第六號議按説明　明治十一年第十八號布告第九條第二項增加按

「府縣會ハ議員ノ告暇ヲ允許スルヲ得及議員ノ招集ニ應セス又ハ事故ヲ告ケスシテ參會セサル者ヲ審査シ其退職者タルヲ決スルヲ得」

（説明）地方官報告ニ據ルニ府縣會ノ設立日淺クシテ人民未タ議事ニ慣熟セス往々撰舉ノ榮ヲ曠クシ相當ノ事故ナクシテ參會セサルモノアリ招集ニ應セサルモノアリ其甚シキニ至リテハ議員過半數ニ至ラスシテ議會ヲ開クコトヲ得サルコトアリ而シテ府知事縣令及議會ハ法律ニ明文ナキヲ以テ之ヲ處分スルノ道ナシ議員相牽ヒテ紀律ヲ蔑如スルニ至ル今宜ク此一項ヲ加ヘテ處分權任ノアル所ヲ明カニスヘシ若シ夫紀律ノ外ニ招集ヲ促シ及ヒ故ナク欠席スル者ヲ督責スル等ハ宜ク議長ノ權内ニ在ルヘシ之ヲ議事細則ニ掲載スルハ府縣會ノ便ニ委シテ可ナリ

○第七號議按説明　明治十一年第十八號布告第十一條第一項改正按

第十二條　議長副議長ハ議員中ヨリ公撰シ「之ヲ」府知事縣令之ヲ認可シ「ニ報告シ府知事縣令ハ之ヲ」内務卿ニ報告スヘシ

（説明）本條原文ニ府知事縣令之ヲ認可スト云ヒ認可ノ權アルトキハ又之ヲ認可セサルノ權アラサルヲ得ス抑議長副議長ハ議員ノ投票ヲ以テ撰舉スル所タリ而ルニ府知事縣令之ヲ認可セサルノ權アルトキハ衆議員ノ其望ミヲ失ハシムルニ至ラン將認可ト云ハ必ス認可ノ字ヲ削ルヲ要スル所以ナリ是レ認可ノ字ヲ削ル所以ナリ

○第八號議按説明　明治十一年第十八號布告第十三條第五款增加並第十四條但書改正案

〔第五款　府縣會ニ於テ退職者トセラレタル後四年ヲ經サル者〕但前條ノ第一款第二款第三款〔第五款〕ニ觸ルヽ者ハ選舉人タルヲ得ス

（説明）議員ニ於テ故ナク招集ニ應セス又ハ參會セサルトキハ其府縣ノ利害ニ關スル少小ナラス是レ宜シク至當ノ責罰ヲ設ケテ其弊ヲ防クヘキナリ因テ今第九條ニ一項ヲ增加シ議會ノ許可ヲ受クシテ參集セサル者ハ議會ヲシテ之ヲ審査シ退職者トナスヲ得セシメ其退職者トセラレタル者ハ四年間即議員一任期間其撰舉權被撰舉權ヲ停止シ以テ責罰ヲ示サントス

○第九號議按説明　明治十一年第十八號布告第十七條改正按

第十七條　投票ハ豫メ郡區長ヨリ付與シタル用紙ニ撰舉人自己及被撰人ノ住所姓名年齢〔及ヒ被撰人ノ姓名〕ヲ記シ豫定ノ日之ヲ郡區長ニ出スヘシ投票ハ多數ノ者ヲ以テ當撰人トシ同數ノ者ハ年長ヲ取リ同年ノ者ハ鬮ヲ以テ之ヲ定ム

但、、、、、、

（説明）撰舉人ニ於テ被撰人ノ住所年齢ヲ知ラサレハ以テ其人ヲ撰舉スヘカラストナス

スルヤハ其姓名ヲ記スルモ其住所年齢ヲ知ラメントスルモ多少ノ煩労アルヲ以テ遂ニ之ヲ撰挙セサルノ弊害アルヲ免カレス故ニ今本條ヲ改正シ被撰人ノ姓名ヲ知ルヤハ其住所年齢ヲ知ラサルモ之ヲ撰挙シ得セシメントスルナリ

○第十號議按說明　明治十一年第十八號布告第二十四條改正案

第二十四條　議員中第十三條ニ掲クル諸款ノ場合ニ遭遇スル者アルカ其府縣外ニ轉住スルカ又ハ死去シタ〔其他總テ欠員ア〕ルヤハ更ニ其闕〔之〕ニ代ルモノヲ撰擧ス其疾病等止ムヲ得サル事故ナクシテ開會ノ招集ニ應セサル者ハ退職者トシ亦其闕ニ代ルヘキ者ヲ撰擧ス

（說明）原文末節事故ナク開會ノ招集ニ應セサル者ヲ退職者トナスノ處分ハ今之ヲ總則第九條中ニ增補スルヲ以テ此ニ之ヲ刪除ス退職者トセラレタル者亦本條ニ照シテ其補闕ノ撰擧ヲナスヲ要ス依テ本條「又ハ死去シタル云々」ヲ改メテ「其他總テ闕員アル云々」トシ以テ之ヲ綜括ス

○第十一號議按說明　明治十一年第十八號布告第三十五條改正案

第三十五條　内務卿ヨリ解散ヲ命シタルヤハ〔其解散ヲ命シタル日ヨリ三月以内ニ〕更ニ議員ヲ改撰スヘシ

（說明）原文解散ヲ命スルノ權ヲ内務卿ニ付シテ而ノ議員改撰ノ期ヲ定メス是レ既ニ解散スルノ後次年度ノ開議ニ至ルマテ改撰ヲ行ハサルモ法ノ妨ケサル所タラントスルヤハ解散ノ後改撰ノ間之ヲ緩慢ニ付スルハ一地方代議ノ權ヲ停止スルト何ソ異ナラン夫已ニ止ヲ得サルニ出テ、解散ヲ命スル仍ホ宜ノ速ニ改撰ヲ得セシムヘキナリ故ニ今其期ヲ定メテ以テ代議ノ權ヲ保護セントスルナリ

○第十二號議按說明　明治十一年第十九號布告第三條中改正增加按

第三條　地方稅ヲ以テ支辨スヘキ費目ハ

一　警察　一　河港　一　府縣立ノ病院及教育所諸費　一　郡區廳　一　府縣會　一　一郡區吏員ノ給料及旅費　一　病院及教育所諸費

（說明）本條流行病豫防費ヲ地方稅ノ支辨ニ屬スルヤ否ヤハ從來各地方ニ於テ之ヲ區別シ難キノ實況アリ而シテ衛生費ノ目ナシ其病院費及流行病豫防費共ニ之ヲ衛生及病院及流行病豫防ノ三費共ニ之ヲ包括シ第八項ハ專ラ救育費ニ止ムルヲ以テ故ニ今本條ヲ改正シ第八項ヲ削除シ第四項ヲ改メテ衛生費トナシ一般ノ衛生及病院及流行病豫防ノ三費

妨ナキノ理アリ第ダ其一費目中ニ付テ彼此支出ヲ異ニスルハ又其錯雜ヲ免カレス是ヲ以テ其給料ハ之ヲ地方稅ヨリ支出シ其職務費ハ之ヲ協議費ノ負擔ト定メ以テ區別ヲ明カニシ其職務費ハ町村ノ大小貧富ニ應シ適宜ノ措置ヲ爲スヲ得セシメトス

（以上費目互ニ流用スルヲ許サス）

（說明）已ニ十二項ノ費目ヲ議定セシムル件ハ宜シク十二項目ノ流用ヲ禁シテ以テ決議ノ效ヲ完クセシムヘシノ其各項以內ノ細科目ニ至ツテハ宜シク流用ノ道ヲ許シテ實際ノ不便ナカラシムヘキナリ

〔一臨時費（豫算外ニ生シタル費用ニ充ツヘキモノヲ云フ〕

（說明）臨時費ノ一項ヲ加フルモノハ豫算ノ定額ニ豫知ス可カラサル所ノ費途アルニ備フルモノトス凡一年ノ費途豫知スヘキ者皆豫算表ニ揭ケテ其定額ヲ議定スト雖モ既ニ議定スルノ後或ハ臨時非常ノコアリテ起ルカ爲メニ若干ノ費途ヲ要スルコト間々之アリ而ルニ其事ノ細大ヲ論セス之カ爲メニ一々臨時會ヲ開テ其議定ヲ待ツカ如キハ特ニ其事機ニ適スルヲ得サルノミナラス損益相償サル者少カラサラントス是此一項ヲ設ケル所以ナリ故ニ非費ノ費途巨大ニシテ臨時議定ヲ取ルヘキモノヲ除クノ外此項ノ補充スル處トス其豫算ノ不足即チ費項ノ關乏ノ如キハ科目內ニ於テ流用ヲ許スノ外臨時費ヲ以テ供應スヘキニアラス

〔河港道路堤防橋梁費ノ支辨ハ府縣會ノ決議ヲ經テ地方ノ舊慣ニヨルコトヲ得〕

（說明）去十二年二月廿七日附無號達ヲ以テ太政大臣ヨリ右費用ノ儀府縣會ノ決議ヲ以テ舊慣ニ仍リ施行苦カラサル旨ヲ示サレタリ故ニ今之ヲ此ニ揭載シテ以テ本號布告ノ完備ヲ要ス　各町村、、、

リ以テ緩慢スヘキニ非ス是レ本文ヲ改正シ但書ヲ刪除スル所以ナリ

○第十五號議案說明　明治十一年第十九號布告第八條增加案

〔第八條　府縣會若シ豫算ノ議定セサルカ又ハ議案ヲ議定スルニ及ハスシテ內務卿ヨリ閉會若シクハ解散ヲ命シタルトキハ府知事縣令ノ具申ニ因リ內務卿ハ前年度ノ豫算額ニ據テ徵收セシムルヲ得〕

（說明）一府縣ノ豫算ハ府縣政治ノ依テ成立ツ所ノ定費ナルヲ以テ府縣會ハ必ス之ヲ議定シテ以テ此費途ニ充テサル可ラス然ルニ若シ此議定ヲ經スシテ閉會又ハ改竄スルアルトキハ一府縣ノ政治忽チ廢弛シテ復施爲スル所アルヲ得ス故ニ此場合ニ當テハ內務卿ノ前年度ノ定額ヲ以テ施行スルノ一道アルノミ是レ本項ヲ增加スル所以ナリ

○第十六號議案說明　明治十一年第十九號布告第九條增加案

〔第九條　凡ソ島嶼本屬府縣一般ノ地方稅ト徵收支出ノ分別ヲ要スルトキハ府縣ノ決議ヲ經テ府知事縣令ヨリ具狀シ內務卿ノ裁定ヲ得テ其管內ニ布達ス〕

（說明）第十七號布告ニ第七條ヲ追加シ郡區町村編制法府縣一般ト其制ヲ區分スルヲ許セリ地方稅ノ徵收支出ニ至テモ亦不得止ノ狀況アリテ府縣一般ノ制ト同一ニシ難キモノアルヘキニヨリ本條ヲ追加シ以テ其便宜ヲ許セリ

○第十七號議案說明　郡區吏員給料等ノ儀布告案（沖繩縣ヲ除ク）

郡區吏員ノ給料旅費及ヒ戶長已下ノ給料ハ明治十三年ヨリ始メ每四年別段ノ議案ヲ以テ府知事縣令ヨリ府縣會ニ付シテ之ヲ定メ其議決ハ向四年間之ヲ據置クヘシ

但郡區長ノ給料ハ十一年第三十二號（說明）十一年第十八號布告ニ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算ヲ議定スルノ權ヲ以テ之ヲ府縣會ニ委タリ而メ第十九號布告ニ郡區吏員給料旅費及ヒ戶長已下給料ヲ以テ地方稅ノ費目ニ列シタリ是レ吏員給料メ廢置增減ヲ併セテ每年之ヲ府縣會ノ

議決スル所ニ任セシトハ既ニ每年ノ議決スル所ニ任セシメシ而メ又之ヲ增スノ事ニ從フ者勤勞年ヲ積ムニ從テ遞次俸ヲ加フルハ理ノ當然トス今却テ年ヲ逐テ俸ヲ減スルカ如キアラハ郡區吏員其人ヲ得ルニ苦シミ行政上ノ不便將少小ニ非ラサラントス故ニ本年ヨリ始メ四年間据置ノ目途ヲ以テ府縣會ヲメ之ヲ議決セシメ以テ年々異動ノ弊ヲ免レシントス其豫算ノ外別段ノ議案ヲ以テ議定セシムル者ハ之ヲ愼重ニスルナリ

○第十八號議案說明　明治十一年第三十九號布告第一條改正案

第一條　營業稅ヲ分ツテ三〔二〕類トス其稅額第一類ハ金拾五圓以內トシ第二類ハ金拾圓以內トシ第三〔二〕類ハ金五圓以內トス其目左ノ如シ但國稅アルモノヲ除ク

第一類　諸會社及諸卸賣〔仲買〕商

第二類　諸仲買商

第三〔二〕類　諸小賣、〔製造人職工　一ケ年金十五圓以內〕

（說明）卸賣仲買ノ二商其業近似類別シ難キヲ以テ之ヲ課稅スルニ當リ實際多少ノ困難アルヲ免レス且之ヲ區分セサルモ不都合アルヲ見ス是第一條中第一類第二類ヲ刪潤スル所以ナリ

○第十九號議案說明　明治十一年第三十九號布告第二條中改正增加案

第二條　雜種稅、

（說明）營業稅雜種稅ヤ諸般ノ營業ニ課スヘキ者ナリ而メ本法商賈雜業ニ課シテ工獨リ之ヲ免ル議者往々其商ニ苛ニシテ工寬ナルヲ疑フ者アリ今製造人職工ノ一目ヲ揭ケテ以テ偏倚ノ弊ヲ免シシム其工業中ニ就テ特ニ保護ヲ要スル者ノ如キハ第四條

ヿ依テ取捨スルヿ猶他ノ商賈雜業ト異ナルヿナシ

日傭賃銀ヲ得テ受負人又ハ製造人ニ使役セラルヽ者ノ如キハ其勞力ヲ以テ世ノ必要ヿ供スルモノトスルヿ之ヲ免稅スヘキノ部ニ屬スルヿ地方ノ便宜ニ從フヘシ又手傳人足日傭稼等ノ類ニ至テハ固ヨリ職工ノ部ニ入ラサルヲ以テ徵課ノ限ニアラス

船　諸市場

料理屋

質屋　兩替屋（爲替店共）　廻漕店（陸運又ハ廻漕ヲ以テ業トスル者）

壹ヶ年金拾五圓以內

古着　湯屋

俳優　遊藝師匠

乘馬　水車

屠牛（畜）壹頭ニ付金五拾錢以內

（說明）廻漕店ヲ改メテ陸運又ハ廻漕ヲ以テ業トスルモノトシ屠牛ヲ改メテ屠畜トスルハ其不備ヲ補フナリ

○第二十號議案說明　明治十一年第三十九號布告第三條改正案

第三條　漁業稅採藻稅ハ各地從來ノ慣例ニ依リ之ヲ徵收スヘシ若シ其例規ヲ改正シ又ハ新法ヲ創設セントスルモノハ〔府縣會ノ決議ヲ經テ〕府知事縣令ヨリ內務大藏兩卿ヘ稟議スヘシ〔ニ具狀シ太政大臣之ヲ布告ス〕

（說明）凡ソ地方稅ニ關スルノ事ハ一切府縣會ノ決議ヲ經ルノ明文ナク且內務大藏兩卿スル所タリ然ルニ獨リ本條ニ於テハ府縣會ノ決議ヲ經テ〔府知事縣令ヨリ內務大藏兩卿ニ稟議スト謂ニ止マレリ且稅法改正幷ニ創設ノ如キハ大政府ヨリ布告スヘキモノナルヿヲ以テ今之ヲ增補シヲ以テ完全ヲ求ム

第二十一號議案說明　明治十一年第三十九號布告第六條削除

第六條　一軒內ニ於テ數種ノ營業ヲナスモノ又ハ卸賣仲買小賣ヲ兼ヌルモノハ其稅額ノ最モ多キモノ一個ノミヲ徵收スヘシ

（說明）嚮ニ本條ヲ設ケシモノハ小民ニシテ一軒內ニ數種ノ業ヲ營ム者ニ其數種ノ稅ヲ徵收スルモ妨ケナカラント視察シ其賦課ヲ取捨スルハ地方ノ便宜ニ從ヒ其兼稅ヲ免レ得ヘキヤヲ而シテ此條ノ存スルヿヲ得サルノ妨アリ是レ本條ヲ削除スル所以ナリ

第七條　凡ソ上リ高ヲ以テ稅額ヲ定ムルモノハ各地ノ便宜ニ依リ上リ高見積リヲ以テ日稅月稅又ハ即テ都會ノ爲メニ徵稅ノ平準ヲ得〔ヘキヤ〕

（說明）第二條ニ上リ高ヲ以テ稅額ヲ定ムルモノアリ然ルニ市場ノ如キハ賣買スルモノ忽聚リ忽散スルヲ以テ其上リ高ヲ確知シ難シ故ニ今其上リ高ノ大略ヲ見積リ日稅月稅トスルヲ得セシメ以テ徵收ノ便ヲ開ク

○第二十三號議案說明　明治十一年第三十九號布告第九條增加案

〔第九條　第一條第二條第三條稅目ノ外縣會ノ決議ヲ經テ府知事縣令ヨリ內務大藏兩卿ニ具狀シ太政大臣之ヲ布告ス〕

（說明）營業稅雜種稅ノ稅目ハ全國一般普通ノ物ノミヲ揭ケタリ故ニ一地方ニ限リ有稅目外ニ課稅ヲ要スル者アルモ之ニ課スルヿヲ得ス從テ課稅ノ平準ヲ失フモノアリ

今本條ヲ加ヘ以テ其弊ヲ防カントス

○第二十四號議案說明　區町村會法布告案（沖繩縣ヲ除ク）

第一條　區町村會ハ寄合相談ノ如キ從來ノ慣行ニ從フトモ又ハ新タニ其規則ヲ設クルトモ其區町村ノ便宜ニ任ス其規則ヲ設クルモノハ府知事縣令之ヲ裁定ス

第二條　數區町村聯合會ヲ要シ之ヲ開クトキハ從來ノ慣行ニ從フトモ又ハ新ニ其規則ヲ設クルトモ其地方ノ便宜ニ任ス其規則ヲ設クルモノハ府知事縣令之ヲ裁定ス

第三條　區會ノ評決ハ戶長之ヲ施行ス若シ其評決ヲ不適當ナリトスルトキハ總テ第三條ノ手續ニ從ヒ町村會ノ評決ハ戶長之ヲ施行ス若シ其評決ヲ不適當ナリトスルトキハ其施行ヲ止メテ府知事縣令ニ伺ヒ（戶長ハ郡區長ヲ經テ）其指揮ヲ乞フヲ得

第四條　數區聯合會ノ評決ハ區長之ヲ施行シ數町村聯合會ノ評決ハ地方ノ便宜ニヨリ戶長又ハ郡區長之ヲ施行ス若シ其評決ヲ不適當ナリトスルトキハ總テ第三條ノ手續ニ從フヘシ

第五條　郡區長ニ於テ町村會若シ法ニ背クノアリトスルトキハ之ヲ中止シ其評決ヲ不適當ナリトスルトキハ其施行ヲ止メテ府知事縣令ノ指揮ヲ乞フヲ得

第六條　府知事縣令ニ於テ區町村會及ヒ聯合會若シ法ニ背クノアリトスルトキハ之ヲ中止スルヲ得又ハ之ヲ解散シテ改撰セシムルヲ得

第七條　水利土功ノ爲メニ其關係アル人民若クハ町村ノ集會ヲ要スルトキハ總代寄合ノ如キ從來ノ慣行ニ從フトモ又ハ新タニ規則ヲ設クルトモ其人民若クハ町村ノ便宜ニ任ス其規則ヲ設クルモノハ府知事縣令之ヲ裁定ス

第八條　第七條ニ掲ケタル集會評決ノ施行及ヒ其取締ハ第四條及ヒ第六條ニ依ルヘシ

第九條　水利土功ニ關係アル人民若クハ町村中異議アリテ其集會ニ應セサルトキハ府知

事縣令之ヲ府縣會ニ付シ其決スル所ニ依リ之ヲ定ムヘシ

但府縣會ノ閉會ニ當リ其開會ヲ待ツヘカラサルトキハ府知事縣令之ヲ決定スルヲヲ得

（說明）區町村會ノ開設ハ明治十一年七月二十二日番外達ヲ以テ之ヲ許セシ以來各地方大概ヲ之ヲ開設スト雖モ其章程規則ハ府知事縣令之ヲ制定シ內務卿之ヲ認可セリ而ルニ其制定スル所ヲ以テ概メ之ヲ一府縣內ニ施行シ許多ノ區町村ヲシテ一規則ニ據ラシメントスルハ實際ニ在テ地方ノ便宜ヲ障碍シ之ヲ施行シ難キモノアリ故ニ今此大則數章ヲ設ケ餘ハ地方ノ自ラ便トスル所ニ依ラシメントス

二月十四日午前十時二十分開議（第六號議案第一次會）

欠席　白根埼玉縣令　西村大分縣令　下山三重縣大書記官

議長曰ク昨日報道セシ如ク是ヨリ第六號議案第一次會ヲ開クヘシ書記之ヲ朗讀ス

第六號議案明治十一年第十八號布告第九條第二項增加案

府縣會ハ議員ノ告暇ヲ得及ヒ議員ノ招集ニ應セス又ハ事故ヲ告ケスシテ參會セサル者ヲ審査シ其退職者タルヲ決スルヲ得

本案總體ニ就キテハ各議員ニ意見ナク議長ハ直ニ第二次會ヲ開クヘキヤヲ問フニ全會總起立ニ付キ之ニ決ス

議長曰ク引續イテ第七號議案第一次會ヲ開クヘシ書記コレヲ朗讀ス

第七號議案明治十一年第十八號布告第十一條第一項改正案

第十一條　議長副議長ハ議員中ヨリ公選シ之ヲ府知事縣令ニ報告シ府知事縣令ハ之ヲ內務卿ニ報告スヘシ

本案モ總體ニ意見ナク直ニ第二次會ヲ開クヲ決ス

議長曰ク立戻リ大第六號議案第二次會ヲ開クベシ

廿二番（山吉君）議員辭職ノ事ハ十八號法律中ニモ其手續モ見ヘザルニ依リ是迄ハ府知事縣令ノ適宜ニ處分シ來リシカルガ告暇モ議會ニ附スルトナラバコノ告暇ノ上ニ辭職ノ二字ヲ加ヘルノ外ニ修正スベシ字句ノ如キハ委員ヲ選ミテ修正スベシ又辭職ヲ會議ニ附スレハ會期中ニアラザル時ニ其手續ニ困ルトノ說モアランガ夫等ハ議會ニ任セテ適宜ノ法ヲ定メサスベシ

九番（三島君）之ヲ贊成セシニ付キ議長ハ之ヲ會議ノ問題ト爲ス

十九番（松田君）本員モ修正說アリ抑モ議員ノ告暇ノ如キハ議會ノ許否スベキモノニ非ズ故ヲ本條ノ議員ノ告暇ヲ修正說アリ抑モ議員ノ告暇ヲ削除スベシ又リノ招集ニ應セス又ハ十二字ヲ削除スベシ又リノ招集ニ應セス又事故ヲ告ズシテ參會セザルハ是レ議員ミヅカラ其權利ヲ拋擲シタルモノニテ第八號議案ニモ後四年ヲ經テハ撰擧權ヲ得ル程ノ者ニ付キ十分ニ議會ニテ審査スルガ至當ナリ之ニ反シテ告暇辭職ハ不定ナリイツ何時之ヲ告グベキ時ノ來ルヤモ知レズ故ニ本員ハ此次ニ議員ノ辭職告暇ハ議長之ヲ允許ストノ一項ヲ加ヘベシ素ト辭職告暇ノ二ツハ拒ムヤキ理ナキモノニシテ今日マデ議員辭職等ハ郡區長ヨリ府知事縣令ニ報告スル仕來ナリシガ府知事縣令ハ議員ヲ作ルト雖モ既ニ議員トナリテハ議長ニ夫等ノ進退ヲ任シ議長ヨリ府知事縣令ニ報告スルヲ以テ前後ノ手續實ニ其當ヲ得ベシ

五番（松平君）十九番ヲ贊成セシニ付キ議長ハ之ヲ議場ヲ整理スルノ權アレドモ之ニ十九番

十六番（大迫君）モ又十九番ヲ贊成ス

卅三番（野村維章君）二十二番ヲ贊成ノ議長ハ議ノ說ノ如ク辭職告暇ヲ允許セザルヲ不可ナリ

廿三番（山吉君）廿三番ノ如キ議員ノ辭職重大ナルガ議會ノ權ニ歸ノ置ヲハ不可也

ト同ジク十九番ヲ駁スル廿七番（花垣君）廿二番ヲ贊成ス

十九番（松田君）告暇辭職ヲ議會ニ附スルハ告暇モ辭職モ會議中ナラデハ出來ズ議會散スレバ即チ一人ノ個ノ議員ナラズヤ如何ゾ允許ノ手續ヲ爲スカ又タ廿二番ハ議員ノ辭職ヲ重シト云ヘドモ元來議員ハ人民ノ名代人ナリ己レガ其名代ヲ辭スルハ自ラ名代權ヲ辭スルニテ假令ヒ議會ニ附シテ否ヲ決セシトテ無理ニ束縛シ能ハザルモノナリ去リトテ辭職ヲ屆放シニノミ差支ユルニヘ議長ノ許可ヲ受ル手續トスル卅三番ハ議長ハ議場ヲ整理スルノ權力アレド云々ト云ヘド議長ニスラ允許スルヲ不可トセバ議員ガ同僚ノ辭職告暇ヲ可否スルハ猶ホ不可ナリ其位ナラバ往來ノ如ク府知事縣令ヘノ屆放ノ方ヲ遙ニ勝レリトス夫レ議長ハ衆議員ノ推選セシ者ナレバ會議中ヲ除キテノ年中行事ハ議長ガ執行スルヲ以テ都合ヨシトス

卅三番（野村君）十九番ヲ駁シテ二十二番ヲ支ヘ

廿八番（平山君）モ廿二番ヲ贊成シ十九番ハ告暇ヲ誤リタリ告暇ハ開會中ノ告暇ナル事ハ既ニ小會議ニ番外モ說明アリテ他ニ告暇ナシト駁ス

十五番（岩村君）モ廿二番ヲ贊成ス

十九番（松田君）此告暇ヲ開會中ノ事トスレドイツ何時ニ臨時會ヲ開クモ測ラレズ然ルトキ旅行等ノ事アリテハ大不都合ナリ番外ノ說明ヲ特ミテ此告暇ヲ開會中トスルト云ヘド法案ヲ考ヘルニ各自ノ腦髓中ニ在リ況ンヤ辭職ノ手續ハ未ダ法律中ニ明文ナキニ於テオヤ宜シク其欠典タルヲ辨シテ完全ナラシムベシ

卅一番（安場君）廿二番ヲ贊成ス

廿番（高崎君）此案ニ付キ本員ハ素ヨリ原案贊成ニテ今サラ長〳〵シク阿房ナル說ヲ述ルモノニ非ト云フトキ

廿二番（山吉君）ハ起テ阿房ナ説トハ各員ノ榮譽ニ關セリトテ反則ト呼ビ
高崎君復起テ全体廿二番ハ最前小會議ノ時モ本員ノ説ナ無用ト云ッテ遣リ損ヒ今マタ
聞併メテ反則ト云フ大ニ本員ノ榮譽ヲ害シ甚ダ困ッタ思想ノ男デ御座ル好ク其理由ヲ
御尋ネ下サレバトシト憤然トシテ述シニ議長ハ素ヨリ廿番ノ説ハ自己ノ説ニ寇セシモノ
ニテ決シテ他人ヲ指セシニ非ラザレバ反則ニ非ズトノ意ヲ説示ス贅疣ノ業ナレバ一々
十二番（槇村君）十九番ヲ贊成ス
此時番外一番ト十九番ト二三同ノ問答アリタレド緊要ナラヂハ略ス
時既ニ正午ヲ報ジタルニ付キ議長ハ衆員ヲ退散セシメタル
同十四日午後一時開議（第六號議案第二次會ノ續キ）
卅四番（籠手田君）十三番（永山君）原案ヲ贊成シ
十一番（河野君）三十番（吉田君）廿六番（野村靖君）共ニ十九番ヲ贊成ス
廿七番（北垣君）廿二番ノ説ハ際限モ無キ名説ニテ天下無類ト云ンカ日本一ト云ンカ古
今獨歩カ夫トモ釋迦ガ所謂天上天下唯我獨尊トデモ云ンカ實ニ敬服ノ説ナリ贊成々々
十番（藤村君）十九番ヲ贊成ス
議長ハ説ノ盡キタルヲ見テ第一ニ十九番ノ修正説第二ニ廿二番ノ修正第三ニ本案ノ可
否ヲ起立ニ問フトテ
十九番ノ修正説ニ同意ヲ表セシムルニ起立十七人過半數ニ依リテ之ニ決シ
次ニ第三次會ヲ開クベキヤト問フニ起立廿八人之ニ決ス
議長ハ引續キテ第七號議案ノ第二次會ヲ開カレンガ別ニ修正説モ無ク
總起立ニテ原案ニ可決ス

第二次會ニ三十八人ノ起立ニテ開クベキニ決ス
議長ハ續イテ第八號議案第二次會ヲ開カル
卅三番（野村維章君）ハ原案ヲ贊成スルニ付テハ府縣會規則第十三條ヲ修正セザルヲ得
ザルニ付キ即チ議長伺定ノ權衡ノ關係アル云々ニ基キ其修正説ノ旨ヲ述ンニ去年來地
方ニ議員ニ選マルヽモノ狥レモ生計ノ爲ナリ其當選ヲ辭スルモノ多ク議員ヲ
得ルニ苦ムハ各府縣トモ然リ然ルニ此ノ五條ヲ增テハイヨ〳〵議員ヲ得ル事難儀
ニ及ブベシ又タ地租十圓ヲ納ムル身代アル者ハ一樣ニハ云ヘヂド地方ニ其數乏シ仍テ
選擧權アルモノハ地租五圓以上ト極メ置キ被選人ニハ制限ナシト致シタル要スルニ地
租五圓以上ヲ納ムル者カ某ヲ名代人ニセンキ選擧スルハ途方モナキ人物ヲ選擧スル掛念モ
無ルベシト述ブ
卅番（熊野君）コレヲ贊成ス
議長ハ贊成者アルニ付キ三十三番ノ修正説ヲ議題トセシニ三十一番（安場君）廿九番（
關口君）廿八番（平山君）十六番（大迫君）ニテ此ノ卅三番ノ修正説ヲ贊成ス
議長他ニ説ナキヲ見テ先ヅ卅三番ノ修正説ニ同意ヲ表セシムルニ
起立十六人少數ニテ消滅シ
本案ニハ廿七人ノ起立ニテ之ニ決ス
第三次會ヲ開クニハ總起立ニテ之ニ決ス
第九號議案第一次會
議長曰ク前會ニ繼キテ第九號議案第一次會ヲ開クベシトテ書記ヲシテ朗讀セシム
第九號議案明治十一年第十八號布告第十七條改正案
第十七條 投票ハ豫メ郡區長ヨリ付與セラルル用紙ニ選擧人自己ノ住所姓名年齢及ヒ

被選人ノ姓名ヲ記シ豫定ノ日之ヲ郡區長ニ出頭セシメ投票ニ多數ノ者ヲ以テ當選人ト
シ同數ノ者ハ年長ヲ取リ同年ノ者ハ闔ヲ以テ之ヲ定ム
本案總体ニハ別ニ異見モナシ直ニ第二次會ヲ開クニ決ス
第十號議案第一次會
議長曰ク是ハ第十號議案第一次會ヲ開クベシ書記之ヲ朗讀ス
第十號議案明治十一年第十八號布告第廿四條改正案
第廿四條立議員中第十五條ニ掲クル諸縣ノ場合ニ遭遇スルカ其府縣外ニ轉住スルカ
其他總テ欠員アル時更ニ本ニ代ル者ヲ選擧スルニ第二次會ヲ開クニ決ス
本案ノ總体別ニ異議ナクシテ直ニ第二次會ヲ開カレンコトヲ望ム
第十一號議案第十八號布告第三十五條改正案
議長曰ク第十一號議案明治十一年第十八號布告第三十五條内務卿ヨリ解散ヲ命ジタル日ヨリ三月以内ニ更
第三十五條ニ議員ヲ改選スベシトアルハ其解散ヲ命ジタル日ヨリ三月以内ニ更
ニ議員ヲ改選スベシト朗讀ス
本案モ一ノ動議ナシ第二次會ヲ開クニ決ス
議長ハ續イテ第九號議案ノ第二次會ヲ開カレンコトヲ望ム
卅三番(野村維章君)ノ被選人ノ姓名ノ上ニ住所ノ二字ヲ加フベキ修正ヲ提出シテ賛成者アリ
テ議題トナリ可否決ニ至リテ此修正說ヲ主張スルモノ
起立スルモノ廿三人
過半數ニ付之ニ決ス
第三次會ヲ開クニ決ス

次ニ第十號議案ノ第二次會ハ二三ノ修正說出テタレド賛成者ナク
本案ニ起立スルモノ 三十一人ニテ之ニ決ス
第三次會モ開クベキニ決ス
夫ヨリ第十一號議案ノ第二次會ニモ二三ノ修正說アリシガ議題ト成ラズ
原案ニ起立 卅一人ニテ之ニ決ス
第三次會モ開クベキニ決ス
議長ハ引續キテ第三號議案ノ第三次會ヲ開カル衆員ノ議論モ澤山ニアリシガ悉ク本案
第一第二次會ニ述ベタル持說ヲ主張スルノミニテ終ニ
卅一番(安場君)ノ修正說ニ五人以上ノ賛成アリテ議題ト ナリシガ可否決ニ至
リテ消滅シ 本案ニハ廿六人ノ起立ニテ終ニ之ニ決ス
議長ハ本案確定ノ趣ハ議長ヨリ上奏ニ及ブベキ旨ヲ述ベ衆員ヲ退散セシメラル時既ニ
午後五時五分

傍聽錄號數 丁數 行數

壹号	八	七
同	九	十〇
同	同	十七
同	十二	十七
同	十三	十一

正誤

先ッ議(長)ハ	議會
以上費(用)ハ	費目
報告スベシ」其以下廿九字ハ	朱ニテ塗抹ノ字
敏(謙)ハ	鎌
北白川(智成)親王ハ	北白川能久親王

明治十三年二月七日出版御届
同　二月十九日出版
出版人兼編輯　小笠原美治
東京神田五軒町十八番地弘令社

各地賣捌書肆
東京芝三島町　山中市兵衛
大坂心齋橋通備後町角　吉岡平助
京都寺町通四條上ル　田中治兵衛
其他各府縣官令全報文明同業相談賣捌所ニ於テ賣捌致候

定價金三錢　府外遞送稅壹錢

明治十三年二月

地方官會議傍聽錄

第四號

東京神田區神田五軒町十八番地
弘令社發兌

例言

一地方官會議ノ顚末ハ既ニ各社新聞紙ニ掲載シ世ノ人亦既ニ其詳細ヲ知了セリ然リト雖新聞紙ノ連日ニ散出スルハ特リ一時通覧ノ便ヲ欠クノミナラス或ハ他日散逸ノ患アリ隨テ又掌中提携ノ便ナシ是此册ノ編輯アル所以

一此書ハ明治十三年二月五日會議開場ノ日ニ起リ三日毎ニ一册ヲ刊行シ閉會ニ至ル迄全部十册ヲ以テ完結スベシ

一書中重複ヲ厭ハス會議日誌ヲ併輯スルハ參考ノ爲メナリ

一此書ノ冒頭ニ會議ニ係ル諸布達及伺指令ヲ登錄スルモ亦參考ノ爲メナリ

二月十四日　午前第十時十五分開議　午後第五時十五分退散

議員三十三人　午前欠席　四番　八番　二十一番　二十二番　二十六番

午後欠席　四番　八番　二十一番　二十二番　三十番

○

第六號議案第一次會

審議ノ後本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員

乃チ第二次會ヲ開クコト決ス

○

第七號議案第一次會

審議ノ後本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員

乃チ第二次會ヲ開クコト決ス

○

第八號議案第一次會

審議ノ後本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員

乃チ第二次會ヲ開クコト決ス

○

第六號議案第二次會

審議ノ後十九番議員ノ本條「議員ノ告暇ヲ允許スルヲ得及ヒ」ノ十四字ヲ刪除シ別ニ一項ヲ設ケ「議員ノ辭職告暇ハ議長之ヲ允許ス」ト云ヲ修正說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　十七人

乃チ過半數ナルヲ以テ可決ス

又本案ノ爲メ第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　二十八人

乃チ過半數ナルヲ以テ第三次會ヲ開クコト決ス

○

第七號議案第二次會

審議ノ後本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　全員

又本案ノ爲メ第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　三十八人

乃チ可決ス

○

第八號議案第二次會

審議ノ後三十三番議員ノ第五款ニ付意義ノ權衡ニ依リ明治十一年第十八號布告第十三條ヲ議題ト爲サントスル建議ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　十六人

又本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　十七人

乃チ過半數ナルヲ以テ可決ス

又本案ノ爲メ第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員

乃チ第三次會ヲ開クニ決ス

○

第九號議案第一次會

審議ノ後本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員

乃チ第二次會ヲ開クニ決ス

第十號議案第一次會

審議ノ後本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員

乃チ第二次會ヲ開クニ決ス

○

第十一號議案第一次會

審議ノ後本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員

乃チ第二次會ヲ開クニ決ス

○

第九號議案第二次會

審議ノ後三十三番議員ノ「被選人ノ」ヲ起立セシム

起立者　二十六人

乃チ過半數ナルヲ以テ可決ス

又本案ノ爲メ第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員

乃チ第三次會ヲ開クニ決ス

「住所」ノ二字ヲ加フル修正說ニ同意者

○

第十號議案第二次會

審議ノ後本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　三十一人

乃チ過半數ナルヲ以テ可決ス

又本案ノ爲メ第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　三十二人

乃チ過半數ナルヲ以テ第三次會ヲ開クニ決ス

第十一號議案第二次會

審議ノ後本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　三十一人

又本案ノ爲メ第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　三十二人

○

第三號議案第三次會

審議ノ後三十一番議員ノ「凡ソ地方稅ヲ以テ施行スヘキ事件ハ府縣ノ會議ニ付シテ之ヲ議決セシムヘシ其議決ハ云々思慮スルトキハ其理由ヲ議會ニ示シ之ヲ內務卿ニ云々」ト云フ修正說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　九人

乃チ少數ナルヲ以テ消滅トス

又本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十六人

乃チ過半數ナルヲ以テ可決ス

地方官會議日誌第七號

二月十五日　午前第十時十五分開議　午後第四時四十分退散

議員　三十二人　欠席　四番　八番　二十一番　二十五番　三十二番　三十三番

○

第十二號議案第一次會

審議ノ後本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員

乃チ第二次會ヲ開クニ決ス

○

第十三號議案第一次會

異議ナキヲ以テ本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員

乃チ第二次會ヲ開クニ決ス

○

第十四號議案第一次會

異議ナキヲ以テ本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員

乃チ第二次會ヲ開クニ決ス

○

第四號議案第三次會

審議ノ後本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　三十八人

乃チ過半數ナルヲ以テ可決ス

○

第五號議案第三次會

審議ノ後三十四番議員ノ「二人以上ノ發議ヲ以テ」ノ修正ヲ不可トシ「一人又ハ數人」ノ舊文ヲ可トスル修正說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　六人

乃チ少數ナルヲ以テ消滅トス

又本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　三十八人

乃チ過半數ナルヲ以テ可決ス

○

第十五號議案第一次會
異議ナキヲ以テ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム
起立者　全員
○
第十五號議案第二次會
審議ノ後本案ニ同意者ヲ起立セシム
起立者　三十八
乃チ過半數ナルヲ以テ可決ス
又本案ノ爲メ第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム
起立者　全員
乃チ第三次會ヲ開クニ決ス
○
第十六號議案第一次會
異議ナキヲ以テ本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム
起立者　全員
乃チ第二次會ヲ開クニ決ス
○
第十六號議案第二次會
審議ノ後二十七番議員ノ「凡ソ」ノ下ニ「區及」ノ二字ヲ補フノ修正說ニ同意者ヲ起立セシム
起立者　三十八
乃チ過半數ナルヲ以テ可決ス
又本案ニ同意者ヲ起立セシム
起立者　二十八人
乃チ過半數ナルヲ以テ可決ス
又本案ノ爲メ第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　三十二人
乃チ過半數ナルヲ以テ第三次會ヲ開クニ決ス
○
第十三號議案第二次會
議長本會ヲ報告シ未タ本案ヲ朗讀セサルニ際シ十七番議員ノ本會延期ノ建議ニ同意者ヲ起立セシム
起立者　二十四人
乃チ過半數ナルヲ以テ延期ニ決ス
○
第二十四號議案第一次會
審議ノ後十番議員ヲ委員ヲ選ヒテ査理セシメント云フ建議ニ同意者ヲ起立セシム
起立者　八人
乃チ少數ナルヲ以テ消滅ス
又本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム
起立者　全員
乃チ第二次會ヲ開クニ決ス
○
第二十四號議案第二次會
第一條　二十九番議員ノ本會延期ノ建議ニ同意者ヲ起立セシム
起立者　八人
乃チ少數ナルヲ以テ消滅ス
議長ハ本議未タ終ラサレ𪜈今日ハ中止シ明後十七日例刻ヨリ續テ之ヲ議スヘキ旨ヲ述フ

地方官會議傍聽錄第四號

二月十五日午前十時廿分開議
欠席四番（白根君）十一番（河野君）廿二番（西村君）卅二番（石田君）卅三番（野村君）

議長曰ク昨日報道セシ如ク是ヨリ第十二號議案第二次會ヲ開クベシ
書記コレヲ朗讀ス
第十二號議案明治十一年第十九號布告第三條中改正增加案
一衛生　一救育　一臨時費（豫算外ニ生ジタルノ費用ニ充ツベキモノヲ云）　一戸長以下給料　以上費目互ニ流用スルヲ許サス
河港道路堤防橋梁費ノ支辨ハ府縣會ノ決議ヲ經テ地方ノ舊慣ニ仍ルヲ得
十九番（松田君）第一次會討論ノ前ニ於テ番外二番ニ質シタキコトアリ一体質問ハ小會議ニテ爲スベキ規則ナレトモ其節本員ハ議長席ヲ汚シ居ヲ意見ヲ述ルニ由ナク他ノ議員ヨリ質問モアリシガ其答辨ヲ好クハ了解セザリシ故ニ爰ニ本員ガ認ムル所ヲ述ベテ以テ番外二番ニ質スヘシ抑モ〳〵本案ノ朱書ヲ故ラニ揭ゲラレシハ即チ十九號法律ノ河港道路ノ爲ニ附加ヘラレシモノト認ム其故ハ河港道路等ノ修繕ハ地方稅ヲ以テ支辨スベキ正則ナレドモ河港道路堤防等ノ修繕ニ至リテハ古來ヨリ其地方ノ慣習アリテ實施上ニ付キ中々地方稅ノ正則通リニハ施行スル能ハズ故ニ十二年二月廿七日太政大臣ヨリノ番外達ニ慣行アリテ右ニ準據シ難キ分ハ府縣會ノ決議ニ依リテ施行スベシ云々トアリテ既ニ融通ハ付キタレドモ十九號法律ノ明文アルニ達ニテ行フハ謂レナキ事ニ付キ本案ニ朱書ヲ加ヘ法律ニ明示シテ舊慣ヲ仍ルヲ得セシメラレタルナリト信スレドモ其趣旨實ニ然ルヤ否ヤ
番外二番（西村捨三君）十九番ガ質問ノ如シ
此外總体ニ意見ナキヲ見ル議長ハ第二次會ヲ開クベキヤニ同意ヲ表セシムルニ
總起立ニテ之ニ決ス
第十三號議案第一次會

議長曰ク引續イテ第十三號議案第一次會ヲ開クベシ書記コレヲ朗讀ス
第十三號議案明治十一年第十九號布告第四條改正案
第四條　其年七月ヨリ翌年六月迄ヲ一周年度トナシ府知事縣令ハ其年二月迄ニ地方稅ヲ以テ支辨スベキ經費ノ豫算並地方稅徵收ノ豫算ヲ立テ翌年度ノ定額トナシ其府縣會ノ議決ヲ取リ其年五月ヲ以テ內務卿及大藏卿ニ報告スベシ
本案モ總体ニハ見意ナクテ直ニ第二次會ヲ開クベキニ決ス
第十四號議案第一次會
議長曰ク是ヨリ第十四號議案ノ第一次會ヲ開クベシト述ベ書記ヲシテ朗讀セシム
第十四號議案明治十一年第十九號布告第二條改正案
第五條　非常ノ費用ハ（豫算ニ立ツルヲ得ザル天災時變ノ費用臨時費ヲ以テ給足セサルモノヲ云）別ニ賦課スルヲ得ルトハ雖モ其府縣會ノ議決ヲ取リ內務卿及大藏卿ニ報告スルハ第四條ノ順序ニ從フヘシ其急施ヲ要スル事項ハ施行シテ後報告スルヲ得
此場合ニ於テハ之ヲ其後開ク所ノ府縣會ニ報告スヘシ
本案モマタ他ニ意見ナクテ直ニ第二次會ヲ開クベキニ決ス
議長曰ク是ヨリ立戻リテ第四號議案第三次會ヲ開クベシ
十番（藤村君）ハ其ノ第二次會ニ撰出セシ修正說ヲ述ベシカ贊成ナクテ消滅シタルニ依リ議長ハ本案同意ヲ表セシムルニ
起立　卅人　終ニ之ニ決ス
議長ハ續イテ第五號議案第三次會ヲ開カル
廿八番（平山君）第二次會ニ本員ハ通常會期中ノ五字ヲ削ルベトセシノ修正說ヲ出シ消滅シタレドモ其節ニ陳述セシ如ク通常會トノミ限リテハ不可ナリ之ヲ除ケハ臨時會ニモ利害ニ管セシコトヲ建議スルヲ得ベシ臨時會ハ不定ノモノナリトノ說モアルベケレド要

スルニ夫ダクノ言語ヲ擴ムルナラズヤ
卅四番(籠手田君)モ二次會ニ舊案ノマヽニスベシトノ修正説ヲ述ブ
二十二番(山吉君)卅一番(安場君)十六番(大迫君)二番(富岡君)九番(三島君)ミナ卅四番ヲ贊成ス
於是議長ハ卅四番ノ修正説ヲ以テ議題ト爲ス夫ヨリ二三ノ問答アリテ終ニ可否決ニ至リ卅四番ノ修正説ニ
起立セシムルニ　六人ノ少數ニテ消滅シ
原案ニハ　廿五人ノ起立アリテ終ニ之ニ決ス
議長ハ各員ニ向ヒ確定ノ趣ハ上奏ニ及フベシト述ベラル
第十五號議案第一次會
明治十一年第拾九號布告第八條增加案
第八條　府縣會若シ豫算ノ議案ヲ議定セザルカ又ハ議案ヲ議定スルニ及ハズシテ內務卿ヨリ閉會若クハ解散ヲ命シタル件ハ府知事縣令ノ具申ニ依リ內務卿ハ前年度ノ豫算額ニ據テ徵收セシムルヲ得
本案モ別ニ動議ナクシテ直ニ第二次會ヲ開カレ六番(熊野君)ノ修正説アリシガ贊成ナクシテ議題トナラズ議長ハ本案ニ同意者ヲ表セシムルニ
起立　卅人　依テ之ニ決シ第三次會ヲ開クニ決ス
第十六號議案第一次會
第十六號議案明治十一年第十九號布告第九條增加案
第九條　凡島嶼本屬府縣一般ノ地方稅ト徵收支出ノ分別ヲ要スルトキハ府縣會ノ決議ヲ經テ府知事縣令ヨリ具狀シ內務卿ノ裁定ヲ得ヲ其管內ニ布達ス

本案モ總体ニハ意見ナシ引續イテ第二次會ヲ開カル
廿七番(北垣君)本條ノ島嶼ノ上ニ區及ヒノ三字ヲ加ユベシ
十八番(森君)廿七番ヲ贊成シ
議長ハ乃チ之ヲ議題ト爲ス
一番(島君)廿七番ノ加ヘルト云フ文字ハ區カ府カト疑ヒ取レザリシ
廿七番(北垣君)區ナリ口チニヲ書イテ斯ウヤッタ字ナリト答フ
一番(島君)ニ二十七番ノ修正説ノ當ラザルヲ駁ス
廿七番(北垣君)一番ノ駁説ハ下ノ徵收支出ノ分別云々トノ處ヘ着眼スレバ本員ガ辨明ナクトモ分ル斯ウ云フ內ニモウ大カタ分リタルナラン
番外二番(西村君)中〳〵サウハ分ラヌナルベシ郡區經濟ヲ別ニセンハ獨リ東京府ニ限レリ本案即チ第一號議案第七條ニ依リ連及セシモノニテ區ノ事ニハ管セザル案ナリ
卅八番(宍戸君)ハ番外二番ハ東京府ノミト云ヘドモ既ニ內務省ノ許可ヲ得テ區郡ノ經濟ヲ別ニセリト辨シ廿七番ヲ贊成ス
廿六番(野村君)ハ廿七番ニ同意シ難シ景ハ島嶼ノ爲ニスル案ナシテ區ヲ入ルレバ法理ノ本カラ組替ヘヲバ不都合ナリ
廿七番(北垣君)ハ論語ノ本文ノ樣ニ餘リ簡單ニ説キシ故ニ色〳〵勝手ナ註釋ヲ下サレタリト雖モ矢張リ論語ノ文法ニテ云ンニ此修正ハ別ニ説ヲ費スニ及バズ徵收支出ノ分別ノ文アルニテ分ルベシ
番外一番(今村君)ハ廿七番ノ修正説ハ考ヘズニ出セシニハアラザルカ是ヘ區ヲ入ルヽハ不都合ナト辨シ
二十七番(北垣君)ハ答ヘテ區郡ハ二百年前ヨリ各藩トモニ制ヲ殊ニスル場所オホク早

ク云ヘハ郡ハ郡奉行デ支配シ町ハ町奉行ト分レタリトノ意ヲ辨ジ討論未ダ終ラヌド既ニ正午ヲ報スルニ付キ議長ハ衆員ヲシテ退散セシメラル

午後一時十分開議（第十六號議案二次會ノ續キ）

議長曰ク午前ニ續キテ十六號改案ノ二次會ヲ開クベシ

廿七番（北垣君）八番ト二番ノ說ヲ駁シテ決シテ本案一号議案ノ第七條ニハ關係セザルモノトノ意ヲ述ブ

議長ハ議論ノ盡クルヲ見テ先ヅ廿七番ノ修正說ノ同意ニ

起立セシムルニ　四人

本案ニハ起立　廿八人ニテ之ニ　少數ニテ消滅シ

議長曰ク是ヨリ第十二號議案ノ第二次會ヲ開クベキニ決ス

十七番（山田君）ハ本案ハ地方ノ經濟ニ付キテ尤モ緊要ノ條ナレバ下附セラレシヨリ精細ニ考案セシガ未ダ計算上ノ調ベニ行屆カザル目モアレバ何トゾ明後日マデ第二次會ヲ延引アリタシト建議シ

卅一番（安場君）廿九番（關口君）其ニ延會ヲ望ムトノ意ヲ陳ズ

議長ハ乃チ衆議ニ問フベシトテ同意ヲ

起立セシムルニ　廿四人　過半數ニ依リ延會ニ決シ

猶議長ハ本案第一次會ハ十七番ハ明後日迄ト云ヘド期日ハ今日ニ定メ難シト述ベラル

第廿四號議案第一次會

議長曰ク是ヨリ第廿四號議案第一次會ヲ開クベシトテ書記ナシテ朗讀セシム

區町村會法布告案（沖繩縣ヲ除ク）

第一條　區町村會ハ寄合相談ノ如キ從來ノ慣行ニ從フトモ又ハ新タニ其規則ヲ設クルモ其區町村ノ便宜ニ任ス其規則ヲ設クルモノハ府知事縣令之ヲ裁定ス

第二條　數區町村聯合會ヲ要スルトキハ從來ノ慣行ニ從フトモ又ハ新タニ其規則ヲ設クルトモ其地方ノ便宜ニ任ス其規則ヲ設クルモノハ府知事縣令之ヲ裁定ス

第三條　區會ノ評決ハ區長之ヲ施行シ町村會ノ評決ハ戶長之ヲ施行ス若シ其評決ヲ不適當ナリトスルトキハ其施行ヲ止メテ府知事縣令ニ伺ヒ（戶長ハ郡區長ヲ經テ）其指揮ヲ乞フヲ得

第四條　數區聯合會ノ評決ハ區長之ヲ施行シ數町村聯合會ノ評決ハ地方ノ便宜ニヨリ戶長又ハ郡區長之ヲ施行ス若シ其評決ヲ不適當ナリトスルトキハ總テ第三條ノ手續ニ從フベシ

第五條　郡區長ニ於テ町村會若シ法ニ背フアリトスルトキハ之ヲ中止シ其評決ヲ不適當ナリトスルトキハ府知事縣令ノ指揮ヲ乞フヲ得

第六條　府知事縣令ニ於テ區町村會及ヒ聯合會若シ法ニ背クアリトスルトキハ之ヲ中止ネルヲ得又ハ之ヲ解散シテ改選セシムルヲ得

第七條　水利土功ノ爲メニ其關係アル人民若クハ町村ノ集會ヲ要スルトキハ總代寄合ノ如キ從來ノ慣行ニ從フトモ又ハ新タニ規則ヲ設クルトモ其人民若クハ町村ノ便宜ニ任ス其規則ヲ設クルモノハ府知事縣令之ヲ裁定ス

第八條　第七條ニ揭ケタル集會評決ノ施行及ヒ其取締ハ第四條及第六條ニ依ルヘシ

第九條　水利土功ニ關係アル人民若クハ町村中異議アリテ其集會ニ應ゼサルトキハ府知事縣令之ヲ府縣會ニ付シ其決スル所ニ依リ之ヲ定ムベシ

但府縣會ノ閉會ニ當リ其開會ヲ待ツベカラザルトキハ府知事縣令之ヲ決定スルヲ得

十番（藤村君）本案ハ過日モ內閣委員ノ辨明ニ據レバ區町村會ヲ法律ニテ認ムル趣旨ニテ原案ハ素ヨリ同意ナレドモ全体ニ緊要ノ條モアリ又ハ不用ノ條モアリト考フル故

ニ何トアル第二次會ヲ延シテ其前ニ委員ヲ選ミテ逐條査理セシメタシトノ意ヲ建議セヨカ十九番（松田君）附一番（安場君）ハ此建議ヲ不可トス

依テ議長ハ之ヲ衆議ニ問フ起立屯ニ八人コヲ成立タズ

次ニ第二次會ヲ開クニハ起立

廿二番（山吉君）過日モ番外ニ寄合相談ノ摸様ヲ聞シニナノヅカラ其町村ノ慣習アリテ能ク纏マリタル付クモノアリト說明アリシガ本員ノ考ヘハ中〳〵左ニ非ズ昔ヨリ町村ノ寄合相談ニハ惡弊アリテ或ハ酒食ニ流レ其費用ナドモ多分ニ掛ルナド其外樣々ノ不都合アリシニ昨年ノ町村會ヨリ其規則モ一定爲シ斯ル惡習ヲ除キシニ今マタ昔年ノ惡習ニ引戻スハ不可ナリトノ趣意ヲ辨ズ

廿八番（平山君）ニ曰第十二號法律ノ第六條ニ關係アル故ニ先ヅ十二號議案ノ逐條議ヲ終ラデハ意見ヲ述ブルニ苦シムト雖モアリ願ハ十三號ノ二次會ノ後ニ本案ノ逐條議アリタシト建議スルハ

五番（松平君）十番（藤村君）廿九番（關口君）ノ贊成アリシガ少數ニテ消滅シタリ

十六番（大迫君）ハ折カク區町村會ノ規則ヲ定メテ今マタ引戻スハ進歩ヲ妨グル理ニテ不可ナリ依テ第一條ヲ修正シ區町村會規則ハ府知事縣令之ヲ裁定シ管内ニ布達スト爲スベシ

十五番（岩村君）本員モ廿二番ノ精神ノ如ク是ガ封建時代ナラバ寄合相談モヨシト雖モ最ハヤ今日ト成リテハ斯ル不極リノ相談ハ其効ナク又タ今日漸々進歩スル時ニ相談會ノ如ク引戻セシヤウ自由ヲ得ルノ目的ヲ違ヒ益ヲ依テ第一條ヲ修正シテ區町村會及ヒ數區町村聯合會規則ハ各府縣ニ於テ之ヲ制定シ内務卿ノ認可ヲ得テ施行スベシ

トス爲シ二條ヨリ六條迄ヲ削除スベシ

九番（三島君）本員ノ精神モ十五番ノ如シサレドモ其修正ハ委員ヲ選ンデ査理セシメタシ

八番（原君）ハ郡モ行政區域ノ一ニテ郡會ナキ時ハ不都合ナリ故ニ郡區町村會トシテ郡會ヲ開クニハ修正シタシト述ブ

廿七番（北垣君）ハコレヲ贊成シ郡會ハ現在ニ無用ナリ既ニ一郡共有物一郡共同理事モアリテ郡會ナキ故ニ大ニ差支ユル場所モアリ又是ヨリ後ヤ凶荒豫備學校積金等ニモ郡會ヲクテハ尤モ不都合ナリト辨ズ

卅四番（籠手田君）モ八番ヲ贊成ス

廿三番（渡邊君）原案ヲ以テ尤モ可ナリトス諸君試ニ思ヘ維新ノ際專一ニ舊弊改革ヲ旨トスルガ爲ニ民間ノ良習美慣ヲ併セテ悉ク打壞シ爲ニ巨多ノ不便ヲ生ジタルニ一ニシテ足ラズ然ルニ政府モ今日ニ至リテ氣ガ附キ爰ニ本案ヲ下シテ其良法ヲ挽回セシハ實ニ政治ノ度ノ進歩セシモノト云フベク感歎敬服ノ至ナリ廿二番ノ說ノ如キモ七百年前ヨリノ良善ナル慣習アリテ之ヲ今日ノ施政ニ斟酌シテ大ニ便宜ナルヲ以テ是レ本員ガ實驗セシ所ナリ又タ八番廿七番ハ郡會〳〵ト喋〳〵スレド是ハ即チ第二條ノ數町村聯合會ニテ十分ニ郡會ノ目的ヲ遂ゲヘシ夫ヲ知ラズ郡會モ立テタシト云ヘバ地方ハ會ダラケニ成リテ爲ニ大不都合ナルベシ

廿八番（平山君）モ原案ヲ贊成シモト町村ハ自治ナレバ會議モ其町村ニ任放シテ適宜ニサセルガ好シ町村會規則ヲ正シク極メルガ爲ニ入費ヲ怖レテ彼是苦情ノ出シヲモアリ旁原案ニ不可ナルヲ見ズ

廿九番（開口君）ハ町村ト云ハ其町村ノ人民モ頑固鄙陋ニテ弊害アルコトヲ詳シク辨ジ九番ヲ賛成シ委員ニ査理ヲ望ミ
卅一番（安場君）モ九番ヲ賛成ス
依テ議長ハ八番、九番ノ修正説ヲ議題ト爲スコ
十番（藤村君）卅番（稻崎君）モ九番ヲ賛成シ
十八番（森君）ハ原案ニ賛成ノ説ヲ陳ズ
十九番（松田君）本員ハ原案賛成者タリ九番ノ修正説ニ左袒スルノ精神ハ要スルニ從來ノ横行法ヲ不可ナリトシ云フニ歸セリ成ルホド民間ノ弊害實況ハ廿九番ガ屢々陳述セシ如ク相違ナシ其實況斯ノ如ク故ニ倍々此案ヲ必要ト爲ス抑モ二十九番ガ述ベタル如キ頑固鄙陋ノ村ニ至テハ全備ノ規則ノ行ハルベキ者ナラズ素ト町村會ハ刑律ノ如ク一般ニ行ハルベキ者ニアラズ是レ行ハレタルニアラズ行ハシメタルナリ近ク内務省ニ於テ差出ヲ發シタル町村會規則ノ如キ悉ク地方官會議ニ附シ熟覽スルニ及ビ昨年ニヨリ陸續ト各府縣ニ等シク彼正調會ヲ制定シ發シ表面ハ中々高尚ノ規則ナルニ諸君ガ昨年マデ立派ニ行ハシムルヲ丞ラズ證ヲ取消ヲ丟ス今日此議場ニ集カタル一府一縣ニ長官タル我々ハ山村僻邑ノ頑民提出スル説ヲ輕蔑シ或ハ無用ト呼バハレ反則トヤリ込ラレテ仕クシルハ是レ議事ノ我國ノ行ハルヽ所以ニアラズ物ノ美事ニ行ハルヽトスルガ故ニ及ホシテ物ノ美事ニ行ハルヽトスルガ甚シキモノト云ハザルベカラズ又廿七番ガ一郡共同物ヲ分ケ云ヒ郡ニ於テ特ツ學校ハ稀ナリ積金モ又ハ稀ナリ罕有ノ事ヲ以テ一般ニ及ボシ本案ヲ修正スルハ尤モ不可ナリトノ趣意ヲ辨明ス

水利ニ於テ一郡或ハ數郡ニ渉ルベキト云ヘドモ其ノ下ニ水利土功云々ノ條アリテ之ヲ明示シタルハ論ズルニ及ハズ或ハ學校ト云ヘドモ一郡ニテ特ツ學校ハ稀ナリ積金モ又ハ稀ナリ罕有ノ事ヲ以テ一般ニ及ボシ本案ヲ修正スルハ尤モ不可ナリトノ趣意ヲ辨明ス
卅四番（籠手田君）ハ十九番ノ説ヲ駁ス
既ニ地租改正ノ事ニ付キテ一郡ノ總代等ノ集會
十九番（松田君）ハ夫ハ收稅法ニヨル原因スルコトニテ收稅法ガ郡寄村寄ト分レタルガ故リト反駁ス
廿七番（北垣君）ハ我高知縣下阿波國ニハ一郡共有物一郡共同理事ノコト多クアリテ郡會ノ無キ爲ニ大不都合アリテ苦情タヘズトノ旨ヲ辨ズ
此トキ既ニ午後四時三十分ヲ過キタレバ議長ハ衆員ニ向ヒテ時既ニ四時ヲ過ギタレバ會議ヲ爰ニ止メ明後十七日ニ此引續ノ會ヲ開クベシト述ベテ退散セシメラル

地方官會議誌第八號

二月十七日　午前第十時四十分開議
議員三十四人
欠席一番　四番　十五番　三十二番

⊙

第廿四號議案第二次會（一昨日之續キ）

審議ノ後八番議員ノ本條區ノ字ノ上ニ郡ノ字ヲ加ヘ委員ヲ選ミ本案中之ニ關係アル條項ヲ修正スベキ説ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　三人　乃チ少數ナルヲ以テ消滅トス

又九番議員ノ區町村會ニ於テ議定スヘキ權限區域ヲ定メ之ヲ第一條トシ爲ス本條ヲ修正

ヲ第二條ト爲シ其文案ハ委員ヲ選テ査理セシムヘシト云フ説ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　三十二人

乃チ過半數ナルヲ以テ可決ス

因テ議長ニ於テ委員ヲ撰ミテ之ヲ報道ス

委員五人　九番　十六番　十九番　廿六番　廿九番

第二條　審議ノ後廿三番議員ノ全案ヲ委員ニ付テ修正スヘシト云フ説ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　三人

乃チ少數ナルヲ以テ消滅トス

又三十一番議員ノ本條モ委員ニ托シ數區町村云々從來ノ慣行ニ從ヒ規則ヲ設クルトモト云々ノ意味ニ修正スヘシト云フ説ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二人

乃チ少數ナルヲ以テ消滅トス

又十七番議員ノ前條修正ノ意味ヲ以テ併セテ前條修正委員ニ托スヘシト云フ説ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十七人

乃チ過半數ナルヲ以テ可決ス

第三條　審議ノ後本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十七人

乃チ過半數ナルヲ以テ可決ス

第四條　審議ノ後本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十六人

乃チ過半數ナルヲ以テ可決ス

第五條　審議ノ後二十七番議員ノ郡區長云々中止ヲ府知事縣令ノ指揮ヲ請フヘシ其既ニ議決スル所ノ事項ノ第三條第四條ノ手續ニ從フヘシト云フ修正説ニ同意者ヲ起立

セシム

起立者　二人

乃チ少數ナルヲ以テ消滅トス

又本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十八人

乃チ過半數ナルヲ以テ可決ス

第六條　審議ノ後十四番議員ノ本條ノ次ニ一條ヲ設ケ區町村ニ於テ議案ヲ議定セサルカ又ハ議案ヲ議定スルニ及ハスシテ解散ヲ命シタルトキハ府知事縣令ハ前年度ノ豫算額ヲ以テ徴收セシムルコトヲ得ト云フノ意味ヲ以テ委員ニ付シ其文案ヲ査理セシムヘシト云フ説ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二人

乃チ少數ナルヲ以テ消滅トス

又本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　全員

乃チ可決ス

第七條　議長ハ本議未タ終ラサレハ今日ハ中止シ明十八日例刻ヨリ續テ之ヲ議スヘキ旨ヲ述フ

二月十六日休會

二月十七日午前第十時三十五分開議

欠席　一番（島君）　四番（白根君）　十五番（岩村君）　卅二番（石田君）

議長曰ク昨日ヨリ引續キタル第廿四號議案ノ第二次會ヲ開クヘシ

十六番（大迫君）ニ昨日修正説ヲ提出シタレド不幸ニシテ消滅セリ依テ九番ノ第一條ヲ

加ヘヲ區町村ノ性質ヲ示ス說ヲ贊成ス
六番(熊野君)モ九番ヲ贊成ス
卅四番(籠手田君)ハ一昨日八番ノ郡會ヲ增ス
スル
卅一番(安場君)ハ第一條第二條ノ修正說ヲ提出セシガ贊成ナクタヲ議題ト成ラズ
廿六番(野村君)モ更ニ九番ヲ贊成シテ其說ヲ敷演ス
十九番(松田君)本員ハ昨日九番ノ修正說ハ晝一主義ト見做シ十分ニ駁擊シテ原案ヲ維
村セシガ本日廿六番ガ代リテ九番ノ精神ヲ說クヲ聞クニ其意ハ晝一主義ニ非ズ只一條
ヲ增加シヲ區町村會ノ性質ヲ示シ慣行ニ從フト云フハ原案ヲ活用スル樣ニ聞ユ眞ニ然
ルヤ否ヤ
九番(三島君)ハ是ニ苔ヘテ其通リナリト云フ
廿九番(松田君)然ルニ九番ヲ贊成ス
卅三番(野村君)廿九番(關口君)廿八番(平山君)十二番(槇村君)共ニ九番ヲ贊成シ
卅二番(安場君)モ終ニ九番ニ同意ス
廿三番(濱邊君)ハ原案ノヤウニテ可シ然ルニ町村會ノ性質ヲ示シヲ其議スル部分ヲ限ル
ヨリモ何事ニ寄ラズ議セシメ人民ノ滿足スルヲ以テ主旨トスベシ本員ハ默爾ノ中ニ生
長シヲ幼ヨリ村童牧豎ト羣ヲ成シ能ク民間ノ情ヲ知レリ農民ガ鎌ヲ腰ニシ鋤ヲ肩ニシ
テ寺院ノ椽側前名主ノ家ノ隅ヲ寄合ヒ相談ヲ極ルニ尤モ能ク纏マリノ付クノミナラズ
某ノ不品行也等分附合ヒガヨシ或ハ某ノ不身持ヲ異見スルナド此寄合ニテ極ルモアリ
或ハ農休ミヲ芝居ヲスルナドト云フモ皆此寄合ニテ極ルモアリ
ハ弊害ノ點ノミヲ指シテ其利益ヲ知ラヌナリ又タ八番ガ郡會〳〵ト云ヘド十九番ガ昨

日ヨリ連名如ク郡ヤ行政區域ヲ人民ノ團結セシモノニハ非ズトノ意ヲ辨明ス
十九番(松田君)廿三番ノ本員ト同ク原案贊成者ニテ郡會ノ論ニ至テハ同一致ナレト廿
壹番ガ町村會ノ性質ヲ極メ難シヲ不可トヲ芝居ハ相談モ村民ノ懲戒モ此寄合相談デ議決
スルヤ否此法律ヲ設ケ舍ムト認メ難シ本員ノ所見ニ異ナリ斯ル寄合相談ハ今日マデ
法律ニテ認メ寄合相談セシガ芝居ノ興行モ地藏堂ノ建立モ村民ノ懲戒モ好シト雖モ一
旦法律デ町村會ヲ認メル以上ハ期セ相談ヲ許サヾル何トナレバ町村會ハ其町村ノ經濟
竝ニ共同理事ヲ其有物等ヲ議スルニ若シ芝居ノ相談ヲシテ其費用ヲ出サヾル時ハ其財產ヲ公賣シテ費用ニ充
テザルヲ得ズ然ルニ若シ芝居ノ相談ヲシテ其入費ヲ出サヾモノ有レバ芝居ノ爲ニ其者
ノ財產ヲ公賣スルモ可カラト云ヘヲ至ルモシ是レ法律ニテ認ルト認ザルトノ分界ナリ
又タ郡會ニ水利土功ニ要用セリト云ヘド郡一般ニスル事ハ稀ナリ川ナラバ沿岸村々ニ
ハ大費ヲ出シ其川ハ利害ヲ管セヌ村モ入費ヲ出スニヨリテ不
服ノ事多カルベシト云ヘド條理體裁ヲ主トシテ
ハ實地ニ行ハレス條理體裁ヲ主張スルハ萬般ノ道具ヲ惡ク具ヘテ政事ヲセヌハ成ラズ
斯ク論ヲ列レバ以テ郡會ハ今日ニ必用ヲ了スルニ足ルベシ
廿八番(平山君)郡會ヲ起スハ尤モ不同意ニス別所ヲシテ三綱法ハ郡會ヲ置キ組立ナリ
卅四番ガ社會ノ國法ヲ說クモ府縣ノ經濟法ヲ替ヘヲハ郡會ハ無用物
トナルベシモ府縣ヲ議決シ之ヲ以テ郡區ノ仕事ヲスルヲヤ郡會ヲ
モ云ベキモ議スベキ仕事ヲシ郡ガ共同理事アリト云ヘド是ハ即チ町村ノ共同理事ニ
テ聯合會ノ規則ハ町村ノ職務差支ヘ、シ廿三番町村會ノ性質ハ甚ダ誤レリ素ト公義ナリ芝
居ヤ地藏堂ノ建立ヲヤ議スベキモノガヲヤ實ニ九番ノ修正說ハ晝龍點眼ノ名說ニテ贊
成セザルヲ得ズ

卅四番（籠手田君）ハ流行病豫防或ハ凶荒豫備等ニ付テハ郡會ノ必用ナルヲ再陳ス
此トキ既ニ正午ヲ報ジタレバ議長ハ衆員ヲ退散セシメタル
同十七日午後一時五分開議（午前ノ續キ）
議長曰ク午前ヨリ續キタル會ヲ開ク
廿七番（北垣君）郡會ヂスル仕事ナシト云ヘド既ニ二三縣ニ共同理事ヲ見出セバ之ヲ法律ニハ明示シテ他日郡ノ獨立ヲ待ツベシ現ニ見出セシ以上ハ行政區ニ非ラズ聯合會ハ其期不定ナレハ之ヲ郡會ニ代用スベカラズ一郡ニ依ル流行病豫防ナドモ縣廳ヂスルハ一郡ノ費用ナキニ依ルモノニシテ郡會デ定メ得ベシ會ダラケニ成ルト云ヘド既ニ郡會ヲ起セバ聯合會ハ入ラズナド治水ノ如キハ郡會アリテモ開ラカザルベカラズ故ニ下ニ其條アリ實ニ古來ヨリ種々ノ原因アリテ一郡共同物アル所ハ郡會ナキガ爲メニ多少ノ困難アルヲ察スベシト述ベテ郡會ヲ起スヲ主張ス
卅七番（斯波君）九番ヲ贊成ス
議長ハ說ノ盡ルヲ見テマヅ八番ノ郡會ヲ起スノ修正說ニ同意ヲ表セシメルニ
起立　三人ニテ消滅シ
次ニ九番ノ修正說ニ同意ノ者ヲ
起立セシメルニ　卅二人ノ起立ニテ此修正說ニ決ス
議長ハ規則ニ從ヒ九番（三島君）十六番（大迫君）十九番（松田君）廿六番（野村靖君）廿九番（關口君）ノ五員ヲ指シテ修正委員トス
議長曰ク是ヨリ第二條ヲ議スベシトテ書記ヲシテ朗讀セシム
十七番（山田君）ハ既ニ第二條ノ二次會ニ九番ノ一條ヲ增加スルニ決シタレバ自然二條ニモ連帶シテ字句ノ變更モアルベシトテ速ベ去レリ同委員ニ托シテ査理セシムベシト速ベ去レリ

ニ三ノ議員ヨリコノ修正ニツキ數回ノ討論アリシガ終ニ可否決ニ至リテ十七番ノ修正說ニ廿七人ノ起立アリ依テ第一條ト同シク修正委員ニ托シテ査理セシムルニ決ス
議長曰ク次ハ第三條ニ本會ノ會期例則ヲ設ケ朗讀セシムベシト
三條本條ニモ本番ノ修正說アリテ終ニ原案ノ起立廿七人（原案ニ同決ス）第五條（同廿七人）第六條（總起立）トモ原案ノ起立ニテ第四條（同意ノ起立廿三人）
議長曰ク是ヨリ第七條二次會ヲ開クベシ
十七番（山田君）本條ヲ削除スベシ何トナレバ氷利土功ノ費用ハ町村ニテ最モ大ナルモノニシテ之ヲ他ノ管係ニ傾キテ費用ニ支障アルベシテハ其ノ擔當ノ一編ニ傾キテ費用ニ支障アルベシ若シコレヲ管係アル者ガ議決シテ教育費ヲ學務委員デ議決シ衛生費ハ衛生掛リガ議決スルナド大ニ他ノ權衡ヲ失ヒ且ツ町村會ノ議權ヲ殺グニモ當レリト辨ジテ削除說ヲ主張ス
十番（藤村君）九番（二鳩君）十七番ヲ贊成ス
廿九番（關口君）原案ハ尤モ妙ナリ十七番ノ削除說ノ如キハ中〳〵町村會ヲ讓ラル得ベキ事ヲ非ズ總テ信濃川初メ信濃川天龍川藤川等ノ如キ大河ノ氷利ニ管スル土木是迄モ其事ヲ相讓リ團結シ一種別物ヲシテ斯ル大川ノ岸ニ沿ヒタル村ニハ三代モ氷利ノ事ニ苦辛シテ負代ヲ償セシモノモアリ其老練ニ至リテハ堤防等ノ普請ニ通曉熟達セル實ニ驚クベキ事アリテ地所等モ澤山ニ所有シ其川ノ利害ヲ被ムルモノ尤モ氷利ノ事ニ苦辛工夫スルハ自然ノ理ニシテ中〳〵他人ノ及ブベキニ非ズ故ニ此管係アルモノヲシテ議セシムルニ尤モ其益多キ物ニ氷利土功ニ至リテハ一川ノ全体ヲ保ツヲ

其功ナキガ故ニ昔ヨリ沿岸組合ノ總代會議アリ今マ之ヲ公ケニ法律ニ定メラルヽニ於テハ尤モ必要ナルトノ意ヲ詳說ス

卅一番（安場君）ハ十七番ヲ贊成シテ其水利ニ熱心ナルモノナシテ議セラルヽハ却テ己レガ利害ニ傾キテ弊害アルベキヲ陳ヘ

十七番（山田君）ハ水利ノ大土功ニ至リテハ府縣會ニテモ議スル然ルニ之ヲ管係アルモノニ議セシムルトセハ府縣會ノ議權ニモ管渉スベシト再陳ス

三十番（楢崎君）廿五番（楫取君）十八番（森君）ハ慣習ハ尤モ水利ニアリテ捨ツベカラズトノ論ヲ原案ヲ贊成ス

廿三番（渡邊君）モ水利土功ハ當局者委員ヨリハ其所ノ里老ニ五六十年前ヨリノ川流ノ有樣修繕ノ都合等ヲ質シテ始メテ承知スルモノ多シ況ンヤ川源ヨリ末流ニ至ルマデ全体ノ利害ヲ判シテセラバ成ラヌ土功ヲ町村會デ議セシムレバ一村一町ト分レ村毎ニ費用ヲ殊ニシ爲ニ川流ノ全体ニ大害ヲ生スベシ大川ニ至リテハ甲ノ管轄ト乙ノ管轄ト協議セラバ水利ノ土功ヲ起セル程ナリ實ニ廿九番ノ說ニ其要領ヲ說キ盡セリト述ベテ原案ヲ贊成ス

卅七番（斯波君）廿八番（平山君）廿七番（北垣君）卅四番（籠手田君）ミナ原案ヲ贊成ス

五番（松平君）六番（熊野君）十六番（大迫君）十七番（楫取君）ハ

（其他諸說出ルド悉ク削除說モ原案贊成者モ共ニ前說ヲ敷演スルノ論ニシテ緊要ナラザレバ略ス）

此トキ既ニ午後五時ニ十分ヲ過ギタレバ議長ハ此會ヲ止メ衆員ヲ退散セシメラレタリ

明治十三年二月七日出版御届

同　二月廿五日出版

出版人兼編輯　小笠原美治
東京神田五軒町十八番地弘令社

各地賣捌書肆
東京芝三島町　山中市兵衞
大坂心齋橋通備後町角　吉岡平助
京都寺町通四條上ル　田中治兵衞

其他各府縣官令全報。文明同樂相談賣捌所ニ於テ賣捌致候

〔定價金三錢五厘〕　府外遞送稅壹錢

明治十三年二月

地方官會議傍聽錄

第五號

東京神田區神田五軒町十八番地
弘令社發兌

例言

一地方官會議ノ顚末ハ既ニ各社新聞紙ニ掲載シ世ノ人亦既ニ其詳細ヲ知了セリ然リト雖新聞紙ノ連日ニ散出スルハ特リ一時通覧ノ便ヲ欠クノミナラス或ハ他日散逸ノ患アリ隨テ又掌中提携ノ便ナシ是此册ノ編輯アル所以

一此書ハ明治十二年二月五日會議開場ノ日ニ起リ三日毎ニ一册ヲ刊行シ閉會ニ至ル迄全部十册ヲ以テ完結スベシ

一書中重複ヲ厭ハス會議日誌ヲ併輯スルハ參考ノ爲メナリ

一此書ハ冒頭ニ會議ニ係ル諸布達及伺指令ヲ登錄スルモ亦參考ノ爲メナリ

地方官會議日誌第九號

二月十八日　午前第十時十五分開議　午後第五時三十五分退散

午前　議員三十三人　欠席　四番　二十番　二十六番　三十二番　三十六番

午後　議員三十一人　欠席　三番　四番　八番　二十番　二十六番　三十二番　三十六番

第廿四號議案第七條第二次會（昨日ノ續キ）

審議ノ後十七番議員ノ水利土功ノ下ニ本條ハ削除スヘシト云フ說ニ同意者ハ起立セシム

起立者　二十五人　過半數ナルヲ以テ可決ス

第八條　審議ノ後九番議員ノ本條モ削除スヘシト云フ說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十五人　過半數ナルヲ以テ可決ス

第九條　審議ノ後六番議員ノ本條モ削除スヘシト云フ說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十五人　過半數ナルヲ以テ可決ス

○

第六號議案第三次會

審議ノ後二十二番議員ノ舊文ニ復シ委員ニ付シテ辭職ノ下ヲ補ヒ別項ハ削ルヘシト云フ說ニ同意者ハ起立セシム

起立者　十四人　少數ナルヲ以テ消滅トス

又本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　十五人　少數ナルヲ以テ消滅トス

又廿三番議員ノ本案ノ決議ヲ取消シ更ニ委員ニ付シ修正スヘシト云フ建議ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　三十一人

過半數ナルヲ以テ可決ス因テ議長ニ於テ委員ヲ選ミテ陳告ス

委員　五人　一番　十四番　十九番　廿二番　三十一番

○

第七號議案第三次會ニ於テ異議ナキヲ以テ本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　全員

本案ニ可決ス

○

第九號議案第三次會

異議ナキヲ以テ本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　全員

本案ニ可決ス

○

第十號議案第三次會

異議ナキヲ以テ本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　全員

本案ニ可決ス

第十一號議案第三次會

異議ナキヲ以テ本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　全員

本案ニ可決ス

○

第十二號議案第二次會

第一項　衛生費

審議ノ後六番議員ノ流行病豫防ニ屬スルモノハ町村費ノ勝ヘザルヲ補助スルモノトス云フ但書ヲ加フヘシトノ修正說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　十三人　少數ナルヲ以テ消滅トス

又本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　廿一人　過半數ナルヲ以テ可決ス

第二項　救育費

審議ノ後本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　廿八人　過半數ナルヲ以テ可決ス

第三項　（戶長以下給料以上費目）

審議ノ後十八番議員ノ本條ヲ削除シ之ニ關係アル條項ハ委員ニ付シテ修正セシムヘシト云フ說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　五人　少數ナルヲ以テ消滅トス

又一番議員ノ本項ヲ戶長以下給料補助費トシ其補助スヘキ町村ハ府縣會ノ決議ニ依ル

ト云フ但書ヲ加フヘシトノ説ニ同意者ハ起立セシム

起立者　九人　少數ナルヲ以テ消滅トス

又本案ニ同意者ハ起立セシム

起立者　十二人　少數ナルヲ以テ消滅トス

又三十番議員ノ本題ノ決議ヲ取消シ更ニ委員ニ付シ修正スヘシト云フ建議ニ同意者ハ起立セシム

起立者　二十一人　過半數ナルヲ以テ可決ス

三月十八日午前第十時開議

欠席四番（白根君）十一番（河野君）廿番（高崎君）廿六番（野村君）卅六番（高橋君）

議長ヨリ昨日第廿七號議案ノ第七條第二次會ヲ開クヘシ

卅四番（籠手田君）ハ原案ヲ贊成シ十也番ハ町村會聯合會ハ特ニ水利土功ニ管スル八ヲ議會ヲ要セズト雖モ水利ニ至テハ學校ノ如キ比ニアラズトノ説ヲ陳シテ原案ヲ贊成シ（槇村君）モ區町村會法中ニ此條ヲ插入スルハ不可ナリト述ヘテ十七番ヲ贊成シ十二番（槇村君）モ區町村會法中ニ此條ヲ插入スルハ不可ナリト述ヘテ十七番ヲ贊成シ十七番（山田君）モ昨日ノ削除説ヲ主張ス

番外一番（今村君）ハ水利ノ事タル其利害ヲ被ムル地租ニ管係スルヲ重キカ故ニ特ニ此會議ヲ設クルヲ必要トス其議事モ其利害ヲ直接ニ被ムルハ地所ノ所有人多ク其利害ハ八ナラデ他借ノ適實ナラス殊ニ第十本號議案ノ朱書ヲ增加アレハ之ヲ議スルノ手續ヲ示ス爲ニ法律其根原ヲ糺愚論ヲ陳ヘ此條ヲ削除セサルヲ得ス

十九番（松田君）ハ原案贊成ニ付キ昨日ノ後ヨリ欠席セシ故ニ發論ノ如何ヲ了知セザレド先刻ヨリ

ヤ發論ヲ聞キ且ツ番外一番ノ說明ヲ聞キ原案ヲ贊成ス

本條ヲ削除スルヲ得サルニ至ル故ニ之ニ連帶シテ此條ヲ必用トセサルヲ以テ削除ス

水利土功ノ事モ町村會ニ止リテ郡會ニ抑々十二號ノ末條ハ河港道路云々ハ地方稅ニテ支辨スヘキノ正則ナレトモ其土地ニ慣行アリテ其正則通リニ行ハレヌ時ニ地方稅カラ剏テ出スナリ既ニ剏テ出セシカラハ町村會ニ持込ムナリ町村會ハ其町村ノ公共ノ事ヲ議スルモノニテ斯ル水利ハ惡ク其町村公共ニ係ル故ニ法律ニテ認メシナリ同シ水利ニテモ種々ノ區別アリテ町村公共ニ係ルアリ或ハ數十戶ノ利害ニ係ル水車又ハ溜池ノ如キモアリテ此數十戶ノ利害ニ係ル事モ法律ニテ認スル時ハ其數十戶ノ集會ニテ其溜池若クハ水車等ニ管スル費用ヲ認メシ其所有ノ財產ヲ公賣スルノ處分ヲ施サヽルヘカラズ斯ノ如キ數十戶ノ申合ニ管スル費用ヲ出サヌ時ハ之ヲ民事裁判所ニ訴ヘルコトヲ止マルモノニテ公賣處分ヲ施スヘキ事柄ナラズ養水ノ如キモ大小ノ區別ハアレド要スルニ己ガ田地ヲ養フノ一己一人ノ利益ニ止マルモノ多キニ之ヲモ認ムルニ時ハ肥料ノ如キモマタ法律ニテ認メザル可ラズ故ニ同シク法律ニテ認ムルニモ公共ト一個一己ノ區別ヲ立ツルガ緊要ナリ本員ハ敢テ水利土功ノ爲ニ別段ノ慣行集會ヲ捨ルニ非ズ只公共ノ事ヲ法津ニ認ルハ可シト致モ之ヲ一個一人ノ利害ニ管スル事ニモ法律ニテ認ムル時ハ不可ナリ故ニ其公共ニ係ル事ヲ議スル町村會ニ委シテ支障ナク別ニ水利土功ニ管係アル人民ノ集會ヲ要セズト主張スルハ此理由アルガ爲ナリ

廿三番（渡邊君）昨日モ述シ如ク之ヲ削除スルハ尤モ不可ナリ水利ハド民間ノ疾苦ニ拘ハルハ無シ然ルヲ水利ヲ熟知セヌ町村會ニテ議セシムレハ其ノ弊害蓋シ言フベカラザ

ルニ至ルハ必然ナリ十九番ノ說ノ如キハ理論ニ偏ズルモノニシテ凡ソ物ゴト其利害ヲ直接ニ受ル者尤モ其事ヲ謀ルト信切ナルハ天下ノ通情ナリ故ニ水利ノ如キハ矢張リ其利害ニ直接シタル者ニ議セシメルヲ以テ其當ヲ得タリト爲スベシ

十九番(松田君)廿三番ハ實際〳〵トヽ云ヘドモ實際ニモ不都合ト云フテ口實トセバ法律モ何モ入ラヌ大約實際ニモ分界ヲ附ケヲバ成ラズ又タ廿三番ノ說ハ何事モ水利トアラバ此法律デ認ムトノ主義ナレドモ一個一戸ノ利益ノ爲ニスル水利ヲモ施サヽバ成ラヌ如キ弊害アリ素ト之ヲ思ハスシテ此法案ヲ下サレタルハ法案ヲ下ス時ノ不詮議ナリ又一個一戸ノ利害ニ管スル水利ノ如キハ假令ヒ法律ニテ認メズトモ能ク其約束相談ノ纏マルモノニテ決シテ心配ノ入ラヌ事ナリ

廿七番(北垣君)十九番ガ新手ノ兵ニテ散々ニ論ジ其精神ハ公賣處分ヲ恐ルヽト公共ノ一個一戸ト公共ノ區域ヲ立ツルニ在リ然リト雖モ公賣ハ地方稅ヲ出サヌ時ノ處分ニテ町村會ニテ爲ス協議費ニハ無キコトナリ故ニ怖ルヽニ足ラズ昔ヨリ水利ノ事ハ各藩トモ大川アルノ地ハ驚クベキノ善良ナル慣行アリシガ維新ノ後チ舊制ヲ改更スルト區畫ノ改正トニ依リテ大ニ此善良ノ慣行ヲ破壞セリ此善良ノ慣行ヲ今日ニ保存スルノ法律ナクバ何程ニ破壞スルカモ測ラレズ本員ガ斯ノ如ク說キ出ルヲ聞カバ十九番モ爲メニ感觸シテ其思想ヲ變ゼント思ハル

九番(三島君)ハ昨日ノ如ク猶モ十七番ヲ贊成ス

十八番(森君)卅七番(斯波君)ハ原案維持ノ說ヲ陳シ

廿八番(平山君)モ公賣ハ稅ヲ云フ名ニアラズ止ムヲ得ザル處分ニシテ協議費ニ及ハズ又タ此法律ハ水利土功ノ會議法ヲ示セシモノニシテ公賣處分ヲ下ニハ及ハヌ趣旨ナリト辨ズ

十九番(松田君)ハ駁說ニ對シテ本員モ公賣處分協議費ニ及ハヌハ太政官布告ノ第七十九號ニテ承知シタル所ニ素ト民費ヲ出ス時ハ此處分ニ屬スルヲ以テ其旨ヲ體シ居レドモ其北十九番ノ旨ヲ施行スル事ニ成リ又タ地方稅ト協議費ヲ分チ協議費ハ公賣處分ニ及ハヌ事ヲ明カニ認メタルモノナルガ故ナリシニ既ニ此廿四號議案ニテ明カニ認メタル以上ハ協議費モ公賣處分ヲ施サヾル可ラズ何トナレバ其協議費ヲ出サヌトテ一々民事裁判所ヘ訴出ルニ於テハ一區町村ノ共同理事ノ出來ベキ理ナシサレバ公賣處分ハ廿四號ノ法律ノ如ク協議費ニモ及ホス以上ハ此七條ニモ及ホサヾル可ラズ斯ク論ジ來レバ一個一人ノ利害ニ至ル迄ノ之ヲ不適當ト云ハヾル可ンヤ

議長曰ク本條ノ討論再燃シ大ニ時間ヲ費セリ既ニ府縣會通常會ノ期モ近ヅキ歸任ヲ急ク議員モアリ殊ニ未ダ公ケヤオ達シヤラ無ケレド凶荒豫備ノ議案モ此會ニ下問セラルヽ由ナレバ議長モ相成ルダケ議事ノ捗取ヲ要ス既ニ此條ノ發言モ十分ナレドモ未ダ發言ヲ終ラヌキ議員ノ意見アルハ論セラルベシト述ベ其發議ナキヲ見テ先ヅ十七番ノ削除說ニ同意ヲ表セシムルニ

起立　廿二人アリテ終ニ削除ニ決ス

時既ニ正午十二時ヲ過ギタレバ議長ハ來會議員ヲシテ退散セシム

同十八日午後一時半分開議

議長曰ク是ヨリ第八條第二次會ヲ開ク

九番(三島君)ハ第七條ヲ削除セラレド不幸ニシテ削除說ニ廿九番(關口君)ハ第七條ニ付テ本員ハ飽ク迄原案ヲ贊成シタレド不幸ニシテ削除說ニ可決セリト雖モ其熱心ヨリシテ此八條ヲ存シ第三次會ニテ再ビ意見ヲ陳スベシト述ベ

十九番（松田君）ハ前條ノ廢セシニ之ヲ議スルトノ説ヲ主張スルカ不都合ナリト駁ス
議長ハ説ノ盡クルヲ見テ先ツ九番ノ削除説ニ同意ヲ表セシムル
起立セル者八廿五人ニ過半數ニ依リテ削除ニ決ス
議長曰ク次ニ第九條第二次會ヲ開クベシトテ書記ヲシテ朗讀セシム
本條モ六番（熊野君）ノ七八條ニ準ジ及削除スベシトノ説ニ廿五人ノ起立ニ依リテ削除ニ決ス
起立セル者廿一人ニシテ過半數ニ滿タス
議長曰ク直ニ本案ノ爲ニ第三次會ノ開否ヲ衆員ニ問フベキナレドモ本案第一條ハ既ニ修正委員ヲ選ミテ查理中ナレバ其報告ヲ待ツテ第三次會ヲ開クヘシト述ベラレ續イテ第六號議案ノ第三次會ヲ開クノ書記例ニ依リ廿二番（西村君）前會ニ十九番ノ修正説アリテ削除ニ決シタルニ依リテ辭職告暇ハ議長之ヲ允許スルノ修正ニ決シタルニ依リテ朗讀ス
本條中ノ府知事縣令ニ其旨ヲ報告スルノ手續ヲ明示スヘキ左サタレハ議員ノ改選補欠選舉等ニ差支アリト述ベラレ
廿二番（山吉君）ハ前會ノ説ヲ主張シ廿一番ト同シク議長カ允許スノ但書ヲ削除シ其辭職告暇ノ手續ハ議會ニ任セ其決議ニテ適宜ノ法ヲ設ケサスヘシト述ベラレ
一番（島君）卅三番（野村君）廿八番（平山君）廿四番（龍手田君）卅七番（安場君）十四番（境君）ハ前會ニ同シク議長之ヲ允許スルノ但書ヲ削除スヘシト述ベラレ
廿二番（高岡君）ハ唯議員ノ辭職告暇ハ議長之ヲ允許スル多數ニテ決シタレドモ本員カ但書ヲ加ヘタル議會ニテ允許スルニ比スレハ其ノ手續ヲ重クシタルモノニシテ辭職告暇ハ議長之ヲ允許スルヲ得ル者ニ關係者ハ前此辭職告暇ヲ議長ニ届出ルヲ以テ之ニ同意ヲ表セシムルニ過キス故ニ本員ハ修正説ニ同意ヲ表スル旨ヲ述ベラレ

穩當ナラス且云ヒ換ヘアラテド議會デ允許スルヨリハトノ同感ニテ贊成セシモノナリ故ニ本員ハ議案ヲ特操案ヲ條件以外再修正ノ書ヲ修正シ議員ノ辭職告暇ハ郡區長ニ申告スル事ニ修正シ素ト議員ヲ選ミ修正シ素ト議員ヲ當選狀ヲ附與スル故ニ辭職ヲ申告スル事ハ固ヨリ當然ニシテ書面ヲ以テ告暇ヲ少數ノ見當違ヒナル差支サヘナケレハ趣意ヲ陳ス
議長ハ先ツ廿三番ノ修正説ニ賛成者アルヤヲ以テ之ニ同意ヲ表セシムルニ
起立セル者十三人ニシテ過半數ニ滿タス
原案ニ同意ヲ起立セシムルニ
十五人
兩ツナカラ少數ニ付キ原案ヲ採ニ消滅シタリ
此ヲ廿三番（渡邊君）ハ此條ノ消滅セシヲトカヲサルヲ論シ建議ヲ更ニ全案ヲ委員ニ付キ調査セラレンヿヲ述ヘ
十九番（松田君）十八番（森君）十七番（山田君）廿一番（島君）ミナ之ヲ贊成シ
議長ハ之ヲ委員ニ托スヘキヤ否ヤヲ衆議ニ問ヒ
起立セル者ハ甚タ少數ニシテ廿三番ノ建議ニ決シ
議長ハ委員ヲ指名ニ先ツ廿二番、廿一番、廿四番、十四番、一番ノ第三次會ハ委員ノ報告ヲ待テ開クヘキヲ述ヘ
次ニ議長ハ第七號議案第三次會ヲ開カル發議ヲ依リ
六番（熊野君）原案ニ同意ヲ起立セシムルニ全會起立ナレハ之ニ確定スト
夫ヨリ第九號議案第七號議案第十一號議案第三次會ヲ開カレシカ共ニ總起立ニテ原案ニ確定ス

議長ハ確定ノ趣ハ上奏ニ及ブベシト述ヘ直チニ第十二號議案第二次會ヲ開カレ書記先ヅ第一項ノ衛生費ヲ朗讀ス

六番(熊野君)ハ議長ノ許可ヲ受ケ番外二番ニ質シテ曰ク十一年十二月ノ太政官達ニ流行病豫防費ハ地方税ヲ支辨シ町村限リハ協議費ニテ支辨スルノ旨アルガ既ニ之ヲ衛生費ト改メレラシカラハ前ノ達ハ消滅スルカ將タ衛生費トナリテ區別ハ從前ノ如キヤ

番外二番(西村君)六番ノ質問ヲ如シト答フ

六番(熊野君)然ラハ愛ニ但書ヲ加ヘ流行病豫防費ニ属スルモノハ町村費ノ堪ヘザルヲ補助スルモノトセハ修正説ニ賛成ス

廿七番(北垣君)十三番(槇村君)少數ニテ消滅ス

議長ハ先ツ六番ノ修正説ヲ起立ニ問フ

起立者廿二人

過半數ニ依リテ之ニ決ス

次ニ原案可否ヲ起立ニ問フ

起立者十三人

書記ヲシテ第三項第二號救育費ヲ朗讀セシム

本項ニハ六番(熊野君)ハ二府ヲ除クノ外ハ寄留漂泊ノ人モ少ナケレハ救育費ヲ要セズ鰥寡孤獨廢兒等ハ既ニ國費ニテ救育スルノ設アリ救育費ヲ設クルハ惰民ヲ招クノ看板ヲ掛ケテ削除説ヲ起ス

十四番(境君)ハ六番ノ説ニ駁シテ何モ救育費ヲ以テ救育所ヲ立ルノ謂ニ非ズ之ヲ地方税ニ備ヘ救育ヲ施ス時ハ窮民ヲ爲ス恐レアリト陳シ一二問ノ討論アリシガ共ニ贊成者ナキ故原案ニ超立ヲ乞ヒ可決ス

書記第三項ヲ朗讀スルモ異論ナシ

十一番(島君)ハ戸長ノ民費ト定メラレタル給料及補助費ハ修正シ又ハ但書ヲ加ヘテ但シ補助スル町村ハ府縣會ノ決議ヲ經ルヲ要スル説ヲ起ス

卅三番(野村君)原案ノ如ク戸長ノ失張ハ官吏ニスルヲ可トス其一證ハ若シ時民屬ナレハ人民ノ損失トナリテ様々ノ苦情ヲ生ジ其損耗ヲ補フ本員ナトハ度々如斯ノ事ニ遭遇スルヲ以テ官吏ニ立ツベキヤト伺ヒシニ時々其事情ヲ上申スベシトノ指令アリシ故ニ是レ官吏ニシテ官損ニ立ツナリ此一例ヲ以テモ原案ハ此ニ存シテ戸長ノ給料ヲ地方税ヨリ取ルニ其目安トスルヲ以テ戸長ノ給料ハ地方税ヨリ取ルニ其目安トスルヲ以テ戸長ノ給料ハ地方税ヨリ取ルニ其目安トスル所ハ萬國ニ反別ヲ據リ其多寡廣狭ニ準ヒ其當ヲ得ザレドモ之ヲ地方税ヨリ取ルトスレハ是非ナク此法ニ據ラザル可ラズ今コレヲ削除セハ尤モ實地ニ適當ナリ卅三番ガ民屬トスレハ盜難ニ困ルヤ否官吏ニ是非ナキ情實アレヤ半官ヲ無シトモ助ケル其證ハ郡區改正前ニ未ダ戸長ヲ半官ニセザル前ニモ事實ニ依リテハ官損ニ立テシコアリトテ卅三番ヲ駁ス

十四番(境君)戸長給料ヲ地方税ニ取ルハ實際ニヨリ又補助費ヲ置ザルベカラザル理由ハ山間ノ僻村ナドニハ一村擧テ一丁字モ知ラザル者アリ之ヲ他村ニ聯合サセンカ隣レル村ニ音信ヲ通ジ婚嫁スラ隣村ニ絶ツナドノ風習アリテ聯合ヲ合點セズ斯ル村ニハ是非トモ勉メテ戸長ヲ雇ハザルベカラズ然ルニ其村ノ貢租ヲ盡ストモ戸長ノ月給ニ足ラズ果テハ有レハ補助費ハ是非トモ置カザル可カラズ

十八番（森君）ノ此ノ願出ニ際シ之ヲ削除スルモ
經濟上ヨリ論ズルモ其ノ不適當ナル事ハ素ト戸長ノ性質ヲ半官半民トシテ其給料ヲ地方稅
中ヨリ支給スルガ爲ニ甘老番ノ如ク一村ニ一戸
長ヲ置キ得ル能ハズ終ニ數町村ヲ聯合セシムルニ至ル而シテ其町村ヲ
見レバ名ヲ昔ヨリ獨立シ慣習アルガ爲ニ數村聯合シテ一戸長アル時ハ學校ノ如キ土木
ノ如キ神佛ノ祭禮マデ其一村ヅヽニテハ擔當シ
得ザルガ爲ニ協議費ノ額ヲ增スニ至レリ我ガ縣ノ如キモ戸長給
料ノ一項ニテ殆ンド地方稅ノ三分一ニ超過ス今ヤ之レヲ町村協議費ニ委スレバ其村々
ノ貧富ニ依リテ其ノ人ヲ擇ムノミナラズ文中ニハ給金ヲ與ヘズトモ衆ヲ以テ
モ勤ムベキ即チ或ハ戸長ヲ擇ビ或ハ戸長ヲ擇ビ
ガ財產ヲ持出シテ勤ムル者モアルベシ旁以テ之ヲ削除スルヲ可トス然ルトキハ十七號
議案ニ重大ナル影響ヲ及ボシ其ハ委員ニ托セラレタシト述ブ
甘一番（安場君）ノ本項ヲ削除シテ甘七號議案ノ戸長ノ字ヲ總代ト修正スベシ最モ地方
稅ヨリ除カルヽ協議費ノ殖ユルハ當然ニシテ第十九號布告ノ第一條ノ戸數割ヲ除クベシ是
レ議長同定ノ他ノ條項ニ意義關係ヲ持ツモノニテ何トヤ委員ニ查理セシメタシト述ブ
十九番（松田君）本項削除ニ付キテ戸長ノ半官半民ヲ疊ミ論ハヤト辨ズ
管ヲ即チ政府ノ東京ニ在ルト雖モ實ハ戸長ノ職權上ニ論ハヤト辨ズ
五十四番（龍手田君）ハ改正議ニ賛成シ支給除說ヲ陳ブ
十五番（永山君）ハ改正議ニ賛成ニ付キ削除說ヲ陳ブ

甘一番（安場君）ノ本項削除ニ付キテ戸長ノ半官半民ヲ疊ミ論ハヤト辨ズ
管ヲ即チ政府ノ東京ニ在ルト雖モ實ハ戸長ノ職權上ニ論ハヤト辨ズ
五十四番（龍手田君）ハ改正議ニ賛成シ支給除說ヲ陳ブ
十五番（永山君）ハ改正議ニ賛成ニ付キ削除說ヲ陳ブ
甘一番（安場君）ノ本項削除ニ付キテ戸長ノ半官半民ヲ疊ミ論ハヤト辨ズ
管ヲ即チ政府ノ東京ニ在ルト雖モ實ハ戸長ノ職權上ニ論ハヤト辨ズ
五十四番（龍手田君）ハ改正議ニ賛成シ支給除說ヲ陳ブ
十五番（永山君）ハ改正議ニ賛成ニ付キ削除說ヲ陳ブ

スル場合ニ見做シ今朝委員ノ報告ニ依リ直ニ此議案ヲ開クナリ且ツ委員ノ報告モ全ク原案ト同一ナレハ即チ衆員ニハ本項第二次會ニ見做シテ發議アルヘシ

書記本項ヲ朗讀ス

第六番（野村靖君）原案ヲ可トス蓋シ削除増加ノ議アルハ經濟上ノ便宜ヨリ論ズルモノニシテ之ヲ讀スルニハ先ツ戸長ノ性質ヨリ論下セサルヘカラズ抑モ〳〵戸長ノ性質ハ實ニ法律ニテ半官半民ト定メラレ行政上ノ事務過失ハ官吏懲戒例ニテ處分セラル今マタ其給料ヲ地方税中ヨリ費目ニ掲ケラレンカ倍々其半官タルヲタシカメラレンナリ實ニ町村ノ共同理事ハ一國政治ノ根本ニシテ係ル所重大ナリ寧ロ是ヲ共同理事ト云ンヨリ村吏ト云フヲ適當トス既ニ村政ヲ法律ニテ認メタル以上ハ其主宰者タル戸長ヲ行政官ノ下部ニ屬スルヤ當然ナルノミナラス本員ノ是ヲ奏任トスルモ重大ナル村政ニ對シテ未タ曾テ國ヲ以テ其權主義ヲ適セシ者ト稱讃シ各縣ノ郡長モ奏任ニセサル可ラズトマデニ批論セラレタリ既ニ今度ノ議案甘四號ニ衆庶長ハ其町村會ノ評決ヲ施行シ中止スルノ權ヲ與ヘラレタルニ本案明瞭カナラズヤ依テ原案ハ削除増加ヲ用ヰズシテ尤モ適實ノ者トス

十四番（壌君）ハ前日ノ持説ヲ敷演シテ既ニ我島根縣下ニテモ戸長ノ給料ヲ地方税中ヨリ繰ルヘキ定ナリ以來郡區改正前ニハ其額ヲ減シタリ而シテ其戸長ノ管スル區域ハ大ニ其幅員モ前日ニ倍シ事務モ随ツテ繁劇ナル故ニ多クハ之ヲ厭ヒテ辭退スル村吏ヲ得ント望ミ之ヲ縣廳ニ具申セシヲ内務省ヘ伺出ヅルニ戸長ノ人ヲ得テ町村事務ノ擧ラント切望スル以上ハ地方官ハ戸長ノ給料ヲ是非以テ地方税中ヨリ支給スヘキ旨ヲ命ス得ス是ヲ以テ地方官ハ戸長ノ人ヲ得テ町村事務ノ擧ラント切望スル以上ハ地方税ヲ增ス可ラス再ヒ衆庶日ヲ隔テ更ニ發議アルヘキヲ以テ彼此併セテ觀察アルヘキヲ

以テ戸長以下給料補助費トスヘシ補助費ノ置サル〈ハ戸長給料ヲ地方税ヨリ削除シテ戸長ノ給料ヲ地方税ヨリ支給スヘキ旨ヲ說ク是レ即チ發議ノ主旨ナリ

第七番（安場君）トモニ十四番ヲ贊成シ

甘七番（北垣君）モ前日ニ述シ如ク戸長給料ヲ定メタルニ目安ヲ反別人口ニ取ルハ誠ニ其當ヲ得サルモノアリ假令ヒ戸長ヲ支給セシトテ敢テ行政ノ脈絡ヲ斷絶スルニ至ラサル說ニ彼此ニ同シ

甘八番（野村君）發言人說アリ却下本員ハ說ク固ヨリ試ニ思ヘ戸長ナシテ行政上事務ヲ取行ハシメンカ其勞ニ酬ユルニ協議費ヲ以テ支給スヘシトハ餘リニ虫ノ好キ說ト謂ハサルヲ得ス天下豈ニ己レノ事ヲ行ハシメテ其勞ニ酬ヒサルノ理アランヤ

甘九番（西村君）ハ給料ハ協議費ニテ町村ノ負擔サセ身分ハ行政官ノ方ナリトシテハ然ラハ其第一ノ目的ヲ失ヒ來地方ノ戸長給料幷ニ職務取扱諸費ノ計算比較ヲ取リシニ給料百圓ナレハ諸費四十圓雖モ四六位ニ當ルヲ以テ斯ノ取扱諸費ハ地方税ヨリ除却シタルナリ然ルニ協議費ヨリ支給サセントハ所謂オ爲ゴカシニテ却テ町村協議費ニ干渉スルモノナリ恰モ給料ハ地方税トシ取扱諸費ヲ協議費トシ相當ヲ得ヘシト主張ス

甘九番（關口君）ハ四番ヲ贊成シ

十三番（永山君）ハ昨日ノ如ク却テ審案ヲ可ナリト

甘三番（野村維章君）本員ハドコ迄モ原案贊成者ナルヲ以テ反對說ヲ駁撃セサル可ラス十四番カ僅ニ我任期ノ一般ノ法律ヲ議スルハ議員ノ本分ヲ失

ラモ八十ノ廿七番ハ原案ノ儘ニテハ不平均ナリト云ヘドモ補助費ニテハ却テ不平均ナ
現ハスノ基ナリ之ヲ地方税中ニ存スヘキノ理由ニ付テハ近ク警ンニ昔日ノ手習師匠ノ
如キハ人民ノ景慕尤モ切ニシテ父兄カ子弟誘導ノ労ヲ思ヒ謝礼ノ外ニ物品ヲ
贈ルカ如キ之ヲ待遇スル尤モ優ナリ小學教師ノ即チ昔日ノ手習師匠ナルニ協議費ニテ其
給料ヲ拂ヲカ為ニ多クハ之ヲ出ス能ハス厭ヒ終ニ其教師ハ其支給ノ延引シ或ハ不足ナルヲ
厭ヒ他所ニ轉スルカ如キノ弊害アリ之ニ均シク今ノ戸長モ多クハ公選ニテ其公選ニ
投票セシ者ハ即チ其戸長ニ心服セサル故ニ自然ト協議費ヲ出スヲ嫌フ情實アリ旁
以テ戸長給料ノ地方税中ヨリ支給スルヲ以テ可ナリトスヘシ

廿八番（平山君）ハ十四番ヲ賛成ス

十八番（森君）モ本員ハ本項ノ修正委員ニテ頻リニ削除説ヲ唱ヘシカ他ノ委員ハ原案ヲ
可トスルニ依リ小數ニテ其意見ヲ貫クヲ能ハス故ニ原案ノマヽニテ報告スルニ至レリ
然レトモ前ニ更ニ十四番ヲ賛成スルニ依リ更ニ十四番ヲ賛成ス

廿三番（渡邊君）原案ヲ賛成スト雖モ之ヲ悠久不變ノ者トハ云ヒ難ケレトモ即今ノ日本ノ
程度ニハ尤モ適切ノ事ナリ所謂時ニ從ツテ宜シキヲ制スルトノ法語ニ適ヘリ

卅番（楢崎君）十番（藤村君）原案ヲ賛成ス

十五番（岩村君）ハ十四番ヲ賛成ス

議長曰ク是レヨリ臨時費ノ一項ヲ議セラルヘシ

十番（藤村君）本員ハ二ノ臨時費ハ本項ノ修正説ニ同意ヲ表セシムルニ
過キス數ニテハ十四番ノ修正説ニ決ス

議長曰ク是レヨリ臨時費ノ一項ヲ議セラルヘシ

十番（藤村君）本員ハ二ノ臨時費ハ豫備費ト
正シク云ヘハ豫備費ニ

十九番（松田君）本員モ十番ニ同意ニテ修正説ヲ持セリ併シ十番ノ注解ニテハ何等ニ使用
スルヤ判然セサルヲ以テ本員ハ別ニ左ノ如キ修正説ヲ提出セリ矢張リ十番ノ如キ豫備費トセシ此註記ノ豫
算外云々ノ上ニ豫算ノ不足ヲ補ヒ及ヒ云々ト加ヘタシ其故ハ既ニ上ノ費目ハ互ニ流用
ヲ許スト定メラレタルヲ以テ他ノ一項ニ餘裕アリテ他ノ一項ニ不足アルモ之カ流通スルヲ能ハスシテ仕掛
中ノ仕事モ徒手シテ束閣セサルヲ得ス素ト豫算モ精細ニ立ツルモノナレトモ實際ニ多少ノ出來事アリテ決算ニ至リテ不足アルヲ免レス
雖モ彼此ノ費目ノ流用ヲ以テ之ヲ濟理スルハ實際ニ見積リ難キモノナレハ本案臨時費ハ實ニ豫算ニ不足ナキヲ
今ノ如ク豫備費ト置クノ患モ無カラン歟ト注解ニ各費目豫算ノ不足ヲ補ヒト修
正シ不足ノ字ヲ削リ豫備費ニ置クノ法律アリ議會ニ於テ議決セシ時ニ經濟ノ要點ヲ得ヘキカ

九番（二島君）二十七番（北垣君）十九番ヲ賛成ス

廿番（藤村君）十九番ニ尋ヲタシ天災ノ如キ臨時費モ矢張リ此ノ豫備ノ中トスルカ

十九番（松田君）既ニ豫算外ナレハ是ニテ支辨スヘシ去リナカラ又ハ假リニ接待費ノ如キモ地方税ニ
實ヲ不濟ヲ來タスヘシ又假リニ接待費ノ如キモ地方税ニ
外ナラス去ル安政地震其他ノ豫算外ノ費目ヲ重大ニシテ豫備費ニテ支辨スルヲ
得サルトキハ即チ市ノ篇中ニ號議案ノ法律ニ據リ議會ノ議決ヲ以テ支辨スルノ途アリ

十番（藤村君）ハ即チ本員ノ趣意ト同一ナレハ更ラニ十九番ヲ賛成スト述ベ
十一番（河野君）二番（島君）十六番（大迫君）皆十九番ヲ以テ豫算外ノ費用ヲ補フトセハ仕
三十四番（龍手田君）十九番ノ説ニ反對ス豫備費ヲ以テ過ギル掛念モアリ且ツ府縣會ニ決算ヲ
事モ亦都合ヨキト雖モ豫備ヲ當ニシテ仕事ヲシ過ギル掛念モアリ且ツ府縣會ニ決算ヲ
報告スルニ當リ又計算種々ノ議論ヲ起スノ基ト成シ却ツテ行政官ト議會ノ軋轢ヲ生
ネルヤモ測ラレス豫算ヲ立ツル時ニ念ヲ入ルヨリ強カチニ豫備費ヲ要スルニ至ラスシ
テ支辨シ得ベシ
十九番（松田君）三十四番ノ豫算ヲ見誤マレリ豫算ハ即チ讀ンデ字ノ如シニテ豫メ計算
立ツルヲ云フモノニテ其ノ中ニ物價ノ如キハ尤トモ高低測ラレス爲ニ豫算ニ超過ス
ル事アリシカ是迄ハ互ニ費目中ノ流用アリシ故ニ幸ニ之ヲ塡補スルヲ得タリ然ルニ
今マ流用ヲ許サストノ窮屈ナル豫算ト成リテハ尤モ豫備費ヲ必用ナリトス若シ流用ス
ルヲ得ス又豫備費ヲ生スル時ハ終ニ豫算外ノ豫算中ニ見込下ニ成リ其弊ヤ之ヲ決
算ノ議會ニ報告ヲ輕生スル後ノ結果ニ見ヌノ豫算ヲ議會ニ議スル時ノ起因ニ見ル
ベシ蓋シ豫算外ニ超過スルハ尤トモ物價ノ高低ニ據ルモノ多キヲ前ノ如ク流用ヲ許サ
ルトキハ之ヲ如何トモスル能ハズ爲ニ仕事ヲ拋擲シテ濟理セザルノ不大經濟ヲ現
出スベシ卅四番カ豫備ヲ當ニスノ却テ超過ヲ爲スベシト掛念スレハ府知
事縣會ヲ瞞着モ又議會モ無用ノ贅物ト云ハルヲ得ズ誠ニ謂レナキ掛念ニハ非ルカ
卅四番（龍手田君）十九番ノ辨明ニテ能ク解セリ更ニ十九番ヲ賛成ス（小ク論ズル時ハ用ヲ可也ト雖臨時費ノ目ヲ爰
ニ立ツルノ極意照流各病ヲ豫防濟興地參裏書等ニ費用ヲ要スル時ハ豫算中ニ於テ
ヲ得ルモノナラス
廿九番（關口君）ハ十九番ノ說ノ如ク物價ノ高低ヲ測ラレズトノ趣意ヲ述ベテ十九番ヲ
賛成ス

番外二番（西村君）物價ノ非常ニ騰貴セシ時變ニテ暫ハ被服ノ如キモ羅紗ノ價格
外ニ騰貴シテ豫算ノ額以テ之ニ充ル足ラザレハ臨時費ニテ支辨シ得ベシ
十九番（松田君）只今番外二番ノ說明ニテ却テ疑ヲ生ゼリ番外ハ物價ノ騰貴モ時變ナリ
ヲ辨セテルレハ本圖ノ明見ハ大ニ之ト異ナリ抑モ豫算ヲ立ツルニ其中ニ見込ム所ノ物
品ノ價ハ其豫算ヲ立ツルノ時ノ相場ニ準據スルモノナラデ一年度ノ物價ヲ平均シテノ
通算ナレハ相場ノ騰貴ヲ目シテ豫算外ヨリ見做スハ萬々ナキ理ナリト思ヘル
議長ハ漸ク發議ノ盡ルヲ見テ先ツ十九番ノ修正說ニ同意ヲ表セシムルニ
賛成スル者ハ起立スヘキヲ告ケ
全會總起立ニ付キ終ニ可決ス
時已ニ午後五時五十分ナレハ議長ハ衆員ニ諮リ退散セシメラル
（退散ノ前ニ卅一番（安場君）ヨリ戶長以下給料ヲ協議費ニ任セハ全國ニテ四百万圓餘
即チ（全國ニテ地方稅中ヨリ支出セシ戶長ノ給料臨務取扱費ノ高）ヲ人民ノ負擔トスル
理ナレハ一昨年第十九號布告ノ第三項ナル戶數割ヲ全ク除キ以テ協議費ニ緩ニテ付ク
ベキ意見ヲ是ハ議長伺定ノ他ノ條項ニ權衡ヲ持ツ建議ナリ之ヲ爰ニテ陳述シタシト
其許可ヲ乞ハレンカ議長ハ戶長給料以下ノ項ヲ議スル第二次會ニ述ベラルベシト示サ

外ノ達ニテ慣行アル分ハ之ニ隨フヘシトノ達シニテ變則ヲ示サレタリ併シコノ達ハ別段ノ法律ニアラズ法律ニアラザル故ニ地方ニテハ協議費ノ分モ此達ニ據リテ變則ノ處分ヲ願出ルト雖モ法律ニ非レハ疏明ヲ辨明モ出來ザリシ故政府ニテ其邊ノ患アルヲ慮リ今度法律ニテ認メラレシナリ然レハ之ヲ修正シテ河港道路堤防橋梁ノ支辨ハ地方稅協議費ノ別ナク府縣會ニ附スルノ意味ニ修正スヘシ尤モ其字句ノ如キハ修正委員ニ付托シテ査理セシムヘシ廿七番カ之ヲ法律ニ掲ケテハ土木ノ改良カ因循苟且ニ流ルヘシトノ主張セシモ一應ハ尤モナレド其ハ一朝一夕ニ斟取ルヘキ事ナラチハ其間隙ニテモコノ朱書ニテ地方實際ノ便宜ヲ謀ルヲ可トスヘシ

十九番（松田君）本員モ廿七番ト同ク感覺ヲ持テリサル感覺ヲ持ガ故ニ本條ニ修正セサル可ラス蓋シ廿七番カ河港道路支辨ノ事ハ地方稅カ町村協議費カ一個一人カノ三ツノ負擔ニ分ツヘキカ至當ナルニ今コノ法律ヲ掲ケテハ其目的ノ達スル日ヤカル可ラズ號外達ノ姑ク字ニ着眼スヘシトハ一理アル說ナレドモ之ニ同意シ能ハザル所以ハ元來達ニハ法律ノ趣意ヲ行フ事柄ニ付テノ順序ヲ示セシモノニテ發ニ明ラカニ法律ヲ掲ケシ以上ハ達ニテ處分スヘカラズ既ニ本員モ我國ノ河港土木ノ事ハ何レノ日ニ改良シ得ヘキカ明治十三年度カハ何トヤラ一定ノ法律ニ據リテ各地方一般ニ施行シタキモノト思ヒ曾テ其調査委員ノ一人トナリテ査理セシニ種々ノ情實アリテ之ヲ畫一ニセントスルハ恰モ小地租改正トモ申ヘキ程ノ大事ニテ之ヲ畫一ニスレハ獨リ水利ノ一ノミナラズ他ニモ管係スル事少カラズ若シ疎漏ノ調査ヲナシテ容易ニ之ヲ實施スル時ハ言フヘカラザルノ不都合ヲ來スヘシサレハ此調査ノ完全ヲ期シテ施行スルハ其イツレノ日ニ在ルカヲ期ス可ラズ故ニ今度此法律ヲ發ニ掲ケ其融通ヲ付ケラレシ者ニテ實ハ不得

レヤニ付キ卅一番ニ之ヲ領承シテ退ク

二月廿日午前十時十五分開議

欠席ハ四番（白根君）、十三番（永山君）、廿二番（山吉君）、廿五番（楫取君）

議長曰ク是ヨリ昨日ニ引續キタル第十二號議案ノ二次會ヲ開クヘシ書記コレヲ朗讀スヘシ其故ハ河港道路建築修繕ノ事ハ素ト大ニ改良スヘキナレドモ何分ニモ十朝一夕ニ行ヒ去リトテ其改良ノ日ヲ待チテハイツトモ限リナケレハ去年二月廿七日ノ大政大臣ヨリ姑ク其地方ノ慣行ニ據リテ施行スルヲ得セシメテレタリ此姑ク ノ字ハ尤モ着眼スヘキノ字ニテ到底河港道路ノ事ハ改良シテ一定セサル可ラサルノ理ナレド其ヲ待ツヘキニアラチハ其間ダ此達ニテ行フヘシトノ趣意ナリ然ルニアラチハ河港土木ヲ制メ一定ハ實ニ遲ヤシテ其改良ノ進路ヲ妨ケ此法律ニ誘シテ願ミル以上ハ爲ニ改良ノ日ヲ待チテハイツトモ限リナケレハ去年二月廿七日ノ大政大臣ヨリ姑ク其地方ノ慣行ニ據リテ施行スルヲ得セシメテレタリ此姑ク ノ字ニテ到底河港道路ノ事ハ改良シテ一定セサル可ラサルノ理ナレド其ヲ待ツヘキニアラチハ其間ダ此達ニテ行フヘシトノ趣意ナリ然ルニアラチハ河港土木ヲ制メ一定ハ實ニ遲ヤシテ其改良ノ進路ヲ妨ケ此法律ニ誘シテ願ミル以上ハ爲ニ

已ニ出シ者ナルヘシ若シ他日コノ事ノ完備セシ上ハ此法律ヲ削リテモ可ナリ又改良ノ時來ラハ此法律ハ自然ニ其力ヲ失ヒテ消滅スルハ言ヲ待タズ抑モ此案書ノ字句ナル舊慣ニ仍ルヲ得ノ字ハ舊慣ニ仍リ出來ルハ仍リ出來スハ仍ラズトモ能キ意味ニテ舊慣ニ仍ル可シト云フトハ其意義大ニ違ヘリ即チ本員カ修正ノ意味ハ之ニ反對スル趣意ニテ元ト此條ハ河港道路ノ支辨ハ地方稅ニテ支辨スベキノ性質ナレ共慣行アリテ正則ノ如ク支辨ノ出來スハ舊慣ニ仍ルヘシトノ變則ナリ然ルニ地方稅ニテ支辨スベキ範圍外ニテ元來其建築修繕ハ一郡又ハ數郡ノ負擔スベキヲナレドモ其土木タル直接ヨリ見ル時ハ其一郡又ハ數郡ノ利害ニ管スレド之ヲ捨テ置ク時ハ間接ニ一地方ノ利害ニ管スベキ程ノ事ニテ不得已者ハ之ヲ議會ニ附シ其決議ヲ以テ補助スルヲ得ルトノ趣意ニテ修正シタル此等ノ土木ハ封建時代ノ養水或ハ波除ノ如キ者ニテ其利害ハ一郡又ハ數郡ニ被ムルナレド間接ニ其利害ヲ一地方ニ及ホス故ニ昔日ハ藩費ニテ補助シ來レル者是ナリ尤モ字句ニ至リテハ修正委員ニ付托シテ查理セシムヘシト十四番（境君）廿八番（平山君）コレヲ賛成セシニ付キ議長ハ十九番ノ修正說ヲ以テ議題ト爲ス

（以下六号）

明治十三年二月七日出版御届
同　二月廿七日出版
出版人兼編輯　小笠原美治
東京神田五軒町十八番地弘令社
【定價金三錢】府外運送稅壹錢

明治十三年二月　第六號
一書中重要ノ論說ハ會議日誌ノ後ニ載ス
一會中重要ノ會議ハ會議日誌ノ後ニ載ス

地方官會議傍聽錄

東京神田區神田五軒町十八番地
弘令社發兌

例言

一地方官會議ノ顚末ハ既ニ各社新聞紙ニ掲載シ世ノ人亦既ニ其詳細ヲ知了セリ然リト雖新聞紙ノ連日ニ散出スルハ特リ一時通覧ノ便ヲ欠クノミナラス或ハ他日散逸ノ患アリ隨テ又掌中提携ノ便ナシ是此冊ノ編輯アル所以

一此書ハ明治十三年二月五日會議開場ノ日ニ起リ三日毎ニ一冊ヲ刊行シ閉會ニ至ル迄全部十冊ヲ以テ完結スヘシ

一書中重複ヲ厭ハス會議日誌ヲ併輯スルハ參考ノ爲メナリ

一此書ノ冒頭ニ會議ニ係ル諸布達及伺指令ヲ登錄スルモ亦參考ノ爲メナリ

冊一番（安場君）ハ甲十九番ヲ贊成シ十八番（森君）モ先ニ修正說ヲ提出シタレド其精神ハ十九番ノ說ノ所ト同一ナレハ敢メテ十九番ヲ贊成ス

六番（熊野君）マタ十九番ヲ贊成ス

是トキ番外二番（西村君）ハ十九番ノ修正說ニテ協議費ノ分モ議會ニ附シ地方稅ニテ支辨スル時ハ却テ慣行ヲ破リ去年二月廿七日ノ達シヲ打ツヅス者ナリ是ヲ一々議會ニテ議決セシムレハ其ニ郡數郡ノ爲ニ地方稅ヲ負擔サセラルヽ側ニ苦情起ルヘシト駁シ十九番（松田君）ハ之ニ答ヘテ昨年ノ太政大臣ノ達シハ協議費ニテ支辨スル事モ地方稅ニテ支辨スル事モ共ニ慣行アル分ハ夫ニ準據セシメラルヽヲレド此朱書ハ其半分ニテ地方稅ニテ支辨スル分ノミヲ慣行ニ從フ事得ト揭ケシナレハ此律ニテハ協議費ニテ支辨スルノ慣行ニ不適當アリトモ地方稅ヲテ支辨スル分出來ル故ニ之ヲ修正シテ舊慣ニテモ其不善アルヲ見出サハ之ヲ協議費ニテ支辨スルヲ止メ議會ニ附シテ地方稅ニテ支辨スルヲ得トナスヘシ要スルニ本條ハ地方稅ニテ支辨スルノ反對ニテ本員ノ修正ハマヽ此反對ニ出ヅヽ假令ヒ協議費ニテ支辨スルモ一地方ニ利害アレハ議會ニ決テ地方稅ニテ支辨スルヲ得ルトノ融通ヲ附クル趣意ナリト陳ス

一番（島番）ハ此朱書增加ヲ削除シテ一昨年第十九號布告中第三條第三項ノ河港道路云々ノ所ニ但書ヲ加ヘ但シ地方稅ヲ以テ支辨スヘキト支辨スヘカラサルノ區分ハ府縣會

ノ決議ニ據ルト修正スヘシ

五番（松平君）廿九番（關口君）十九番ヲ贊成ス

十二番（槇村君）十番（藤村君）ハ原案ヲ贊成シ

廿一番（西村君）ハ廿七番ヲ贊成ス

廿三番（渡邊君）本員ハ原案贊成者タリ十九番ノ説ハ一ヲ附ルト云フハ望蜀ノ欲ト云フヘク蓋シ飯地方税ニテ支辨スヘキト定メラレハシタレキ程ノ勢力ヲ有スルカ故ニ其正則ヲ變シテ爰ニ蝸通ヲ附ケラレシナリ十九番ノ説ハ一寸聞ケハ都合ノ好キ樣ナル論旨ナレトモ其弊實ニ測ラレズ是レ濁醪ヲ以テ人ヲ醉迷セシムルモノナリ其贊事タル雀角トモ云フヘキカ又タ廿七番ノ削除説モ大間違ナリ昨年二月廿七日ノ號外達ハ縣廳ヘタノミノ達ニテ書局者ノ心得ヲタナリ人民ハ之ヲ知ラズ今ヤ天下公衆ニ知ラシメントテ此法律ヲ布告セラレシニ削除シタ達ニ事足ルトハ甚タ謂レナシ姑ク之ヲ字義論ニテ書生ノ空談ト云フヘシ原案ニテ毫モ不可ナキヲ信ス

時ニ正午十二時ヲ過ク議長ハ衆員ヲシテ退散セシメタリ

二月廿日午後一時五分開議（午前ノ續キ）

議長曰ク午前ヨリ引續キタル會議ヲ開クヘシ

廿七番（北垣君）午前ニモ陳述セシ如ク本員ハ飽ク迄モ削除説ナリ十九番ハ畢竟スルニ

衆員賛同者ノ精神ナレハコソ增加ノ修正説モ出ルナレ然レドモ夫等ノ事ハ昨年二月廿七日號外達ニ據ラレ然ル處差支ナシ廿二番ハ本員ノ姑クノ字ニ意味アリシト云フヲ駁シ書生ノ空論ナリト云ヒ本員ノ如キハ百千歳マデ生キテモ書生算ヲ捨テサルヘシ假令ヒ書生論ニモセヨ衆議論ニモセヨ決シテ架空ノ議ナラズ既ニ彼ノ號外達ヲ頒布セラルヽ當ヲ斟酌省察ニヤ及ヒ姑ノ字ハ餘ホド意ヲ用ヒシナリト聞クリ試ニ看ヨ全國ノ河港等悉ク維新前ハ容赦ニテ土木ノ制モ備ハリ修繕建築ノ法一定ノ居ルニ其制廢セシヨリ河港ノ荒廢甚シク之ヲ維新前ニ比較スレハ盛衰ノ別一目シテ知ルヘシ故ニ曰ク慣ルヽハ寧ロ削除シテ一日モ早ク土木ノ制ヲ改良セラルヽヲ希望スルノ若カズトニ番（富岡君）一番ヲ贊成ス

廿六番（野村君）十九番ヲ贊成ス

卅番（龍池君）廿七番ノ削除説ニ同意ヲ表セシムルニ

議長説明セラルヽヲ以テ先ツ廿七番ノ削除説ヲ贊成ノ諸員ハ擧手アリタキ旨ヲ告ケ擧手ヲ檢スルニ

擧手ノ人員ハ少數ニ付キ否決セラル

次ニ書記ヲシテ修正説ヲ朗讀セシム

議長曰ク起立ノ人員ハ少數ナレヤ

乃チ原案贊成ノ諸員ヲ擧手セシムルニ十四人

議長ハ直ニ擧手ノ數ヲ檢シテ原案モ過半數ニ滿タサルヲ消滅セシヲ告ケ

次ニ第三次會ヲ開クヘキカト衆議ニ問ヒシニ

決ス（第十三號議案ノ第二次會ヲ開カル別ニ動議ナクテ本案ニ
起立スルモノ廿八人過半數ニテ之ヲ決シ第三次會ヲ開クベキコト決セリ
議長曰ク是ニ於テ第十四號議案第二次會ヲ開クベシ
卅三番（野村維章君）第十二號議案ノ臨時費ヲ豫備費ト修正スルニ決セシカラハ本條ノ
割註ノ臨時費モ豫備費トスベク又タ本條ノ第四條トアルハ誤リナルベシ十九號ノ第四
條ニ於ケル準據スベキ樣ナシ
三番（富岡君）第四條ハ何サマ卅三番ノ說ノ如ク誤リナルヘシ依テ本員ハ上ノ臨時費ハ
十二號議案ノ修正ニ從ヒ豫備費トナシ又タ本條中其府縣會ノ議決ヲ取リ內務卿及大
藏卿ニ報告スルヲ「ルヨリ」從フ」迄ノ十一字ヲ削除スヘシト述フ
卅三番（石田君）六番（熊野君）ニ番ヲ贊成ス
廿七番（北垣君）モ修正說ヲ提出セシガ贊成ナクシテ議題トナラス
議長ハ別ニ異議ナキヲ見テ先ツ二番ノ修正說ニ起立セシムルニ十四人現在議員（事故
アリテ缺席ノ議員三名アリ）ノ過半數ナレハ之ニ決シ第二次會モ開クヘキコト決ス
議長引續キ第十五號議案ノ三次會ヲ開カル
廿一番（西村君）ハ本條前年度ノ豫算額トアルヲ修正シテ該年度ト爲スヘシ前年度ニテ
ハ物價ノ高低或ハ事務ノ都合ニテ增減アルベケレハ實際ニ差支ユヘシト述ヘラレシガ
別ニ贊成者ナク

議長ハ本案ニ
起立セシムルニ廿五人過半數ニ依リテ本案ニ確定ス
次ニ第十六號議案ノ第二次會ヲ開カル
是ニハ動議モ無ク本案ニ
起立スル者廿四人
夫ニテ本案ニ確定ス
第十八號議案ノ第一次會ヲ開カレシニ總体ニハ意見ナクテ直ニ第二次會ヲ開クヘキニ決シ次ニ第十九號議案ノ第一次會ヲ開クヘキニ決ス
議長ハ續キテ第十八號議案ノ第二次會ヲ開クヘシト述ヘ書記第一條ヲ朗讀ス
二十六番（野村君）ハ此金額ノ制限ヲ除キ營業稅分ヲ二類トス其目左ノ如シト修正シ
但國稅云々ハ削除スヘシト述ヘ
十番（藤村君）ハ廿六番ノ修正說ニテハ國稅アル者ニモ營業稅ヲ課スルニ當リテ制限ナク二重ニナリ又類ヲモ存スルヲ說ナシハ本員ハ同ク說ナシ但國稅アル者ハ其半額ヲ賦課スルヲ得ト修正スヘシ商業ノ景狀ハ都鄙冷熱ノ別アリテ一樣ナラヌハ類ヲ分ケ金額ヲ限リテハ實ニ不平均ヲ生ズルノ基ナリ隨分ト地方ニヨリテ制限ヲ上ニ課シテモ不都合ナキ商業アルト制限ノ爲ニ賦課スルヲ得ズ爲ニ戶數割ヲ增スヤアリ今マデノ類ト制限ヲ解カハ各地方ノ實施上ニ適應ノ賦課ヲ得ヘシト信

ズ又ハ地方議會ハ議員ノ農ヨリ出ル者多キガ爲ニ自然ト營業稅ヲ偏重ニスルノ患アルヘシナドノ掛念アルヘケレド正カニ議會ハサル不公平ノ議論ヲ爲スヘカラズ又地方官モ偏頗ノ課稅ヲ施スヘキ理モ無ケレバ旁以テ前述ノ如ク修正アランコトヲ希望ス

六番(熊野君)十七番(山田君)トモニ十番ヲ贊成ス

卅四番(籠手田君)ハ削除モ國稅アル者ニ課スルモ共ニ不可ナリトシ

十六番(大迫君)モ營業稅ニ一定ノ制限ナキヤ時ハ人民ノ藥ニ發シセス大ニ人氣ニサシ障ルヘシトテ原案ヲ贊成シ

十二番(槇村君)十番ノ說ノ類ト制限ヲ削ルハ不可ナリ但シ國稅アル者ニ半額迄ヲ課スルハ可シ地租ヲヘ五分ノ一ヲ取ルナラズヤトノ說ヲ述ヘ

八番(原君)卅三番(野村君)十二番ヲ贊成ス

廿九番(關口君)制限ナキモ又ク國稅アルモノニ半額ヲ課スルモ共ニ不可ナリ要スルニ課稅ノ事ハ人民ノ休戚ニ管スル大事ナレバ能ク過去將來ヲ考按シテ之ガ規程ヲ定メザルヲ可ラズ故ニ本案ハ相當ノ委員ヲ選ミテ篤ト査理セシメ然ル後ニ議場ニテ審議アランコトヲ希望スル旨ヲ議長ニ建議ス

議長ハ廿九番ノ建議ヲ採用シ本案ニ付テハ議論モ種〻ニ分レテ締着スル所ヲ知ラズ大ニ纏マリヲ付クル時ニ掛念アリ依テ議長ハ議事規則卅六條ニ依リ廿九番ノ建議ヲ採用シマタ次ノ十九號議案モ本案ニ連帶スヘキモノナレバ是ハ議長ガ見込ニテ兩案トモ委員ニ付托シテ査理セシムヘシト思考セリ依テ兩案ヲ委員ニ付托スルニ同意ヲ表セラルヘシト述ラレ起立ニ決シ廿五人依テ議長ハ委員一致ノ許可ヲ得テ滿足セリトテ直ニ十二番(槇村君)十九番(松田君)廿七番(北垣君)廿九番(籠手田君)ノ七名ヲ調査委員ニ命シ該委員ニ於テ第二十第廿一號議案ノ第一次會ヲ開カレンコトヲ希望ス

會ヲ開クヘキニ決ス

議長ハ依テ先ツ第廿號議案ノ第二次會ヲ開カレシニ廿七番(北垣君)ヨリ本案即チ廿號議案ヨリ廿三號議案迄ハ共ニ第三十九號布告ノ增加改正等ニテ矢張リ十八十九號ノ兩議案ト意義權衡アレバ併セテ只今選定セラレタル委員ニ付托シ調査ノウヘ會議ニ附セラレタシト建議セシニ之ニ贊成オホケレバ議長ハ其附托スヘキカ否ヲ衆議ニ問ヒシニ總起立ナレバ終ニ前ノ委員ニ付托スヘキニ決シテ衆員ヲ退散セシメラル時ニ午後四時三十分ナリキ

地方官會議日誌第十號

二月十九日　午後第一時二十分開議

議員三十二人　欠席　三番　四番　二十番　二十二番　二十五番　三十二番

七番議員ハ公務ニヨリ議長ノ許可ヲ得テ午後二時退出ス

○

第十二號議案第二次會(昨日之續キ)

議長ハ昨日委員ニ付シタル第三項(戶長以下給料以上費目ヽ)其報告ニヨリ過刻頒付シ

タル議案ハ全ク原文ノ通ニシテ且至急ヲ要スルニ付只今再ヒ第二次會ヲ開クベキ旨ヲ陳告ス

審議ノ後十四番議員ノ戸長以下給料補助費ヲ修正スヘシト云フ說ニ同意者ニ起立セシム

起立者　十七人　過半數ナルヲ以テ可決ス

第四項　臨時費

審議ノ後十九番議員ノ豫備費（豫算ノ不足ヲ補ヒ及ヒ豫算外ニ生シタル費用ニ充ツヘキモノヲ云）ヲ修正スヘシト云フ說ニ同意者ニ起立セシム

起立者　全員　修正ニ可決ス

地方官會議日誌第十一號

二月二十日　午前第十時二十分開議　午後四時三十分退散

議員三十一人　欠席　四番　九番　十二番　十三番　二十番　二十二番　二十五番

○

第十二號議案第二次會（昨日之續キ）

第五項　河港道路

審議ノ後二十七番議員ノ本項削除ノ說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　十八人　少數ナルヲ以テ消滅トス

又十九番議員ノ本項ハ委員ニ付シ地方稅ヲ以テ支辨スヘキモノニ非スト雖モ府縣會ノ決議ヲ經テ地方稅ヲ以テ補助スルヲ得ト云フノ主意ヲ以テ一項ヲ增加スヘシトノ說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　十二人　少數ナルヲ以テ消滅トス

又本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　十四人　少數ナルヲ以テ消滅トス

因テ本案消滅ニ決ス

又本案ノ爲メ第三次會ヲ開クニ決ス

起立者　全員　乃チ第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

○

第十三號議案第二次會

異議ナキヲ以テ本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十八人

又本案ノ爲メ第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員　乃チ第三次會ヲ開クニ決ス

第十四號議案第二次會

審議ノ後二番議員ノ本條中ルハ第四條ノ順序ニ從フノ十一字ヲ削リ註ノ臨時ノ二字ヲ豫備ニ改ムヘシト云フ說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　十四人

過半數ナルヲ以テ可決ス

（注意）此時現ニ著席シタルモノ二十七八人ナリ故ニ過半數トナル

又本案ヲ爲メ第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員

乃チ第三次會ヲ開クニ決ス

本案第十五號議案第三次會

異議ナキヲ以テ本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十五人　過半數ナルヲ以テ本案ニ決定ス

第十六號議案第三次會

異議ナキヲ以テ本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　全員　乃チ本案ニ決定ス

第廿八號議案第一次會

異議ナキヲ以テ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員　乃チ第二次會ヲ開クニ決ス

○

第十八號議案第二次會

審議ノ後議長ハ規則第三十六條ニ依リ十八號及ヒ十九號議案ヲ委員ニ付シテ修正セシムヘシト云フ意見ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　全員

乃チ委員ニ付スルニ決ス因テ議長ニ於テ委員ヲ選ミテ陳告ス

委員　七人

十番　十二番　十九番　廿七番　廿九番　三十一番　三十四番

○

第二十號議案第一次會

異議ナキヲ以テ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

異議ナキヲ以テ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　二十八人　過半數ナルヲ以テ第二次會ヲ開クニ決ス

第十九號議案第一次會

異議ナキヲ以テ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員　乃チ第二次會ヲ開クニ決ス

起立者　全員

○

第二十一號議案第一次會

異議ナキヲ以テ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　二十五人　過半數ナルヲ以テ第二次會ヲ開クコト決ス

○

第二十號議案第二次會

審議ノ後二十七番議員ノ本案ハ第十三號議案マテ悉ク第十八號第十九號兩議案ノ修正委員ニ付スヘシト云フ說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　乃チ委員ニ付スルコト決ス

二月廿二日午前第十時廿分開議

出席者　一番（島君）ヨリ九番（三島君）ニ廿五番（楫取君）ヨリ卅番（楢崎君）

議長曰ク先ニ第廿號議案ハ第三次會ニ於テ委員ニ付托シテ查理セシメシコト今ソノ報告アリ依テ同案ヲ議室次會ヲ開クヘシト述テ書記修正案ヲ朗讀ス其字句ハ

府縣會ハ議員ノ招集ニ應セス又ハ事故ヲ告ズメ參會セザル者ヲ審查シ其退職者タルヲ決スルヲ得ルノ時ハ議員ノ告暇ヲ允許スルヲ得及ヒノ十四字ヲ削除シタル

番外一番（今村君）修正委員ノ辨明ヲ乞ヒタシト述フ

十九番（松田君）番外ノ需ニ應シテ辨スヘシ抑モ〳〵最前下附ノ本案ニ議員ノ告暇ヲ允許スルトノ事ヲ不可トスルノ說アリテ本員モ爲ニ一項ヲ加ヘテ辭職告暇ヲ議長ニ允許セシムルノ修正案ヲ提出セシカ素ト其本意タル議會ニテ議員ノ辭職告暇ヲ允許スルヲ嫌フカ爲ニシテ實ハ不得已ノ出ニ出テ增加セリ故ニ修正委員中ニテ種々討論セシ後チ辭職告暇ハ矢張リ是迄テ郡區長ニ申告シ郡區長ヨリ府知事縣令ニ報告シ來リタレハ別ニ法律ニ揭ケルニ非及ハズ又タ其事チ法律ニ示ストモ本條ハ議員ノ其義務チ空タスル權利上ノ處分チ揭ケシナレハ辭職告暇チ爰ヘ入ルトハ不都合ナリトノ議ニ決シ如斯ク修正シタリトノ旨ヲ辨明ス

議長ハ別ニ異議ナキヲ見テ本案ニ同意ヲ表セシムルニ

起立　廿一人　過半數ニテ本案ニ確定セリ

次ニ第十三號議案ノ第三次會ヲ開カル是モ別ニ說ナク本案ニ同意ヲ表セシムルニ

總起立セテ之ニ確定ス

議長曰ク是ヨリ過日委員ニ付托セシ第廿四號議案第一條第二條第三條ヲ議スヘシ最モ第三次會ノ必得ヲ以テ議セラルヘシトテ書記修正案ヲ朗讀ス

修正案ハ即チ第一條區町村會ハ其區町村ノ公共ニ管スル事件及ヒ其徵收支出ノ方法ヲ議定スルノ一條ヲ增シ即チ其以下ハ二條ガ三條ト成リ準シテ舊案ノ六條ガ第七條ト成リシノミニテ字句ノ相違ハ無シ

第一條第二條第三條トモニ過半數ニテ原案ニ決セリ

議長ハ規則ニ據リテ直ニ廿四號議案ノ第三次會ヲ開カル

卅四番(籠手田君)ハ第二次會ニテ述ラレシ郡會ヲ起スベキ說ヲ主張セラレシガ他ニ贊成ナクシテ消滅シ

十二番(槇村君)ガ第八條ヲ加ヘテ第二條第三條ノ集會ニ應ゼザル區町村アル件ハ府知事縣令之ヲ府縣會ニ附シ其決スル所ヲ以テ定ムル可シ若シ開會ヲ待ツ可ラザル件ハ府知事縣令之ヲ決定スルヲ得ト修正シタシトノ說ニ二三ノ贊成者アリシガ

廿九番(關口君)ガ再ビ水利土功ノ集會無カル可ラスト第二次會ノ說ヲ再演シ再ビ委員ヲ撰ミテ査理セシムヘシトノ說ニ數名ノ贊成者アリテ

十二番(槇村君)モ廿九番ノ說ノ行ハルヽヲ以上ハ本員ノ增加モ自ラ行ハルヘシト述ヘテ前說ヲ取消シ廿九番ヲ贊成ス

乃チ議長ハ廿九番ノ水利土功ノ集會即チ舊案ノ七條以下ヲ委員ニ付托スルニ同意ヲ表セシムルニ

起立　二十九人ニテ之ニ決ス

時ニ正午十二時議長ハ本日ハ明日ノ御臨幸ニ付キ夫々ノ御用モアレバ爰ニ議事ヲ止ムル旨ヲ告ゲテ衆員ヲ退散セシメラル

地方官會議日誌第十二號

丙閣下ヨリ下ケ又ノ議案

備荒儲蓄法別紙ノ通相定候條來ル十三年度(本年七月一日)ヨリ施行スヘシ此旨布告候事

但明治八年(七月)第百三十二號達窮民一時救助規則及同十年(九月)第六十二號布告凶歉租稅延納規則ハ本文施行ノ期日ヨリ廢止トス

(朱)別紙

備荒儲蓄法

第一條　備荒儲蓄金ハ非常ノ凶荒不慮ノ災害ニ罹リタル窮民ニ食料、小屋掛料、農具、種穀ヲ給シ又罹災ノ爲メ地租ヲ納メル能ハサル者ノ租額ヲ補助スル者トス

第二條　各府縣ハ土地ヲ有スル人民ヨリ地租ノ幾分ニ當ル金額ヲ公儲セシメ以テ儲蓄金ヲ設ク可シ但各人ヨリ公儲スルノ割合ハ府縣會ノ議決ヲ以テ之ヲ定メ其總額ハ政府ヨリ配付スル金額ヨリ少カラサルヲ要ス

第三條　政府ハ毎歳百二十萬圓ヲ支出シテ儲蓄金ヲ補助スヘシ

第四條　政府ヨリ助補スル金額ノ內三十萬圓ハ中央儲蓄金トシテ大藏卿之ヲ管掌シ九十萬圓ハ各府縣ノ地租額ニ應シテ之ヲ配付スヘシ

第五條　府縣儲蓄金ヲ徵收シ管守シ支給シ及ヒ之ヲ一處ニ集儲シ數處ニ分儲シ或ハ米穀ヲ購入スルノ方法ハ府縣會之ヲ議決シ內務大藏兩卿ノ許可ヲ得テ府知事縣令之ヲ施行スヘシ但シ購入儲蓄スル米穀ハ儲蓄金ノ半額ヲ超ユヘカラス又儲蓄金ハ之ヲ公

債證書ニ交換シ置クヘシ

第六條　府縣會ニ於テ議決スル儲蓄金支給ノ方法ハ左ノ制限ヲ超ユヘカラス

第一　食料ヲ給スルハ罹災ノ爲メ自ラ生存スル能ハサル者ニ限ル其日數ハ三十日以内トス又同上ノ窮民ニ小屋掛料ヲ給スルハ一戸五圓農具種穀ヲ給スルハ一戸十圓以内トス

第二　地租ヲ補助スルハ罹災ノ爲メ土地家屋ヲ賣却スルニアラサレハ地租ヲ納ムル能ハサル者ニ限ル

第七條　各府縣窮民ノ救助地租ノ補助ニハ府縣儲蓄金ヲ供用シ其不足ナル時ハ府知事縣令ノ具申ニ依リ内務大臣兩卿ノ協議ヲ以テ中央儲蓄金ヨリ之ヲ補助スヘシ

第八條　從前人民公儲ノ儲蓄金アル府縣郡區町村ハ之ヲ以テ今般施行スル所ノ備荒儲蓄金ニ補充スルコトヲ得

第九條　各府縣内儲蓄金ノ出納ハ大藏卿歲次或ハ臨時ニ之ヲ檢查スヘシ

第十條　府知事縣令ハ毎年或ハ毎半年ニ其府縣儲蓄金ノ出納ヲ内務大藏兩卿ニ報告シ兩卿ハ毎年中央及ヒ府縣儲蓄金ノ出納ヲ查覈ニ公布スヘシ

第十一條　此方法ハ二十ケ年間施行スル者トス滿期ノ後ニ至リ各府縣ニ存在スル儲蓄金ハ府縣會ノ議決ヲ以テ之ヲ處置スヘシ

二月廿一日小倉議ヲ開キ幹事長議長トナリ議案ヲ質問シ内閣委員之ニ答辨ス

地方官會議日誌第十三號

二月廿二日　午前第十時十七分開議

議員三十四人　欠席一番　九番　廿五番　三十番

○第六號議案第五次會ニ

異議ナキヲ以テ本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　三十一人　過半數ナルヲ以テ本案ニ決定ス

○

第十三號議案第三次會ニ

異議ナキヲ以テ本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　全員　乃チ本案ニ決定ス

○

第廿四號議案第一第二第三條（委員報告）第二次會

第一條　區町村會ハ其區町村ノ公共ニ關スル事件及ヒ其經費ノ支出徴收方法ヲ議定ス

增　加

審議ノ後本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　三十一人　過半數ナルヲ以テ可決ス

第二條　原第一條ヲ通

正午第十二時退散

審議ノ後三十一番議員ノ區町村會ハ新ニ規則ヲ設クルトモ又ハ寄合相談ノ如キ從來ノ慣行ニ從フトモ其區町村ノ便宜ニ任スト雖モ必ス府知事縣令ノ認可ヲ得ヘシト修正ス

起立者　四人

又本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十八人　過半數ナルヲ以テ消滅トス

第三條　原第二條ノ通

異議サキヲ以テ本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　三十二人　過半數ナルヲ以テ可決ス

○

第廿四號議案第三次會

審議ノ後廿九番議員ノ前會ニ於テ消滅シタル舊第七條已下ヲ委員ニ付シテ修正スヘシト云フ說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十九人　過半數ナルヲ以テ可決ス

地方官會議日誌第十四號

二月二十三日　午前第十時四十分開議　午後第五時十分退散

議員三十五人　出席　一番　二十四番　二十五番

聖上親臨議事ヲ宸聽シ給フニヨリ議長席ヲ斜ニ左ニ避ク

○

號外議案（備荒儲蓄法）第一次會

審議ノ後本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員　乃チ第二次會ヲ開クニ決ス

○

號外議案（備荒儲蓄法）第二次會

布告案　前文

審議ノ後二十三番議員ノ委員ニ付シ都鄙ヲ分ツハ十九番ノ說ノ如クシ日施行期日モ本案ノ通リ施行シ得ヘカラサル府縣ノ爲メ別ニ其期日ヲ定ムヘシト云フ說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　四人　少數ナルヲ以テ消滅トス

又卅番議員ノ委員ニ付シ延納期日廢止ノ期日ヲ猶豫シ更ニ適當ノ期月ヲ定ムヘシト云フ說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二人　少數ナルヲ以テ消滅トス

又十九番議員ノ委員ニ付シ本案ヲ修正シテ都鄙區別ヲ爲スヘシト云フ說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十八

過半數ナルヲ以テ可決ス因テ議長ニ於テ委員ヲ撰ミテ陳告ス

委員　五八　十二番　十九番　廿六番　廿九番　三十一番

又十番議員ノ（本年七月一日）ヲ改メテ（十四年一月一日）トスヘシト云フ說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十五人　過半數ナルヲ以テ可決ス

○

午後第二時十分還御ニ付議事ヲ中止シ同第三時十五分更ニ開議

○　廿九番ハ公務三十四番ハ病氣ニ付議長ノ許可ヲ得テ退出

第十二號議案第三次會

審議ノ後二十六番議員ノ補助費ノ三字削除ノ說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　廿一人　過半數ナルヲ以テ右三字ヲ削除シテ本案ニ決定ス

明治十三年二月七日出版御届
同　二月廿九日出版
出版人兼編輯　小笠原美治　東京神田五軒町十八番地弘令社
各地賣捌書肆
東京芝三島町　山中市兵衛
大坂心齋橋通備後町角　吉岡平助
京都寺町通四條上ル　田中治兵衛
其他各府縣書肆ニ於テ賣捌致候

出版廣告

増齪頗　新律綱領　刑名便覽表附　定價金貳拾五錢
補註釋　改定律例　合卷全書
改正條例　府外ハ別ニ遞送稅申請候

該合書ハ寔ニ之レ日本法律書ノ完全不闕ナル者ニメ明治三年ノ更始ニ起リ十二年十月ニ至ル其間改正ニ由テ布達スル全文ハ悉ク本篇條中ニ列記シ隔靴ノ憾ナメ毫モ勿ラシム且齪頭ニ律語ノ解シ難キ者ヲ枚擧シ皆之ニ註釋ヲ施入シタレハ法律ニ志アル人ノ爲ニ便益アル實ニ鮮少ナラズ今回之ヲ出版シ江湖ニ告ルニ方リ併セテ官令全報ノ主義ヲ更ニ縷述スル左ノ如シ

官令全報

每号價貳拾錢半年分前金壹圓拾貳錢但郵稅共

第壹号（明治六年八月）ヨリ第四十三号（十三年二月）迄出版

國トノ苟クモ政府アル以上ハ法令焉レアリ法令ハ以テ人民ヲ保護スル具故ニ人民ノ休戚ニ關スル處亦大ナリ已ニ法令ハ人民ノ休戚ニ關スル大ナル者ナリト云バ人民ノ位置ニ居ル者之ヲ熟知セズメ可ナラン乎況ンヤ方今府縣會開設ナリテ參政ノ權ヲ有スル秋ナヤ此レ本社ノ嘗テ官准ヲ得テ官令全報ノ擧アル所以ナリ抑モ官令全報ノ主義タル官省使局課及ビ東京府廳ノ達等ニ至マデ網羅シテ遺漏ナク之ニ加フルニ内務陸軍司法三省ノ伺指令其他認テ公文タル者ハ兎毫ノ微モ悉ク謄錄シ官民ノ便覽ニ供スト且ツ法令ノ加除更正アル時ハ直チニ之ヲ記入スルハ勿論舊令ト雖モ參考ニ益アル者ハ仍ホ新令條下ニ挿ミ其沿革ヲ一閲ノ下ニ瞭然タラシム然シテ卷端ニ都鄙日乘ノ一部ヲ添加シ内外ノ事情及ヒ勸農商務ノ事項等ヲ記載シ時態ノ變遷ヲ報道スル此本篇ノ大主義ナリ是ヲ以テカ本社創業以來僅五年日尚淺シト雖モ江湖ノ喝采ヲ博シ花客ノ增加スル猶ホ衆星ノ紫微宮ニ向フガ如ク已ニ印刷發行スル部數一萬ニ垂ントシ内國處トシテ全報ノ普及セザル地方ナキニ至レリ是レ本社各員ノ拮据經營ノ致ス所ト雖モ江湖諸君ノ信憑ヲ得愛顧アル勿ンバ安ンゾ今日ノ旺盛ヲ來サン因テ自後益ス勵精一切ヲ注意改良シ其恩渥ニ答ント欲ス玆ニ重テ江湖ニ告ケ以テ將來愈ヨ愛顧アランコトヲ祈ル

東京神田五軒町十八番地

弘令社出版局

定稅遞送免許

明治十三年二月

地方官會議傍聽錄

第七號

【定價金三錢】　府外遞送稅壹錢

東京神田區神田五軒町十八番地

弘令社發兌

例言

一地方官會議ノ顚末ハ既ニ各社新聞紙ニ掲載シ世ノ人亦既ニ其詳細ヲ知了セリ然リト雖新聞紙ノ連日ニ散出スルハ特リ一時通覧ノ便ヲ欠クノミナラス或ハ他日散逸ノ患アリ隨テ又掌中提携ノ便ナシ是此册ノ編輯アル所以

一此書ハ明治十三年二月五日會議開場ノ日ニ起リ三日毎ニ一册ヲ刊行シ閉會ニ至ル迄全部十册ヲ以テ完結スベシ

一書中重複ヲ厭ハス會議日誌ヲ併輯スルハ參考ノ爲メナリ

一此書ノ冒頭ニ會議ニ係ル諸布達及伺指令ヲ登錄スルモ亦參考ノ爲メナリ

二月廿三日午前第十時五十分開議

笏席一番（島君）　十四番（境君）　廿五番（楫取君）

本日ハ前號ニ記シ奉リシ如ク　聖上ハ午前九時三十分ノ御出門ニテ議場ヘ臨御ナル便殿ヘ入ラセ玉ヒテ後チ午前十時五十分開議用意ノ號鐘ヲ報シ傍聽人ミナ議場ニ入ル次ノ第三點ノ號鐘ニテ議員ハミナ傍聽人入口ヨリ入リテ着席スルトキ議長モマタ場ニ入リテ　聖上ニハ議場ニ臨マセラル、議場ニ入テセラルヽヲ見テ議長議員幷ニ傍聽ノ人々起テ敬禮シ奉ル　聖上ノ玉座ニ着セラルヽ後チ議長ハ椅子ニ着キテ衆議員ニ對シ本日ハ兼テ御下附ナリシ備荒儲蓄法ノ第一次會ヲ開クベシト述ベテ書記ヲシテ朗讀スル

備荒儲蓄法

第一條　備荒儲蓄金ハ非常ノ凶荒不慮ノ災害ニ罹リタル窮民ニ食料小屋掛料農具種穀ヲ給シ又罹災ノ爲メ地租ヲ納ムル能ハザル者ノ租額ヲ補助スル者トス

第二條　各府縣ハ土地ヲ有スル人民ヨリ地租ノ幾分ニ當ル金額ヲ公儲セシメ以テ儲蓄金ヲ設ク可シ但各人ヨリ公儲スルノ割合ハ府縣會ノ議決ヲ以テ之ヲ定メ其總額ハ政府ヨリ配付スル金額ヨリ少カラサルヲ要ス

第三條　政府ハ毎歳百廿万圓ヲ支出シテ儲蓄金ヲ補助スベシ

第四條　政府ヨリ補助スル命額ノ内三十万圓ハ中央儲蓄金トシテ大藏卿之ヲ管掌シ九十萬圓ハ各府縣ノ地租額ニ應シテ之ヲ配付スベシ

第五條　府縣儲蓄令ヲ徹收シ管守シ支給シ及ヒ之ヲ一處ニ集儲シ數處ニ分儲シ或ハ米穀ヲ購入スルノ方法ハ府縣會之ヲ議決シ內務大藏兩卿ノ許可ヲ得テ府知事縣令之ヲ施スヘシ但シ購入儲蓄スル米穀ハ儲蓄金ノ半額ヲ超ユヘカラズ又儲蓄金ハ之ヲ公債證書ニ交換シ置クヘシ

第六條　府縣會ニ於テ議決スル儲蓄金支給ノ方法ハ左ノ制限ヲ超ユベカラズ

第一　食料ヲ給スル能ハザル者ニ限ル其日數ハ卅日以內トス又同上ノ窮民ニ小屋掛料ヲ給スルハ一戶五圓農具種穀ヲ給スルハ一戶十圓以內トス

第二　地租ヲ補助スルハ罹災ノ爲メ土地家屋ヲ賣却スルニアラザレバ地租ヲ納ムル能ハザル者ニ限ル

第七條　各府縣窮民ノ救助地租ノ補助ニハ府縣儲蓄金ヲ供用シ其不足ナル時ハ府知事縣令ノ具申ニ依リ內務大藏兩卿ノ協議ヲ以テ中央儲蓄金ヨリ之ヲ補助スベシ

第八條　從前人民公儲ノ儲蓄金アル府縣郡區町村ハ之ヲ以テ今般施行スル所ノ備荒儲蓄金ニ補充スルコトヲ得

第九條　各府縣內儲蓄金ノ出納ハ大藏卿歲次或ハ臨時ニ之ヲ檢查スベシ

第十條　府知事縣令ハ每年或ハ每半年ニ其府縣儲蓄金ノ出納ヲ內務大藏兩卿ニ報告シ兩卿ハ每年中央及ヒ府縣儲蓄金ノ出納ヲ全國ニ公布スベシ

第十一條　此方法ハ二十ケ年間施行スル者トス滿期ノ後ニ至リ各府縣ニ存在スル儲蓄金ハ府縣會ノ議決ヲ以テ之ヲ處置スベシ

布告案

備荒儲蓄法別紙ノ通相定候條衆ル十三年度（本年七月一日）ヨリ施行スベシ此旨布告候事

但明治八年（七月）第百二十二號達窮民一時救助規則及同十年（九月）第六十二號布告凶歲租稅延納規則ハ本文施行ノ期日ヨリ廢止トス

廿三番（野村維章君）本案即チ備荒儲蓄法ハ實ニ一日モ民間ニ欠クベカラザルノ者トス儲蓄法ハ維新前ニ在リテハ藩々適宜ノ法ヲ設ケテコレヲ救濟セリ近クハ天保ノ饑饉ニコノ爲ニ飢餓ヲ免カレシモノ其幾百人ナルヲ知ラズト聞ケリ既ニ凶年飢歲ノ慘狀ナコノ儲蓄方法ニテ救濟セラルヽノ理ハ人民ミナ之ヲ知リテ一日モ早ク此法ノ立ンコトヲ希望スルコト久シ故ニ原案ハ尤モ今日ニ緊要ナリトス

十七番（山田君）此法案ハ何トヲ廢棄シタシコトハ儲蓄スルコト付キテ實際大不都合アリ譬ヘハ民力弱キ縣ハ是マデ救恤貸下ケ等モアリテ救助貸下ニ二万圓ヲ要セシト定メンコト此法ヲ設ケテ一万圓トナリタランコハ跡ノ一万圓ハ人民一同ノ負擔トナリテ困難一方ナラザルベシ約シテ云ヘハ民力ノ弱キ所ハ是迄ノ救助貸下ケ等ヲ引揚ケラレテ民力ノ強キ所ニ割ノ能クナル勘定ナリ故ニ本員

ハ偏ニ斯ル畫一主義ノ法案ノ巖セランコトヲ希望ス

十八番(森君)本員ハ原案ヲ贊成ス明治十年ノ支那北部ノ饑饉ヲ其慘狀ハ一々新聞紙上ニ開知スル所ニシテ實ニ名狀スベカラザル景況ナリ同ジ東洋ノ國ナガラ我國ハ昨年大豐饒ニシテ五穀一トシテ稔ラザルハ無ク人民鼓腹ノ時トモ云フベキニ付キ各縣ノ中ニ於テハ此豐作ヲ好機會ナリトシ凶荒ノ備ト爲ザルベカラズト管下ノ人民ヲ誘導セシモアリキ然ルニ今マコノ法案ヲ下附セラレシハ恰モ時機ノ熟セルモノニテ我國人民モ外ハ支那凶年ノ慘狀ヲ聞キテ殷鑑トシ內ハ昨年ノ豐饒ヲ時トシテ穀ヲ積ムノ好機ニ遭ヘリ彼此モッテ此案ヲ實施スルノ時タレバ偏ニ原案ヲ贊成ス修正ノ意見アレド其ハ第二次會ニ陳述スベシ

卅一番(安場君)ハ十八番ノ實際ニ差支アルト云フハ卅餘縣ノ中ニテ一二縣ノ事ニテ一般ノ差支トハ名ヅケ可ラズ夫等ノ心配ハ第七條ニ掲ゲタル所ノ中央儲蓄金ヨリ何トカ融通ヲ付クルヲ得ベシト述ブルノホカ卅四番(籠手田君)卅五番(岩佐君)等ヨナ原案ヲ贊成ス

議長曰ク說ノツキタルヲ認メテ乃チ本案ノ爲ニ第二次會ヲ開クベキヤ同意ヲ表セラルルニ全會總起立ニ付キ之ニ決ス

議長曰ク引續キテ本案第二次會ヲ開クベシ書記マヅ其布告案ヲ朗讀ス

十番(藤村君)本案ニハ七月一日ヨリノ施行トアレドコノ地方官會議ヲ經テ夫ヨリ元老院ニ移シ其決議アリテ後ニ發令セラルル府知事縣令ニ其方法ヲ組立テ、コレヲ府縣會ニ

付シ其議決ヲ取リ又會內ニ布達シ始メテ儲蓄ノ方法ニ着手スル手續ニテ中々七月一日ヨリノ施行ニ難事ハヨハズ依テ此期日ヲ延バシテ十三年會計年度ノ一月一日ヨリ施行スルニ修正シタシト述ブ

卅三番(野村君)十番ヲ贊成ス

卅八番(平山君)モ此儲蓄ヲ爲スニハ成ルタケ收獲ノ時ヲ可トス故ニ本員ハ十三年度ノ下半季即チ一月一日ヨリ施行スルモ尙早シトハ考ヘレド共先ヅ十番ヲ贊成ス

十九番(松田君)本員モ備荒儲蓄法ハ今日ニ行ハレンコトヲ熱望スル者ナリト雖モ本案ノマヽニテハ行ハレヌト認ムルガ故ニ爰ニ一ノ修正說ヲ提出セザル可ラズ其修正タル總體ニ管スル事ナレドモ要スルニ此布告案ノ一條ニ存リトス其理由ハコノ立案ハ都鄙一般ニ行フノ法ニテ如斯ナレバ其不都合實ニ云フ可ラズ抑モ〳〵我ガ東京府下ノ如キ郡ニハ此法ヲ以テ適スベシト雖モ之ヲ十五區ニ行フベカラズ如何トナレバ十五區內ニハ人口ノ稠密ナルト區域ノ廣濶ナル割合ニ彼ノ選擧被選擧權ヲ有スル者スクナシ其少ナキハ即チ地所ヲ持ツ者ノ少ナキナリ斯ク人口ニ比較スレバ其地租ヲ納ムル者ハ僅々ノ數ナルニ此法案ニテハ土地所有ノ者ヨリ積立テ、又タ政府ヨリ配布ノ九十万圓モ其府縣ノ地租ニ應ジテ割リ當ラルヽナレバ東京ノ如キハ其額モ僅ノモノナリ又タ此條ノ但書ニ明治八年百廿二號ノ窮民一時救助規則ヲ廢セラルヽトスレバ此法案ハ即チ百廿二号ノ相續法律トナルニ付キ土地所有者ニ非ル窮民ヘモ及ブ法則ナリ然ルトキハ東京ノ如キハ東西南北ヨリ府內ニ寄寓シ窮困ノ民其數多ク地主ヨリ積ム所ノ者ハ悉ク此等

窮民ヲ救恤シ終ニ地主ノミ義務ヲ盡スニ成リテ迷惑千萬ノ至ト思フベシ郡ノ如キハ之ニ異ナリテ假令ヒ救助ヲ受クル者スラ尚ホ數畝ノ土地ヲ持ツガ故ニ其受クル所ノ救助ハ畢竟己レガ物ヲ以テ己レヲ救助スル理ニテ一區ノ地主ノミ其義務ヲ盡スカ若キニ非ズ又政府ヨリノ配布金モ地租ニ割リ當ツレバ府ノ如キハ少ナク縣ニハ多シ人口ニ割リ當ツレバ府ニ多クシテ縣ニ少ナシ何レニモ不都合ト存ズレドモ其ハ其條ニ就キテ意見ヲ陳述スベシ何ニセヨ都鄙同一ニ此法案ヲ行フハ前陳ノ如キ不平均ヲ現出スルガ故ニ東京ソノ他大坂京都ナド之ニ類スル府縣ハ特別ノ法ヲ以テ施行スルニ修正スベシ其調査ニ至リテハ規則ニ據リテ委員ヲ設ケラレタシ

番外二番(矢野文雄君)ハ十九番ノ說ニ對シテ此法案ニテ都鄙一般ニ行ハルヽ旨ヲ陳シ此案ノ精神ハ三目的ニテ即チ第一ニ窮民ニ食料小屋掛料第二ニ農具種穀ヲ給シ第三ニ地租ヲ補助スルニアリ即チ食料小屋掛料ニテ東京ノ如キモ地租ヲ補助スルニテ土地ナキ者ニ給スルハ勿論ナリ又タ凡テ社會ノ事タル精密ナルトアレバ地主モ其救助ヲ受クルノ部分タリト述ベ又タ凡テ社會ノ事タル精密ニハ行ヒ難キモノニテ十九番ノ如ク論ジ來レバ國稅ヲ徵收スルモ其額ダケニ應スル政事ヲ限ナク施コスコト難シ備荒豫備モ其理ニテ之ガ保險會社ノ如キモノナラバ取立ルダケノ金額ニ適スル保護ヲスヘシト雖モ之ヲ以テ備荒法ト同一視スベカラズ十九番ノ地主ノミノ義務ト云ヘドモ救助ハ元ト慈惠ノ性質アルモノナレバ地主ノ積立ルモ可ナリト辨ズル夫ヨリ猶三道理トカ云フヲヲ辨明セラル、折カラ正午十二時ヲ報ゼシニ付キ議長ハ番外二番ノ發言ヲ止メテ正午ニ付キ議事ヲ止ムル旨ヲ述ベラル　聖上ニハ玉座ヲ下ラセ玉ヒテ入御ナル議長議員傍聽人一同起テ敬禮シ奉リ夫ヨリ靜ニ議場ヲ退散ス

二月廿三日午後一時二十分開議

第三點ノ號鐘響キテ衆員ミナ場ニ入リ續イテ議長モ着席セラル　聖上ニハ再ビ議場ヘ入御ナリテ玉座ニ着セラル議長議員傍聽人起テ敬禮シ奉ツル

議長曰ク午前ニ引續キノ會ヲ開クベシ

番外一番(山崎直胤君)午前ニ番外二番カ十九番ニ對シテノ辨明ヲ繼ギテ陳述スベシ十九番ハ都鄙畫一ハ不可ナリ配布金モ地主ニ割リ當ツル時ハ東京ノ如キハ其數寡少ナリト云ヘドモ東京府ハ是マデモ二萬圓位ニテ窮民ヲ補助スルニ足レリ今度ノ配布モ一萬二千圓以上ニ當レバ前日ノ額ト大差ナク救助シ盡セヌ患ヲ見ザルベシ斯ク僅ノ金額ニテ救助シ得シハ東京ハ特別ノ財產モアリ養育院等ノ如キ他府縣ニアラザル救助法モ立チ又昨年ノ如キ流行病或ハ火災ニ罹ル等流行病ニハ衞生會アリ火災ニハ慈惠ノ捐金アリ或ハ火防ノ法ヲ設クル等ミナ他ニ異ナル救濟法アリ此法案ニテ右ノ如キ救濟法ヲ廢スルトナラバ東京ニハ適セザルベケレド此法案ニテ廢止スルニ非ル以上ハ都鄙畫一ニテ毫モ差支ナシ素ト百廿二號救助規則ハ重ニ農民ノ爲ニ設ケシモノニテ或ハ農具ヲ給シ或ハ種穀ヲ給スルヲ法律ニテ認メシニテ市街ノ地ノ職人等ニ職業道具ヲ給スル等ノ事ハ少ナキモノトス是等ヲ考ヘテモ都鄙畫一ニテ然ルベキ法案ナラズヤ

十九番(松田君)午前ノ番外一番ハ縷々辨明アレド一体午前番外二番ノ說明ハ一トシテ本員ノ論旨ニ適スルコトナラネバ只今番外一番ノ說明モ夫ニツ

レ本員ノ趣旨ニ適應セズ益シ本員ノ論旨ハ東京市街ノ如キハ特別ニセザル可ラズト云フ是ナリ番外二番ハ三目的アリ土地所有人モ其利益ヲ受ルト云ヘド東京市街ニテ土地ヲ所有スルモノハ財産富饒ノモノ多シ如何ナル場合ニ於テモ三目的ノ救助ヲ受ルモノ無シ其受ケル者ハ他國ヨリ入リ込ム人力車日雇稼人等ニ在リ斯レバ郡村ハ之ヲ積ミテ己レガ益トシ市街ハ己レガ利益ヲ爲サヌ理ナリ且ツ東京府下ノ如キハ富豪ハ敢テ土地所有人ニ限ラズ商買ニモ富ミタル土地ナレバ地主ナラズトモ積立ツルヲ得ル者アリ法律ハ何ヲ慈惠ノ義務ヲ地主バカリニ負ハスルガ番外二番ノ説明ニ救助規則ハ重ニ農民ノ爲ニ設ケシト云フ此法案ハ即チ其相續法律タレバ彌々以テ市街ニハ適セヌ譯ナリ又タ其説明ニ府下ハ從來補助金ハ少ナイ云ヘド述ベタレド是ハ本員ノ説ヲ誤解セリ本員ハ其少ナキヲ以テ此法案ヲ批スルニ非ズ全体一万ヲ三万ノ金ハ東京ニテハ配布ヲ受ケズトモ可ナリ只特別ノ法ヲ行フノ精神ナリ其マタ府下ニ從來ノ財産アリ救助法アルハ番外ノ述フルガ如シ實シヤ此法案ガ出シテ敢テ從來ノ救助法ヲ廢止スルナラヂハ既ニ此法律ヲ設ケラレシカラハ特別ノ法ヲ明示シテ從來ノ救助法モ法律ノ中ニ認メタキモノナリヲズヤ番外モ郡村ト市街ノ別ニ明ニセラレタランニハ如斯説モ吐カレマジ既ニ去年ノ火災ニモ地主ニテ慈惠金ヲ受ケ職業道具等ヲ仰ギシ貧人ハ一人モ無カリキ彼此ヲ以テ觀察セバイヨ〳〵東京府十五區ノ如キハ特別ノ法ヲ設ケザル可カラズ

二十八番（野村靖君）モ東京横濱ノ如キハ土地ヲ以テ積立ノ準據トスベカラズ一坪ノ地ニテモ百萬ノ商買ヲスルト云フ旨ヲ辨ジテ十九番ヲ贊成スベシト述ベ

九番（三島君）ハ廿三番ヲ贊成ス

廿九番（關口君）十九番ノ説ノ如ク東京ハ人情風俗マタ其經濟法モ他府縣ニ殊ナリ本員ハ東京ニ成長シテ天保ノ饑饉幷ニ安政年中ノ米價騰貴ノ爲メニ人民一揆ヲ起セシ時ノ救助始末モ悉ク承知セリ又タ共同財産ハ誰モ知リタル如ク寛政三年七分積金ガ始メニテ既ニ安政年中ノ一揆ニハ此ノ積金ノ外ニ富豪ノ醵金シテ救助セシコトアリナド旁々畫一ニシテ不都合アルベク之レニ準ズル府縣ノ地モマタ支障アルベシ十九番ノ説ヲ贊成スル又タ十番ノ施行延期モサル事ニテ席上ニテ論ズレハオイ夫ト積立ノ出來ルヤウナレド實際ニ至リテハ中々容易ノ業ニアラズ昔日積立ノ法アリシ舊水戸領米澤中村等ノ如キモ創業着手ノ時ノ辛苦ハ實ニ席上ニテ談スルニ同シカラズ司事者ハ爲ニ心力ヲ勞セリト聞ケリ且ツ此法案モ本會議ニ決シ夫ヨリ府知事縣令ハ積立ノ場所幷ニ規則及ビ保護等ノ順序ヲ考案シテ議會ニ附シ其決ニ依リテ内藏兩卿ニ具申シ其認可ヲ得テ始テ取立ニ掛ル思フニ府縣會ノ議員ハ多ク農民ニテ積穀ノ如キハ實驗セシ者モアリテ其利

モ乃チ議長ハ十九番ノ修正説ヲ以テ議題ト爲シ又タ十番ガ施行延期論モ尤ノ事ナレド二百二十三番（渡邊君）モ十九番ノ説ヲ至當トシ二百里三百里外ノ縣ト或ハ東京近傍ノ諸縣ト運ビノ遲速モ殊ナルベケレバ施行ノ遲クナル縣ノ爲メニ早ク出來ル縣ヲ妨ゲテハ不都合ナリ依リテ本條ニ縣ニヨリテ十三年度ノ兩半季中ニ施行スベシ併シ十四年ヨリ施行スルヲヲ許サズトノ意ニ委員ヲ選ミテ修正スベシト述ベ

害得失ヲ悉知シタレバ議論モ他ノ問題ヨリハ多ク一朝一夕ニハ議決セサルベシ旁以テ十番ノ説ヲ可トス

廿七番（北垣君）モ施行延期ハ十番ヲ賛成シ」東京ノ如キニ特法ヲ許スハ十九番ヲ賛成ス

卅番（楢崎君）ハ本條ヲ修正シテ但書ノ六十二號布告凶歳云々ヲ削除セント述ベ

卅五番（岩佐君）コレヲ賛成ス

議長ハ説ノ盡キタルヲ見テ

先ヅ二十三番ノ修正説ニ同意ヲ表セシムルニ

卅番ノ説ニハ　二人　トモニ少數ニテ消滅ス

次ニ十九番ノ修正説ニ同意ヲ表セシムルニ

起立　二十八人　過半數ニテ之ニ決ス

次ニ十番ノ施行延納ノ説ニハ

起立　二十五人ニテ之ニ決ス

議長ハ即チ修正委員ヲ十九番（松田君）十二番（槇村君）廿六番（野村君）廿九番（關口君）卅一番（安場君）ノ五名ニ命ズ

時ニ午後二時五分議長ハ暫ク議事ヲ止メテ再ビ午後三時ヨリ開議スベキ旨ヲ述ベラルル此トキ　聖上ニハ玉座ヲ下ラセ玉ヒテ入御ナル諸員起テ敬禮シ奉ツル夫ヨリ便殿ニ入ラセラレ直ニ還幸アラセ玉ヒヌ

二月廿三日午後三時開議

議長曰ク是ヨリ過刻ヨリ引續キ會ヲ開クベキナレド議事ノ都合ニ依リテ第十二號議案ノ第三次會ヲ開クベシ

廿六番（野村君）ハ第二次會ノ戸長ハ即チ邑政ノ主宰者ナル理由ヲ再演シテ舊案（即チ戸長以下給料）ニ復スルヲ主張シ

二十番（高崎君）三十三番（野村維章君）六番（熊野君）十六番（大迫君）トモニ二十六番ヲ賛成シ

十八番（森君）十五番（岩村君）廿八番（平山君）トモニ第二次會ニ主張セシ説（共ニ前會ノ筆記ニ詳錄シタルト同シケレバ畧ス）ヲ述ベテ二十六番ヲ駁シ

十九番（松田君）ハ廿六番ヲ賛成シ各員ガ擅ニ戸長ノ給料ヲ議スルニ當リテ性質論ヲ荷キ込ミ民屬トカ半官半民トカ如今ノ翻譯書ニテモアルベキ一種ノ熟字ヲ拈出シ來リテ一個ノ物ヲ數個ニ名ヅケテ喋々セラルル、故ニ自ラ歸着スルニ苦ムナリ抑モ々戸長ノ事ヲ取扱フモノナリ獨リ町村公共ノ事ノミナラズ仕事ニ於テ何者カト問ハヾ其町村ノ一部ニ於テ令スル所ヲ奉行スルモノナカ否中央政府ヨリ令スル所府知事縣令職權中ノ一部ヲ取扱フモノナリ此三種ガ尤モ戸長ノ取扱フ事柄ナリ然ルトキハ之ニ相當ノ給料ヲ與ヘザル可ラズ論者或ハ云ン果シテ然ラバ職務取扱諸費ハ何ト云ヒテ協議費ヲ以テスルカニ至リテハ容易ニ分析スベカラズ雖モ先ヅ各府縣ノ實況ト其苦情アルヲ考フルニ幾分カ町村ニ任セルヲ可ナリト認ムル者ヨリ又廿八番ガ戸長職務概日ハ其町村ガ政府ニ對シテ應ズ爲スベキノ公義務ナリ

ト雖モ職務概目ハ政府ガ戸長ニ命令セシ所ニシテ府知事縣令ガ委任シタル事柄ナリ一町村ニ限リタル仕事ニ非ズ若シ之ヲ一町村限リノ仕事トスレバ數條ノ概目ニテ盡スベキニ非ズ要スルニ戸長ハ一村ノ仕事ト政府ヨリ令シタル二ツノ仕事ヲ兼ヌル者ニテ政府ノ仕事ヲスルニ協議費ニテ酬ヒテハ別ニ政府ヨリ一事ヲ行ハスル毎ニ相當ノ金ヲ其都度ニ出サヽルヿ可ラズ且ツ概目戸籍ノ如キモ今日ノ法律ニテハ決シテ一村ノ仕事ニ非ズ戸籍ハ政府ニテ入用ナル故ニ調ヘサスルナリ若シ一村ノ仕事トシテ町村ハ自治ナリ我村ニテハ戸籍ハ調ベズトモ可ト濟シテ居ラルベキカ其他ノ事ミナ然リ又タ給料ヲ多少出シテ相當ノ人ヲ雇ヒタシトノ苦情アレド是モ一條ナラズ多ク出ザヌ方ノ苦情モアリ一縣ノ實況ヲ論出シテ全天下ヲ同一視シ難シト述ブ

議長ハ說ノ盡キタルヲ見テ

先ヅ廿六番ノ修正說ニ同意ヲ表セシムルヿ

起立　廿一人　過半數ニテ補助費ノ修正說ヲ破リタルナリ

即チ戸長以下給料ト復シタルニテ之ニ決ス

時スデニ午後五時五十分議長ハ明日ハ午後一時ヨリ本會議ヲ開クベキ旨ヲ報告シテ衆員ヲ退散セシメタル

地方官會議日誌第第十五號

二月二十四日　午前小會議　同第四時廿分退散

同　午後第一時十分開議

議員五十七人　次席　一番　八番　九番　十番　十三番　十四番　廿三番　廿四番　廿五番　卅六番　卅七番

○

第八號議案第三次會審議ノ後十八番議員ノ意義權衡ニヨリ十一年第十八號布告第十三條ヲ議題ト爲サントスル建議ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　十三人　少數ナルヲ以テ消滅ス

又本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十四人　過半數ナルヲ以テ本案ニ決定ス

○

第十四號議案第三次會

異議ナキヲ以テ本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　全員　修正案ニ決定ス

○

第十七號議案第一次會

審議ノ後本案ノ爲メ第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　四人　小數ナルヲ以テ本案消滅ス

第十八號議案第二次會（廿日ノ續キ）

審議ノ後次番議案ノ委員ニ付シ制限金ヲ增シ貳拾圓又ハ貳拾五圓トスヘシト云フ說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二八

又本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　十八人

又本案ノ爲メ第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員

○

第十八號議案第三次會

異議ナキヲ以テ本案ニ同意者ヲ起立セシム

起起者　二十六人　過半數ナルヲ以テ本案ニ決定ス

○

第十九號議案第二次會

審議ノ後本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　全員

又本案ノ爲メ第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員

少數ナルヲ以テ消滅トス

過半數ナルヲ以テ可決ス

起立者　十八人

第三次會ヲ開クニ決ス

第十九號議案第三次會

異議ナキヲ以テ本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　全十六人　過半數ナルヲ以テ修正案ニ決定ス

○

第二十號議案第二會（廿日ノ續キ）

異議ナキヲ以テ本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　全員　本案ニ可決ス

又本案ノ爲メ第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員　第三次會ヲ開クニ決ス

○

第二十號議案第三次會

異議ナキヲ以テ本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　全員　本案ニ決定ス

○

第二十一號議案第二次會

審議ノ後三十五番議員ノ發文ヲ復シ○○○○○○○○○○○○○○○○ヲ得ト修正スヘシト云フ說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　三八　少數ナルヲ以テ消滅ス

本案ヲ可トシ且第三次會ヲ開カヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員　本案ヲ可決シ且第三次會ヲ開クコト決ス

○

第二十一號議案第三次會

異議ナキヲ以テ本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十五人　過半數ナルヲ以テ本案ヲ決定ス

○

第二十二號議案第一次會

異議ナキヲ以テ本案ノ爲メ第二次會ヲ開カヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員　第二次會ヲ開クコト決ス

○

第二十三號議案第二次會

異議ナキヲ以テ本案ヲ可トシ且第三次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員　本案ヲ可決シ且第三次會ヲ開クコト決ス

○

第二十四號議案第三次會

異議ナキヲ以テ本案ヲ可決ス

○

第二十三號議案第一次會

異議ナキヲ以テ本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　全員　本案ヲ可決シ且第二次會ヲ開クヲ可トスル者ヲ起立セシム

異議ナキヲ以テ本案ノ爲メ第二次會ヲ開カヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員　第二次會ヲ開クコト決ス

○

第二十三號議案第二次會

異議ナキヲ以テ本案ヲ可トシ且第三次會ヲ開カヲ可トスル者ヲ起立セシム

起立者　全員　本案ヲ可決シ且第三次會ヲ開クコト決ス

○

第二十三號議案第三次會

異議ナキヲ以テ本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　全員　本案ヲ可決ス

○

二月廿四日午前小會議

二月廿四日午後一時五分開議

欠席　二番（島君）　八番（原君）　九番（三島君）　十四番（境君）

廿三番（渡邊君）　廿四番（下山君）　廿五番（楫取君）　廿六番（高橋君）

三十七番（斯波君）

議長曰ク是ヨリ第八號議案ノ第三次會ヲ開クベシ

十八番（森君）第三次會ニテ卅三番ガ退職者ナシテ四年間議員タルヿヲ得ザラシムルハ選擧區域ヲ狹隘ナラシムナリトテ其分限ヲ改ムルト論セシガ何サマ道理至極ノ論ニテ廿三番ノ論セル如ク委員ヲ選ミ此條ヲ削除ヲ併セテ府縣會規則中ノ撰擧被選擧權ニ管ル事項ヲ削除スルヲ可ナリ

卅二番（石田君）卅三番（安場君）廿七番（北垣君）廿八番（平山君）トモニ十八番ヲ贊成セシニ付キ

議長ハ伺定ノ他ノ條項ニ意義關係アルモノトシ委員付托ニ同意ヲ表セシムルヿ

起立　十三人ニテ乃チ消滅ス

次ニ原案ニ同意ヲ表セシムルヿニ起立　廿四人　過半數ニテ本案ニ確定ス

次ニ議長ハ第十四號議案ノ第三次會ヲ開カル別ニ異議ナクテ本案ニ確定ス

議長曰ク是ヨリ第十七號議案ノ第一次會ヲ開クベシトテ書記ナシテ朗讀セシム

第十七號議案郡區吏員給料等ノ儀布告案（沖繩縣ヲ除ク）

郡區吏員ノ給料旅費及ビ戶長以下ノ給料ハ明治十三年ヨリ始メ毎四年別段ノ議案ヲ以テ府知事縣令ヨリ府縣會ニ付シテ之ヲ定メ其議決ハ向四年間之ヲ據置クベシ但郡區長ノ給料ハ十一年第三十二號達ノ期限ニ依ルベシ

卅一番（安場君）總体ニ付キテ見ルニ實際ノ不都合一ニシテ足ラズ之ヲ削除スヘシ右ニ付キテハ他ノ條項歸ヲ第十九號布告中第七條ノ郡區吏員云々ノ條ニ意義權衡ヲ持チテ之ヲモ削リタキ見込ミナリト述ベ

卅三番（野村君）卅一番ヲ贊成ス

十番（藤村君）本案ヲ實施スルニ當リテ其支障云ヘカラズ元來本案ノ精神タル年〳〵ノ議スルノ煩ヲ厭フ四年間ノ據置トセラレシモ其實際ノ便否得失ヲ考案スルニ年ヲ積ミシ勤勞ニ依リテ增給モセザル可ラズ又タ任免アルヿトニ其人物ノ能否ニヨリテ月給ノ多寡モ生スベキニ此法案ニテハ勤勢アル者モ增給スルコト能ハズ任免モ容易ニハ出來ズ一地方ノ行政ニ斯ル窮屈千萬ナルハ困難至極ノ法律ト云フベシトノ趣意ヲ陳ジテ削除スベキヲ說ヲ陳ズ

卅四番（籠手田君）十番ノ意見ニハ殊ニレドモ削除センヨリハ即チ同一ナリ元ト府縣會ハ地方稅ヲ以テ支辨スベキ徵收スベキ經費ノ豫算ヲ年々ニ議定スルモノニテ然ルヲ四年間此ヿ項ヲ据ヱ置クトセバ十九號法律中ノ郡區吏給料云々ノ條ヲモ削ラザル可ラズ立案ノ趣旨ハ議會ニテ節減ニ過グベキノ好意ニ出デタルカハ知ラヌト議會ハサル不適當ノ節減ヲ爲サバルベキ眞ニヤ不適當ノ議決ヲ爲セシトテ府知事縣令ハ認可セザルノ權アレバ別ニ差支ナシ旁以テ削除スベシトノ

十六番（大迫君）卅四番ヲ贊成ス

議長ハ說ノ盡タルヲ見テ本案ノ爲ニ第二次會ヲ開クベキヤニ同意ヲ表セシムルヿ

起立僅ニ四人　依テ本案ハ消滅セリ

議長曰ク是キ第廿八號議案ノ第二次會ヲ開クベシトテ書記ヲシテ朗讀セシム其案ハ即チ先ニ修正委員ニ付托セシモノニテ左ノ如ク改マリタリ

第一條　營業稅目左ノ如ク其制限金十五圓以內トス但國稅アルモノヲ除ク

諸會社及ヒ諸卸賣仲買商　諸小賣商及ヒ雜商

六番（熊野君）十五圓ト制限ヲ立テハ本員ガ前會ニモ述ベシ如ク豪商大買ノ收利オホキ者ニ課スルコト其額甚ダ少ナシ故ニ更ニ委員ヲ選ビ之ヲ修正シテ廿圓或ハ廿五圓以內トスルヲ以テ尤モ適當トスベシ

廿二番（山吉君）六番ヲ贊成ス

十番（藤村君）本員モ修正委員中ノ一人ニテ會テ制限ヲ解クノ持論ナリシガ委員ハ段々研究討論セシニ蓋シ十五圓ト云フ制限ハ府縣稅ノ平均ヲ取リテ目安ト定メシ者ニテ本員ナドカ制限ヲ解キテ其額ヲ增大ニ何ヲ以テ目安トスルカトノ論ニ至テ本員モ詞塞リ屈服シタルヲ故ニ十五圓ヲ以テ尤モ適合ノ制限トナリトネ

廿七番（北垣君）本員モ即チ委員ノ一人ニシテ同シク制限ヲ解クノ論者タリ先ニ百方討論ノ末其制限ヲ解クニ窮シタル所以ハ三ツアリ第一ハ此收稅ハ經驗僅ニ一年ニ過ズ第二ニ假令ヒ兩三年ヲ實驗ヲ經テ增額スルモ其增額スルノ理由ヲ見出セ第三ニ增額ヲ定ムルヨリハ何ヲ以テ目安トスルカト此三問題ニ至リテ答辭ノ出來ザリシハ即チ十番廿七番等ナリヤ又ハ諸小賣商雜商トモ此十五圓以內ニ入レシハ地方ニヨリテハ小賣商ヲシテ三十萬圓以上ノ賣高ヲアルヲ實際ヨリ見出セリ故ニ同シク十五圓以內トス

廿八番（平山君）修正委員ノ答辨ニ依リテ制限ヲ解クノ一事ハ既ニ領解セリト雖モ國稅アルモノハ云々舊案ノマヽニ活セル理由ハ如何

十九番（松田君）地方稅ハ其地方ニヨリテ各々其趣ヲ異ニスル故ニ國稅アルモノヘ課スルニモ其多寡均シカラズ大藏省ニテ困ルベシ他日モシ大藏省ニテ此位ノ制限ナラバ各地方ニ任セテ國稅アルモノニ課スルモ可シト詳細ノ目的タヲテ一定セラルレバ其時ニ課スルヲ以テ可ナリ故ニ之ヲ存シテ舊案ノ儘トナセリ

是ヨリ六番（熊野君）ハ猶前說ヲ主張シテ其任地ニモ現ニ收利オホキ者アリトノ證ヲ擧ケ小賣雜商ヲシテ十五圓以內トセシカラハ其制限モ廿圓モシクハ廿五圓以內トスベシト述ベシ

十九番（松田君）ハ之ニ對シ六番ハ收利ノ多キ大商アレバ廿五圓云々ト云ハルレド其豪商大買ニ課スルニ廿五圓トシテモマダ其上ニ收利アレバ畢竟ズルニ那處マデモ不權衡ヲ免レズ故ニ府縣稅ヲ平均シタル確定ノ目安タル十五圓ヲ以テ制限トスルヲ勝レリトスト辨ジ

廿二番（山吉君）府縣稅ハ十五圓ガ極點ナリト委員ノ申スハ不調ナリ本縣ナドハ質屋ニハ廿三圓モ課シタリトノコト陳ス

番外二番（西村君）ハ之ニ答ヘテ十五圓ヲ府縣稅ノ極點トスルニ非ズ即チ府縣稅ヲ平均シテ多キヲ削リ少キヲ補ヒシ額ナリト辨ズ

議長ハ說盡タリト認メテ先ヅ六番ノ說ヲ

起立セシムルコト　二人
本案ニ起立ハ　十八人　過半數ニテ消滅シ
直ニ三次會ヲ開カレシガ別ニ異議ナクテ
本案同意ニ起立スル者　廿六人　乃チ之ニ決シ
議長曰ク是ヨリ第十九號議案第二次會ヲ開クベシ書記コレヲ朗讀ス即チ其修正ハ左ノ
如シ
第二條　雜種稅　製造人職工一ケ年金十五圓以內　諸市場演劇其他諸興行諸游技場質
屋兩替屋（爲換座共）陸運又ハ廻送ヲ以テ業トスル者一ケ年金十五圓以內　屠畜一頭ニ
付金五十錢以內
卅八番（宍戸君）ハ製造職工ノ稅ヲ除ントノ說ヲ述ベンガ贊成ナシ本案ニ同意ヲ表セシ
ムルニ總起立ナレバ之ニ決シ
直ニ第三次會ヲ開カレ別ニ異議ナク
本案同意ニ起立スルモノ　廿六人　過半數ニテ之ニ確定セリ
議長曰ク是ヨリ第廿號議案ノ第一次會ヲ開クベシ書記朗讀ス
第十二號議案　明治十一年第三十九号布告第三條改正案
第三條　漁業稅採藻稅ハ各地從來ノ慣例ニ依リ之ヲ徵收スベシ若シ其例規ヲ改正シ
又ハ新法ヲ創設セントスルモノハ府縣會ノ議決ヲ以テ府知事縣令ヨリ內務大藏兩
卿ヨリ具狀シ太政大臣之ヲ布告スベシ

本案モ第一第二次會トモ異議ナク總起立ナレバ直ニ三次會ヲ開カレ是ニモ總起立ニテ
本案ニ確定ス
議長曰ク是ヨリ第廿一號議案ノ第一次會ヲ開クベシ書記コレヲ朗讀ス
第二十一號議案　明治十一年第三十九號布告第六條削除
第六條　一軒內ニ於テ數種ノ營業ヲ爲スモノ又ハ卸賣仲買小賣ヲ兼ヌルモノハ其稅
額ノ最モ多キモノ一個ノミヲ徵收スベシ
本案ニハ卅五番（岩佐君）ノ削除ヲ不可トスルノ說イデシガ贊成ナク第一第二次會トモ
本案同意ニ起立スルモノ總起立ニテ直ニ第三次會ヲ開キ本案ニ確定ス
議長曰ク次ニ第廿二號議案ノ第一次會ヲ開クベシトテ書記ヲシテ朗讀セシム
第廿二號議案　明治十一年第三十九号布告第七條增加案
第七條　凡ソ上リ高ヲ以テ稅額ヲ定ムルモノハ各地ノ便宜ニ依リ上リ高見積リヲ以
テ日稅月稅シテ之ヲ徵收スルコトヲ得
本案モ第一第二第三次會トモ異議ナク本案ニ同意ヲ表セシムルニ總起立ナリ依テ之ニ
確定ス
議長曰ク次ニ第二十三號議案ノ第一次會ヲ開クベシトテ書記コレヲ朗讀ス
第廿三號議案　明治十一年第三十九號布告案第九條增加案
第九條　第一條第二十條第三條稅目ノ外地方特別ノ（舊案ニハ事宜ニ依リノ五字ア
リシガ委員ノ調査ニテ削除セラレタリ）課稅ヲ要スルモノハ府縣會ノ決議ヲ經テ

府知事縣令ヨリ內務大藏兩卿ニ具狀シ太政大臣之ヲ布告ス

本案ヲ第一第二次會トモ異議ナクヲ全會本案ヲ可トス直ニ第二次會ヲ開カレン之ニ確定セリ

時正ニ午後四時二十分議長ハ明日ハ午前九時ヨリ開會スベキ旨ヲ述ベテ衆員ヲ退散セシメタラル

明治十三年二月七日出版御屆

同　二月廿九日出版

出版人兼編輯　小笠原美治　東京神田五軒町十八番地弘令社

各地賣捌書肆

東京芝三島町　山中市兵衞

大坂心齋橋通備後町角　吉岡平助

京都寺町通四條上ル　田中治兵衞

其他各府縣書肆ニ於テ賣捌致候

（定價金三錢）　府外遞送稅壹錢

官令全報

毎号價貳拾錢　半年分前金壹圓拾貳錢　但郵稅共

第壹号（明治六年八月）ヨリ第四十三号（十三年二月）迄出版

國トノ苟クモ政府アル以上ハ法令ハ以テ人民ヲ保護スル具故ニ人民ノ休戚ニ關スル處亦大ナリ已ニ法令ハ人民ノ位置ニ居ル者之ヲ熟知セズメ可ナラン乎況ンヤ方今府縣會開設ナリテ參政ノ權ヲ有スル秋ナヤ此レ本社ノ嘗テ官准ヲ得テ官令全報ノ主義タル官省使局課及ビ東京府廳ノ達等ニ至マデ網羅シテ遺漏ナク之ニ加フルニ內務陸軍司法三省ノ伺指令其他認テ公文タル者ハ兎毫ノ微モ悉ク謄錄シ官民ノ便覽ニ供スル且ツ法令ノ加除更正アル時ハ直チニ之ヲ記入スルハ勿論舊令ト雖モ參考ニ益アル者ハ仍ホ新令條下ニ挿ミ其沿革ヲ一閱ノ下ニ瞭然タラシム然シテ卷端ニ都鄙日乘ノ一部ヲ添加シ內外ノ事情及ヒ勸農商務ノ事項等ヲ記載シ時態ノ變遷ヲ報道スル此本篇ノ大主義ナリ是ヲ以テカ本社創業以來僅五年日尙淺シト雖モ江湖ノ喝采ヲ博シ花客ノ增加スル猶ホ衆星ノ紫微宮ニ向フガ如シ已ニ印刷發行スル部數一萬ニ垂ントシ內國處トシテ全報ノ普及セザル地方ナキニ至レリ是レ本社各員ノ拮据經營ノ致ス所ト雖モ江湖諸君ノ信憑ヲ得愛顧アル勿ンバ安ンゾ今日ノ旺盛ヲ來サン因テ自後益ス勵精一切ヲ注意改良シ其恩渥ニ答ソト欲ス玆ニ重テ江湖ニ告ケ以テ將來愈ヨ愛顧アランコトヲ祈ル

徵兵規則全書

全壹冊　定價金貳十五錢　府外遞送稅金八錢

現行徵兵令及徵兵事務條例、地方徵兵醫員職務概則、改正取扱條例、第一第二後備軍改稱等ノ諸公布達書ヲ印行シ書中載スル所ハ徵兵區々域、同官員及其職掌、除役免役徵集猶豫、徵兵檢查、抽籤、徵兵雜則、徵員、徵兵事務順序、徵兵官署ノ設置徵兵各自届出、徵兵下檢查準備、徵兵支署開設、徵兵下檢查、同簿冊調整、國民軍名簿調整、徵員調查、徵兵署開設、徵兵檢查事務、常備兵編入順序、徵兵抽籤事務、常備兵編入順序、徵兵簿冊幷表

面調整、新兵入隊前ノ扱、常備兵在營中除隊、補充兵、豫備徵兵、雜則及諸進達ノ書式等總テ徵兵ニ關スル條件ハ細大トナク悉ク之ヲ記載シ且何人ニモ譯リ易キ樣卷端ニ字解ヲ加ヘ合セテ一冊トナシ以テ提携探索ニ便ナラシムレハ該事執掌ノ諸彦ハ勿論其役ニ就カサル諸君タリトモ讀知セサルヲ得サルノ要書ナリ存刷成リテ發賣ス請フ愛顧ノ書肆ニテ購覽アランヲ

文部省御藏版

巴 萬國史

洋書仕立

上下貳冊

那 小學教育論

洋書仕立

全壹冊

氏 右兩書翻刻再刷成テ既ニ全備セリヨッテ最寄書肆ニテ御購讀ヲ祈ル

福岡縣 編纂 公布類聚 從初篇至四篇 洋書仕立全四冊 定價合計金五圓廿錢

此書ハ維新以降十一年十二月ニ至ル金穀出納ニ關スル百般ノ公布公達等ヲ類別聚輯セラレタルモノニシテ書中載スル所經費勘定仕上出納順序ヨリ收入經費概計順序、警察費及諸規則、金穀受納諸規則、地方稅收支諸規則、官祿、旅費、恩賞、救恤、雜給諸費、公債、貸下貸借、貨幣等ノ諸法令ハ網羅シテ遺漏ナク加之國稅地方稅及町村協議費ノ賦課徵收支辨方法、地租金納割合、田方米納、凶歉延納處分、國稅地方稅怠納處分、賣藥、煙草、銃獵、地券證印稅、牛馬賣買免許稅其他府縣官職制、郡區町村編制法、府縣會規則、地所建物書入賣入賣買讓渡規則、諸會社ノ規則條例等ニ至ルマテ凡ソ現行ノ諸規則ハ洩ストナク記載シアレハ官民共ニ必携スヘキ良典タルヲ以テ每篇發行數月ヲ出スシテ賣切レ再刷既ニ成リ初篇ヨリ全備ス請フ四方ノ諸君愛顧ノ書肆ニテ購求アランヲ

東京神田五軒町十八番地 弘令社出版局

明治十三年二月

地方官會議傍聽錄

第八號

東京神田區神田五軒町十八番地

弘令社發兌

例言

一地方官會議ノ顚末ハ既ニ各社新聞紙ニ掲載シ世ノ人亦既ニ其詳細ヲ知了セリト雖新聞紙ノ連日ニ散出スルハ特リ一時通覽ノ便ヲ欠クノミナラス或ハ他日散逸ノ患アリ隨テ又掌中提携ノ便ナシ是此册ノ編輯アル所以

一傍聽書記明治十三年第五號地方會議開場ノ日ヨリ起リ三日毎ニ一册ヲ刊行シ閉會ニ至ル迄全部十册ヲ以テ完結スベシ

一書中重複ヲ厭ハス會議日誌ヲ併輯スルハ參考ノ爲メナリ

一此書ノ冒頭ニ會議ニ係ル諸布達及伺指令ヲ登錄スルモ亦參考ノ爲メナリ

地方官會議日誌第十六號

二月廿五日○　午前第九時四十分開議

議員立席五人　欠席十六番議官

第四讀會　審議ヘ第本案ニ回答ヲ乞ヒ第十六番伺案ニ付議長ノ許可ヲ得テ午後退出

午後第四時退散

（第三讀會ノ續キ）

第一號議案（委員報告）第三條（第二讀會ニテ本案ニ同意者ヲ起立セシメ）

起立者　全員八

又本案ニ同意者ヲ起立セシム

第二條（第二讀會ニテ本案ニ同意者ヲ起立セシメ）

起立者　十九人

又二十九番議員ノ委員ニ付キ干支番ノ說ノ如ク備荒儲蓄法ノ題號ヲ改定シ又十番ノ說ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十六人

又十番議員ノ補助ヲ又ハ貸與スルモノトス」ト修正スベシト云フ說ニ同意者ハ起立セヨ

起立者　二十三人

何レモ過半數ナルヲ以テ此ノ前文ノ修正委員ニ付ス

○

第二條　審議ノ後三十一番議員ノ委員ニ付シ設クヘシノ下ニ尤土地ヲ有セサル者ト雖モ公儲ノ幾分ヲ助クヘシトノ說ニ同意者ハ起立セヨ

起立者　十三人　少數ナルヲ以テ消滅ス

又本案ニ同意者ハ起立セヨ

起立者　二十人　過半數ナルヲ以テ可決ス

○

第三條　異議ナキヲ以テ本案ニ同意者ハ起立セヨ

起立者　全員　本案ニ可決ス

○

第四條　審議ノ後本案ニ同意者ハ起立セヨ

起立者　三十九人　過半數ナルヲ以テ可決ス

○

第五條　審議未タ終ラス

二月廿五日午前九時卅五分開議

欠席　十三番（永山君）

議長曰ク是ヨリ先ニ委員ニ付托シタル所ノ第廿四号議案第七條以下修正案コレヲ朗讀ス其修正案ハ左ノ如シ

第廿四號議案　區町村會法布告案第七條以下修正案

第八條　水利土功（公共ノ水利土功ニシテ全町村ノ利害ニ關渉セス或ハ數町村ノ幾分ノミ其利害ニ關係スルモノ又ハ利害ニ關係ナキモ從來組合等ノ慣行アル者ヲ云フ）ノ爲メ町村會ノ決議ヲ以テ其關係アル人民若クハ町村ノ集會ヲ要スル件ハ從來ノ慣行ニ從フ但又ハ新ニ規則ヲ設クルモノハ府知事縣令之ヲ裁定ス

第九條　第八條ニ揭ケタル集會評決ノ施行及ヒ其取締ハ第五條及第七條ニ依ルヘシ

第十條　第三條及ヒ第八條ニ揭ケタル集會ヲ要スルトキ其關係アル區町村若クハ人民中異議アリテ集會ニ應セサルトキハ府知事縣令之ヲ府縣會ニ付シ其決スル所ニ依リ之ヲ定ムヘシ但シ府縣會ノ閉會ニ當リ其開會ヲ待ツヘカラサルトキハ府知事縣令之ヲ決定スルヲ得

別ニ發議ナカリケレハ議長ハ直ニ本案同意ニ確定ス

起立セシムルニ總起立ナレハ之ニ確定ス

議長曰ク是ヨリ備荒儲蓄法ノ第二次會ヲ開クヘシ

書記第一條ヲ朗讀ス

十二番（槇村君）備荒儲蓄法ト云フ名義ヲ改メタシ既ニ都鄙晝一ノ主義ヲ廢セシカラハ郡村ノ儲蓄法トカ何トカ適當ノ文字ヲ修正委員ニ付托シテ調査セシムヘシ

十番（藤村君）本員モ修正說アリ會テ番外ノ說明モ此條ノ補助ハヤリ切ルノ意ニテ支給スルコトナリト承ハレリ然ルトキハ實際ニ大不都合アルヘシ昔日モ租稅延納規則ヲ頒布セラレテ農民カ其土地ノ全形ヲ失ハサル以上ハ地租改正終リタル後ニ納メサル可カラ

ザルノ法ナリキ今マ此法ヲ設ケラ納メ得ル時ニ支給スルト定メテハ實地ニ多少ノ弊ヲ生ヲ所謂法ニ因リテ奸ヲ爲スノ風ヲ導キ貧ヲ粧フテ支給ヲ乞フモノ續々出デ多額ノ補助ヲ要スルノ意味ニ至リテハ年限ノ差或ハ場合ニ依リテ利子ヲ取ルヲモアルベシ其詳細ハ府縣會ニ議セシメテ設クルヲ可ナリトス

十七番（山田君）十番ヲ贊成ス貸付スルト定メバ積ム側ニテモ儲蓄モ多クナリ又タ積マスル歟劇トモ成ルハ必然ナリ

廿九番（關口君）十二番ノ備荒儲蓄法ノ名義ヲ改ムルモ本員ハ同意ナリ十番ノ貸與モ又タ同意ナリ其他ニ本員ハ別ニ一種ノ修正說アリ其ハ小會ノ時ニ本條ノ地租ハ國稅ニ限ルト番外ノ說明ナリキ然ルトキハ實地ニモ行ハレ難キ情實アリ熟〳〵農民一家ノ生計ノ有樣ヲ見ルニ誠ニ憐ムニ至極ナルモノニテ田家一戶ニテ一町ノ田地ヲ耕スハ中等ノ農ニテ鯨嬢子弟ニヲ終歲ニノ田地ニ力耕シ其收獲ハ僅ニ十六七石ニ過ズ尤モ一町ニテ廿石ヲ以テ相當スベシ扨テ其十六七石ノ中ヨリ地租石ハ獲ル所ヲアリノ平均セバ十六七石ノ中ヨリ地租ソノ他ノ諸掛リヲ拂ヒタル餘ス所ハ十石前後ナリ之ヲ今ノ相場ニシテ六十圓グライノ之ニテ一年ノ活計ヲシケヲハ成ラヌ程ノ實況ニテ中等ノ農ナホ斯クノ如シ學校ヲ起サント又ハ其他ノ事業ヲ爲サントスル志アリト雖モ行フニ術ナシ故ニ地力ヲ養成シ農業ノ進步ヲ望ム精神ヨリ此法案ニハ國稅ハカリヲ補助セスハ甚ダ謂レ無シ故ニコノ地租ノ二字ノ下ヘ割注ヲ加ヘ國稅ニ地方稅ニ補助スルノ意味ヲ明カニシタラバ可ナリトス

立ツヲ望ム（武崎君）

番外一番（安場君）十九番（松田君）共ニ十二廿九番ノ說ニ對シ國稅ト地方稅ハ全ク性質ヲ殊ニスルモノニテ國稅ハ全國ノ稅ニ非ス地方稅ハ各府縣ニ依リテ其額モ違ヒ又タ全ク徵收ノ方法ニ至リテハ年限ノ差或ハ場合ニ依リテ利子ヲ取ルヲモアルベシ其詳細ハ府縣會ニ議セシメテ設クルヲ可ナリトス

十七番（山田君）十番ヲ贊成ス貸付スルト定メバ積ム側ニテモ儲蓄モ多クナリ又タ積マスル歟劇トモ成ルハ必然ナリ

廿九番（關口君）十二番ノ備荒儲蓄法ノ名義ヲ改ムルモ本員ハ同意ナリ十番ノ貸與モ又タ同意ナリ其他ニ本員ハ別ニ一種ノ修正說アリ其ハ小會ノ時ニ本條ノ地租ハ國稅ニ限ルト番外ノ說明ナリキ然ルトキハ實地ニモ行ハレ難キ情實アリ熟〳〵農民一家ノ生計ノ有樣ヲ見ルニ誠ニ憐ムニ至極ナルモノニテ田家一戶ニテ一町ノ田地ヲ耕スハ中等ノ農ニテ鯨嬢子弟ニヲ終歲ニノ田地ニ力耕シ其收獲ハ僅ニ十六七石ニ過ズ尤モ一町ニテ廿石ヲ以テ相當スベシ扨テ其十六七石ノ中ヨリ地租ソノ他ノ諸掛リヲ拂ヒタル餘ス所ハ十石前後ナリ之ヲ今ノ相場ニシテ六十圓グライノ之ニテ一年ノ活計ヲシケヲハ成ラヌ程ノ實況ニテ中等ノ農ナホ斯クノ如シ學校ヲ起サント又ハ其他ノ事業ヲ爲サントスル志アリト雖モ行フニ術ナシ故ニ地力ヲ養成シ農業ノ進步ヲ望ム精神ヨリ此法案ニハ國稅ハカリヲ補助セスハ甚ダ謂レ無シ故ニコノ地租ノ二字ノ下ヘ割注ヲ加ヘ國稅ニ地方稅ニ補助スルノ意味ヲ明カニシタラバ可ナリトス

立ツヲ望ム（武崎君）

番外一番（安場君）十九番（松田君）共ニ十二廿九番ノ說ニ對シ國稅ト地方稅ハ全ク性質ヲ殊ニスルモノニテ國稅ハ全國ノ稅ニ非ス地方稅ハ各府縣ニ依リテ其額モ違ヒ又タ全ク徵收ノ方法ニ至リテハ年限ノ差或ハ場合ニ依リテ利子ヲ取ルヲモアルベシ其詳細ハ府縣會ニ議セシメテ設クルヲ可ナリトス

十七番（山田君）十番ヲ贊成ス貸付スルト定メバ積ム側ニテモ儲蓄モ多クナリ又タ積マスル歟劇トモ成ルハ必然ナリ

廿九番（關口君）十二番ノ備荒儲蓄法ノ名義ヲ改ムルモ本員ハ同意ナリ十番ノ貸與モ又タ同意ナリ其他ニ本員ハ別ニ一種ノ修正說アリ其ハ小會ノ時ニ本條ノ地租ハ國稅ニ限ルト番外ノ說明ナリキ然ルトキハ實地ニモ行ハレ難キ情實アリ熟〳〵農民一家ノ生計ノ有樣ヲ見ルニ誠ニ憐ムニ至極ナルモノニテ田家一戶ニテ一町ノ田地ヲ耕スハ中等ノ農ニテ鯨嬢子弟ニヲ終歲ニノ田地ニ力耕シ其收獲ハ僅ニ十六七石ニ過ズ尤モ一町ニテ廿石ヲ以テ相當スベシ扨テ其十六七石ノ中ヨリ地租ソノ他ノ諸掛リヲ拂ヒタル餘ス所ハ十石前後ナリ之ヲ今ノ相場ニシテ六十圓グライノ之ニテ一年ノ活計ヲシケヲハ成ラヌ程ノ實況ニテ中等ノ農ナホ斯クノ如シ學校ヲ起サント又ハ其他ノ事業ヲ爲サントスル志アリト雖モ行フニ術ナシ故ニ地力ヲ養成シ農業ノ進步ヲ望ム精神ヨリ此法案ニハ國稅ハカリヲ補助セスハ甚ダ謂レ無シ故ニコノ地租ノ二字ノ下ヘ割注ヲ加ヘ國稅ニ地方稅ニ補助スルノ意味ヲ明カニシタラバ可ナリトス

立ツヲ望ム（武崎君）

番外一番（安場君）十九番（松田君）共ニ十二廿九番ノ說ニ對シ國稅ト地方稅ハ全ク性質ヲ殊ニスルモノニテ國稅ハ全國ノ稅ニ非ス地方稅ハ各府縣ニ依リテ其額モ違ヒ又タ全ク徵收セ

モ又タ不宜ト雖モ實際ニ於テ政府ニ於テモ補助スルヲ見ルトキハ地方稅ニモ補助ヲ與ヘテ可ナリ況ヤ國稅ヲ以テ地方稅ヲ補助スルニ當リテ尤モ不適當ナリト雖モ絕テ地方稅ニモ補助セザルヲヤ此法案カ外ニ別ニ成文又タ貸附云々ノ論アルハ別ニ其規則ヲ設クベシ且ヤ其規則ヲ設クルヨリ若カ貸附スルノ場合アラバ特ニ府縣會ニ議セシムルモ可ナラズヤ併シ延納規則ヲ行ヒシ今日ニアリテハ實跡現ルヽ延納ハ免除ニ多少終ニ重ナリテ人民カ借金ヲ增ス勢アリテ却テ土地ノ改良ヲ妨グルニ至ルヲ固ト地力ヲ養成スルカ精神ナレバ支給スルヲ以テ適當トスル丸番（松田君）番外ハ地方稅ヲ補助スルヲ非トセラルレド此法案カ地租ヲ納メタル者ノ爲ニ設ケラレタルヲ以テ夫ニニモ好シト雖モ土地ニ管スルモノ小作人等モ補助スルハ當然ナリ今マ土地ヲ生ズル不納ヲ國稅カヲ保護ノ目的ヘ何ヲ在ルヤ又タ番外ハ九十萬圓ヲ以テ一地方ヲ補助スル云ヽト云ヘ固ヨリ備荒法ヲ此ニ方圓ノ客ナリ地方ノ積立金ハ主ナリ其地方人民ニテ積ムモレハ政府ニ於テ補助スル丸十方圓ノ客ナリ地方ノ積立金ハ主ナリ其地方人民ニテ積ムモ之ヲ以テ已ニ其地租ヲ補助スルヲ何故ニ禁制スルカ返々モ九十萬圓ノ補助アルガ爲ニ禁ズルニ非ズシテ甚タ補助ヲ以テ名トスルカラハ凡ソ一地方ヲ補助スルモ可ナリ豈コレヲ限ルノ理アル可ンヤ道理ヲ論ズルモ是ノ如ク不可ナリマタ此九十萬圓ハ全國一般ニ行フノ政事ニ使用スルニ非ルベシ又タ地租ノ二字ヲ以テ國稅ノ事ト斷言スレド地方稅ト云フ名義ノ出來シ以上ハ地租ノ二字面ヲ以テ單ニ國稅トハ爲ス可ラズ貸附云々ニテ土地ニ借金ノアルハ害アル樣ナレド熟考スルニ支給スルト云フコトヲ法律ノ明文ニ揭ゲテハ橫着ナル人民アリテ貧

チ粧ヒテ支給ヲ僥倖スルノ弊ヲ免カル可ラズ別ニ之カ規則ヲ設ケタラハトノ説アレド地方ノ情實ト場合ニ依リテ貸附スルト否ザルトハ府知事縣令ト議會ニ委任シテ適宜ニ取扱ハルヽ窮竟ナキ樣ニシタキトナリ且ツ十二番カ備荒儲蓄法ノ字面ヲ改ムルモ尤ノ說ナリ此字面ヲ郡村トカ何トカスルニ付キテ然ラハ郡村中ニ住居スル菓子屋ヤ豆腐屋ハ這入ラヌカト云フニ素ヨリ百姓社會ニアル窮民ハ之ニ入ルベク元來土地保險ノ精神ナレハ小作人マレ何マレ凡ソ土地ニ密着シタルモノ及ビ其土地ノ窮民ハ其土地ノ盛衰ニモ管スル理ナレハ之ヲ補助スルハ言ヲ待ズシテ明ナリ

番外二番(矢野君)ハ政府ノ補助ハ素ヨリ主客ヲ以テ論ズレハ客ナレドモ此法ヲ行フニ付テ大切緊要ノ活用ヲナスモノタリ之ヲ以テ各地方同一ナラヌ地方稅ヲ補助スルハ不公平ト云フベシ又補助ニ弊カアルト云ヘド貸附ニモ亦弊アルヲ知ラズヤ又備荒儲蓄法ノ字面云々ト云ヘド物ノ名ハ若干ノモノヲ包合スルヲ一緒ニ纏メテ一ノ名義ヲ下スコトハ萬々出來ル理ニテ其包合スル中ノ重ナル一物ヲ採リテ名トスルハ通則ナリ何ヲ改ムルコ及ハント述ブ

廿七番(北垣君)廿九番ヲ贊成ス其理由ハ既ニ十九番ガ陳述シテ漏ラス所ナシト雖モ番外兩員ヨリ意表ノ說ヲ拈リ出シテ其駁說ハ大變ニ永イ演說ナレドモ約シテ云ヘハ短イコトニ之ヲ反駁スルニモ簡單ナル論ニテ足レリ其論旨ハ國稅ト地方稅ト區別セヌハ成ラヌ地方稅ヲ補助スルト云ヘド國庫ヨリ出ス金ニ對シテ箇樣ナ失敬ナコハ出來ヌトノ主義ニテ其他ハミナ枝葉ノ論ナリ之ヲ譬テ見レハ下手ナ鎖鎌遣ヒノ如キモノニテ鎖ノ分銅ニテ敵手ノ頭ヲ打ントシテ却テ己レガ頭ヲ打ヲルコト均シク之ヲ漢語ヲ云ヘハ自家撞着ノ四字ヲヨク既ニ國庫ヨリ出ヲ金ニテ地方稅ハ助ケテアル勘業費ノ如キ是ナリ又タ番外二番ガ九十萬圓ガアルデヨク十不都合ナコハ出來ヌト云ヘド是モ譬ヘテ申サヽナラハ西南ノ軍功ヲ年金ヲ賜ツタ者ガアル然ルニ此金ハ國庫カラ出タ故ニイクサノ

事ヲ無ケレハ遣フコハ成ラヌト政府カラ御注文ガ出テハ貰ラフタ者ハ實ニ溜ラヌ貰ラヘキ辨駁ハ是ニテ足レリ

番外二番(矢野君)爰ニ甲乙二縣アリ譬ヘハ高知縣ト愛媛縣トセンニ愛媛縣ハ地方稅ヲ徵セズ高知縣ニテハ地方稅ヲ徵收スル然ルニ地方稅ニ多キノ不平均ヲ生スヘシトノ旨ヲ述ブ

十九番(松田君)中央政府ノ三十萬圓ヲ補助スルニ付キ高知愛媛ノ譬アレドモ夫ハ大ナル目的違ヒナリ此政府ヨリ配附スル九十万圓ノ金及ビ儲蓄金ハ何ノ爲ニ備ヘルカ地租ノミニ備ヘタルモノナラハ甲乙兩縣ノ譬ノ如キ不公平アランナレドモ元ト中央儲蓄ハ地租ノミニ限ラズ備荒ノ全体ニ對シテノ儲蓄ナレハ其三十萬圓ヲ政府ニ乞フニ其災害ノ大小ハ場合ニモ依ルベシ元來補助ノ性質ハ不公平ニテヨシ畢竟其多額ノ補助ヲ政府ニ要スルニハ其實理原因アリテ然ルモノナリ

番外二番(矢野君)ハ災害ハ同一ナレドモ地方ノ貧富ハ不公平ト云ハスシテ何ヲ主張スルカ判然セヌ

助シテハ地方ニヨリテ補助ヲ受ケモアリ之ヲ受ケサルモアリ之ヲ徵收スル所アリ故ニ之ヲ補ト取ラヌハ決シテ物數奇ニハアラス其民力ノ强弱施行事務ノ寬急ニ原因シテ其地方毎ニ制ヲ異ニスル處即チ公平ノ實ナリ番外ノ說ノ如ク斯ク中央儲蓄ハ均一ヲ主トスル者ナラハ備ヘルニハ及ハズ平均ニ各府縣ヘ割渡スヘシ

番外一番(山崎君)ハ各員トモニ原案ノ精神ニ透徹セズ能ク玩味アリテ國稅地方稅ノ區別ヲ了知アリタシト述ブ

十二番(槇村君)番外ハ人民ニ貸與スルモ亦弊アリト云ヘド百姓ト申スモノハ多ク正直ノモノニテ貸リタト思ヘハ假令ヒ延引スルモ返納ヲ必ニ忘レズ他事ヲモ節シテ借金ヲ返スモノナリ全体民間ノ事ハ倚子ノ上ヤ紙ノ上デハ能ク分ラヌモノデ御座ルテ此儲蓄金ハ政府デモ補助シ人民デモ積立ツル廿八番(平山君)廿九番ノ說ヲ贊成ス元ト此儲

共同金ナレバ地方税ヲ助クルニ何ノ不可ナル所アランヤ番外ノ両員モ之ヲ考ヘテ安心セラレテ最ハヤ苔辨ヲモ費サルヽニ及ザルヘシ

此トキ卅三番（野村君）ヨリ議論モ種々アレバ全部ヲ委員ニ托シテ査理セシムヘシト建議セラレシガ十九番（松田君）ハ却テ議事ノ捗取ト爲ルベシト述ベテ卅三番ノ建議ハ只四八ノ賛成者ニテ成リ立タズ

議長ハ説ツキタルト見テ

第一ニ十二番ノ修正説（備荒儲蓄法ノ名ヲ改ムル議）ニ同意ヲ表セシムルニ

起立　十九人　過半數ニテ之ニ決シ

第二ニ廿九番ノ修正説（地租ノ字下ニ劃注ヲ加ユノ議）ニハ

起立　廿五人　過半數ニテ之レニ決ス

第三ニ十番（貸與ノ意味ヲ加ユル議）ノ修正説ニハ

起立　廿三人　同ク多數ニテ之ニ決ス

議長ハ乃チ之ヲ去ル廿三日本案ノ一條ヲ托シタリ五名ノ委員ニ命シテ査理セシメラル

時ニ正午ヲ報スルニ付キ議長ハ衆員ヲ退散セシメラル

二月廿五日午後一時三十分開議

議長曰ク午前引續ノ會ヲ開クベシ　書記第二條ヲ朗讀ス

卅一番（安場君）ハ本條ニ土地ヲ有セザルモノト雖モ一般ノ公儲ヲ助ケシムルヲ得トノ意味ヲ加ユベシト述ブ

九番（三島君）十六番（大迫君）廿九番（關口君）之ヲ賛成ス

十九番（松田君）廿六番（野村君）ハトモニ三十一番ノ如ク修正シテハ前條決議ノ旨意ヲモ害シ土地保險ノ性質ヲモ失フベシ田舍ニハ何ホドノ窮民ニテモ十ニ九ハ一畝タリトモ土地ヲ持ツガ常ナリ之ヲ修正スルニ及バヾトノ意ヲ辨明シ

十番（藤村君）ハ卅一番ノ説ハ土地所有者外ニ助クシムルニハ矢張リ府縣會ニテ議セシムルトノ趣意ナレバ是レソノ法ヲ設ケテ徴收セザル可ラズ名ハ公儲ヲ助ケシムルノ融通法ナレドモ實ハ命シテ取立ルヿニ成ルベシ又タ取立ノ割方ニモ窮スルハ必然ナリト述ブ其他衆員ノ論アリシガ要スルニ土地所有ノ外ニ助ケシムルト助ケシメザルトノ兩論ニテ

議長ハ既ニ辨論ツキタリト認メ

先ヅ卅一番ノ修正説ニ起立セシムルニ　十二人　少數ニテ消滅シ

次ニ原案ニ起立セシムルニ　廿人　過半數ニテ原案ニ可決セリ

議長ハ引續キテ第三條ヲ議セシムルニ別ニ發議ナク

原案ニ同意ヲ表セシムルヿ　總起立　ヨリテ之ニ決ス

次ニ第四條ヲ議セシムル之モ異議ナク

本案ニ起立スルモノ　廿九人　依テ之ニ決ス

議長曰ク引續キテ第五條ヲ議セラルベシ

廿二番（山吉君）末條ノ公債證書ニ換置クベシト云フヲ削除スベシ府縣會ニテ決議シテ積立テタル金ナルニ法律ニテ是非公債證書ニシテ置ケトハ干渉極ル論ナリト述ベ

十七番（山田君）ハ但シ購入以下ヲ削除スベシ運輸不便ノ土地ハ他ヨリ輸入ニ困ル故ニ多クハ現穀ヲ積ムヲ好ム朽腐スベシトノ論モアランヤレド夫ハ年〳〵積替ヘル法アリ是マデヲ差圖スルハ不可ナリ土地ノ便否ト人情ノ好惡ニ任シテ可ナリト述ベ

卅三番（野村君）コノ公債證書云々ハ何カ御都合ノアルヿナランガ廿二番ノ削除説ハ尤モ同意ナリトテ賛成ス

卅一番（安場君）本條ノ購入スル方法以下ノ文体ニテハ議會ヨリ直ニ内藏兩卿ヘ上申スル樣ニ聞エテ惡シトテ府知事縣令之ヲ府縣會ニ付シ其議決ニ依リテ内務大藏兩卿ニ具狀シ其許可ヲ得テ之ヲ施行スベシト修正スベシト陳ヲ其他種々ノ論アリテ一定セザル折カラ午後四時ヲ報ズルニ付キ

議長ハ本日ハ内務卿ヨリ應選人ノ議ニ付キ各員ヘ諮問ノ事アレバ之ニテ議事ヲ止ムベシト述ベテ退散セシメラル時ニ午後四時二十分

地方官會議日誌第十七號

二月廿六日　午前第九時四十五分開議　午後第二時三十分退散

議員三十八人

○

號外議案（備荒儲蓄法一）第二次會（昨日ノ續キ）

第五條（昨日ノ續キ）

審議ノ後十二番議員ノ府縣會云々施行スヘシマテヲ府知事縣令ヨリ之ヲ府縣會ニ付シ其議決ヲ取リ内務大藏兩卿ニ具狀シ其許可ヲ得テ之ヲ施行スヘシト修正シ但シ以下削除ノ説ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　十七人　少數ナルヲ以テ消滅トス

又十九番議員ノ府縣會云々施行スヘシマテヲ府知事縣令ヨリ之ヲ府縣會ニ付シ其議決ヲ取リ内務大藏兩卿ニ具狀シ其許可ヲ得テ之ヲ施行スヘシト修正シ但シ云々超ユヘカラスマテ削除ノ説ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　十七人　少數ナルヲ以テ消滅トス

又二十二番議員ノ又以下削除ノ説ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　三人　少數ナルヲ以テ消滅トス

又三十一番議員ノ府縣會云々施行スヘシマテヲ府知事縣令之ヲ府縣會ニ付シ議決セシメ之ヲ内務大藏兩卿ニ具狀シ其許可ヲ得テ之ヲ施行スヘシト修正スヘシト云フ説ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　十八人　少數ナルヲ以テ消滅トス

又本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　三十四人　過半數ナルヲ以テ可決ス

○

第六條　審議ノ後三十一番議員ノ本條削除ノ説ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　九人　少數ナルヲ以テ消滅トス

又十二番議員ノ第一項一戸五圓云々ヲ改メテ一戸十圓以内農具料種穀料ヲ給スルハ一戸二十圓以内トストシ第二項補助ノ下ニ及貸與ノ三字ヲ加フヘシト云フ説ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　十八人　少數ナルヲ以テ消滅トス

又本案ニ同意者ヲ起立セシム

起立者　二十八人　過半數ナルヲ以テ可決ス

○